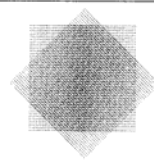


モノグラフ・高校生'98

vol.52 援助交際



東京学芸大学教授	深谷和子
埼玉県立松山高等学校教諭	三枝恵子
東京都立駒場高等学校教諭	小原孝久

● 目 次

要 約	2
はじめに	8
第1章 援助交際状況をめぐって	12
1. 高校生の性的環境	12
2. 援助交際のコンセプト	19
3. 援助交際の体験	20
4. 援助交際をする可能性	23
5. 援助交際をどうみるか	26
6. 援助交際の背景	33
7. 援助交際の抑止力	36
8. 性の商品化に対する感じ方	43
第2章 サンプルの属性と学校差をめぐって	47
1. 高校生活の満足度	47
2. つきあっている相手やベル友とのかかわり	50
3. アルバイト	52
4. 親子関係	54
5. 自己像	56
6. ここまでのまとめ	59
第3章 援助交際をする子とその要因を探る	60
1. 援助交際をする子・しない子	60
2. まとめと提言	83
ヒアリング調査から	85
資料1 調査票見本および集計結果 (女子)	91
資料2 調査票見本および集計結果 (男子)	104



援助交際

要 約

第1章 援助交際状況をめぐって

① 調査の目的

「援助交際」と名づけられた性非行が、女子高校生の間に広まっているとマスコミが報じている。その実態は果たしてどうなのか。援助交際そのものと共にそれを支える環境的・意識的要因は、行為のレベルと感覚または意見や規範受容のレベルで、大都市の高校生の間にどれほど広がっているのだろう。

過去2回にわたり、「モノグラフ・高校生」誌で高校生の性行動や性意識の変化を追ってきたが、今回は初めて「性非行」を取り上げ、その背景にある、最近の高校生の意識や行動の変化を追おうとした。

② 調査対象と方法

調査対象は、東京と埼玉の公立高校1・2・3年生（2・3年生が中心）1,726名（男子858名、女子868名）で、学校通しの質問紙法で行われた。なお、学校レベルを仮に上中下と分けて、それぞれ4校ずつ計12校で調査実施した。調査時期は1997年6月～7月。（p. 9 表A、p. 10 表B・C、p. 11 表D）

③ 「援助交際の体験者4%」の数値をどうみるか

1996年に東京都生活文化局が行った青少年調査の中の、援助交際体験者4%という数字を提示して判断を求めたが、「もっと多いだろう」女子39.6%、男子40.4%、「この程度だろう」49.6%、49.8%で、「4%より少ないだろう」とみる生徒は、1割にすぎない。（p. 13 図1-1）

④ クラスに援助交際をしている生徒がいると思うか

東京の女子の場合、「実際にいると思う」6.3%、「もしかしたら、いるかもしれない」47.9%、「ぜんぜんいないと思う」45.8%で、埼玉より数字が大きい。（p. 14 図1-3）

なお、学校間で差があり、「実際にいると思う」は、上位校（女子1.6%・男子6.9%）より、中位校・下位校（同様に女子8.5%・男子15.8%、女子8.7%・男子17.3%）に多くなっている。（p. 14 表1-3）

⑤ テレクラに電話をしたこと

「テレクラに電話をしたことが1度でもある」生徒は、女子34.6%、男子10.2%だが、女子の場合、「かなり利用したが、話をしただけ」が、1割にも達し、「テレクラを利用してデートをした」者も1.6%いる。いずれも東京に多い。学校差が大きく、下位校の女子では「かなり利用した」者が23.0%もいる。しかもデートをした者は、上位校にはゼロであるが、中位校・下位校では3%強いる。(p.16 表1-7・表1-8)

⑥ 援助交際概念

ウリを伴うケースの割合を尋ねると分散が大きく、この語が曖昧な意味のまま使用されていることがわかる。また、「ほとんどの子がセックスまでしていると思う」が、女子13.0%、男子22.1%と女子はややきれいごとに考える傾向がある。逆に「セックスしない子の方が多いと思う」と考える生徒も、男女とも4分の1いる。(p.19 表1-12)

⑦ 誘われた体験

「援助交際しよう」と街で声をかけられた体験は、25.2%の女子が持ち、友だちに誘われた体験も8.2%が持っている。やはり下位校に多い。(p.17 図1-4、p.18 表1-10)

⑧ 援助交際の体験

体験が1度以上ある女子は、4.4%。2年生3.8%だが、3年生になると5.1%に増加する。上位校、中位校では4%台だが、下位校では7.9%となり、また、埼玉では3.3%だが、東京は5.9%と多くなる。援助交際が、大都市問題であることがわかる。(p.21 図1-5、p.22 表1-14)

⑨ 援助交際予備群？

援助交際を自分は「絶対しない」と言い切る者は7割で、3割が「たぶんしない・もしかしたらするだろう」と考えている。(p.23 図1-6)

⑩ 1万円で食事につきあう生徒、5万円でホテルに行く生徒

「1万円でオジサンと食事につきあうことを、仲のいい友だちから勧められたら」という問いに、「すぐ断る」と答えた生徒は43.4%しかいない。さらに「5万円でホテルに行かないか」と誘われたとき、「すぐ断る」生徒はさすがに85.5%だが、考え方によれば、14.5%の生徒は、その可能性を必ずしも否定しないわけである。成績との関連は、5段階で中の下、下と答える生徒に、可能性を否定しない者の割合が増える。(p.24 表1-17・表1-18、p.25 表1-20)

⑪ 援助交際は非難すべきでない？

「他人に迷惑をかけていないのだから、おとなも相手の高校生も共に、特に処罰なくていい」という意見に賛成する者は女子16.6%、男子20.1%で、成績下位者に多く、東京に多い。(p.30 表1-26・表1-27・表1-28)

⑫ 援助交際を罰するべきか

「援助交際が見つかったら、退学にされても当然」と考える者は4割弱にすぎない。全ての逸脱行為において、「退学は厳しすぎる」とする者が多数派である。退学は当然とする判断は、下位校の生徒に多い。生活指導が厳しいのであろうか。(p.31 表1-29、p.32 表1-30)

⑬ 流行やファッションへの欲求

「制服に、ルーズソックスをはきたい」90.4%、「口紅やファンデをつけたい」65.5%、「制服を超ミニスカートにしたい」59.9%、「ブランドものがほしい」50.6%と、女子生徒の流行やファッションへの関心や欲求には、かなりのものがある。(p.34 表1-32)

⑭ 親の態度

「もし自分が援助交際をしたら、どんなに気をつけても親にすぐわかってしまうだろう」と考える生徒は、女子で39.9%、男子で32.4%。「うまくやれば、気がつかないかもしれない」と、6割以上の生徒が考えている。(p.38 表1-38)

⑮ ピア・プレッシャーが働かない

「仲のいい友だちがウリもする援助交際をしていたら」とする問いに、「絶対やめさせる」者は6割いるが、「嫌だけど、何も言わない」13.5%、「その人の自由」26.5%の数字は、考えさせられるものがある。友人関係の希薄化の現れの1つだろうか。またウリもする援助交際がわかっても、その仲良しの友

だちとのつきあいを従来通りとする者は78.9%にも達する。その中で「今までよりも距離をおいてつきあうようにする」生徒は、上位校に多い。(p.39 表1-39・表1-40、p.40 表1-41)

⑯ 結婚の障害にもならない

「現在の彼女が、ウリもする援助交際をしていたら」の問いに、「別にかまわない」とする者は5.6%しかいないが、食事やデートだけの援助交際となると、11.9%に増える。(p.42 表1-44・表1-45)

しかし、「将来、結婚したいと思った相手が、ウリもする援助交際の体験者だとわかったら」に対して、79.9%が「かまわない」と大きな寛容さをみせている。(p.42 表1-46)「親・友人・将来の結婚」のいずれも、援助交際に対する抑止力としては極めて機能しにくい状況になってきていることがわかる。

第2章 サンプルの属性と

学校差をめぐって

① どこで自己発揮しているか

高校生活の満足度は「友だち」がどの学校ランクでも高く、「授業と教師に対する満足感」がかなり低い。

(p.48 表2-1・表2-2)

また自己発揮も同様に、授業で自己発揮している者は、女子4.5%、男子8.1%と極端に低く、逆に最大の自己発揮は「つきあっている相手と一緒にいるとき」である。(p.49 表2-3)

② 相手のいる者

相手のいる女子は23.3%、男子15.8%。女子で相手のいる者は、調査を重ねるたびに少しずつ増えてきている気配だが、男子の数字は足踏み状態である。(p. 50 図2-1)

③ アルバイト

アルバイトをしている者は、女子で38.4%、男子で24.3%。特に下位校の女子は、6割がアルバイトをしている。5万円以上の高収入を得ている者も、女子で24.9%、男子で36.1%に上る。(p. 52 表2-9、p. 53 表2-10・表2-11)

④ 自己像と将来像

サンプル全体の自己像はおおむね暗く、特徴としては「音楽好き(女子・男子)、友だちがまあ多い(男子)」だけで、特に容姿に自信のない者が多い。現代の価値的中心である勉強についても、「よく勉強している自分」を否定する者は、女子で83.0%、男子で76.4%にも達する。(p. 56 表2-17)

将来像は、社会的達成に関する側面での見通しが暗く、その代わり「好きな人との結婚、幸せな家庭を作る」点で明るい見通しを持っている。(p. 58 表2-19)

第3章 援助交際をする子と

その要因を探る

援助交際体験者は、今回の女子サンプル868名の中で、38名(4.4%)であったが、非体験者との間には様々な側面で大きな差がみられる。

① 性的環境

援助交際の体験群は、援助交際をたくさんの者がしていると思っている。また街で男性から援助交際を誘われた者も多く、友人から誘われた者も多い。テレクラに電話をしたことのある者も多い。(p. 61 表3-1・表3-2、p. 62 表3-4、p. 63 表3-6)

② 援助交際の可能性

「食事だけなら金銭をもらって男性とつきあう者」「ホテルに行ってくれたら5万円と言われて、承知する準備がある者」は、体験群に圧倒的に多く、今後の援助交際の可能性についても、「するだろう」が圧倒的に多い。「絶対しない」の数字は、体験群では5.7%だが、非体験群では73.2%である。(p. 64 表3-7・表3-8、p. 65 図3-1)

③ 逸脱行為との関係

体験群は、援助交際だけでなく、他の逸脱行為も多い。(p. 65 表3-9)

④ 規範感覚をめぐる

体験群は、どの逸脱行為にも「とても悪い」とする感覚が少ない。とりわけ喫煙、援助交際、テレクラのアルバイトにその差が大きい。また、退学に値するかという判断についても、「まあ当然」とする判断は、全ての項目で低い。さらに、性風俗に接触することへの嫌悪感が薄く、性の商品化にも肯定的である。(p. 66 表3-10、p. 67 表3-11、p. 68 表3-12・表3-13)

⑤ 援助交際は非難すべきでない？

「誰にも迷惑をかけていないのだから、かまわない」とする意見も、体験者に非常に多い。(p. 69 図3-2)

⑥ 青少年を罰するべきか

援助交際をするおとなと高校生を処罰するべきかの意見に関しては、「両方とも処罰しなくていい」とする者が、体験群では41.6%、非体験群では15.6%と大差である。(p. 69 表3-14)

⑦ ファッションや流行への欲求

体験群は全ての項目で欲求が高いが、とりわけお金のかかるおとなのおしゃれへの欲求が著しく高い。(p. 70 表3-15)

⑧ お小遣いの額

全体に体験群は高額のお小遣いを使っているが、親からまったくもらわない者も多く、逆に3万円以上もらっている者も多い。(p. 71 表3-16・表3-17)

⑨ 親子関係

親とうまくいっていない者も、親に信頼されていない者も、体験群に多い。(p. 72 表3-18・図3-3)

また体験群には、問題のある態度をもつ親子どもの逸脱行動を叱らない親も多い。

(p. 73 表3-19・表3-20)

さらに援助交際をしてもわからないかもしれないと思う親、援助交際がわかっていても黙っていたり、きつく言わないと思われる親も多い。(p. 74 図3-4・図3-5)

⑩ 援助交際をよくないと思うか

将来、子どもが援助交際をしたとき、「(自分は援助交際をしていても)子どもには厳しく叱る」者が体験群では43.2%もいる。自分も親から叱ってほしいという願望だろうか。(p. 74 図3-6)

仲良しの友だちが援助交際をした場合も、「絶対やめさせる」者が、体験群に37.8%いる。自分のしていることを後ろめたいと思う者が、少なからずいることがわかる。(p. 75 図3-7)

⑪ 愛していれば許される？

将来、結婚相手に援助交際がわかってしまったとき、「愛していれば過去は問題にならないだろう」とする者は、両群でほとんど差がない。(p. 75 表3-22)

⑫ 高校生活の満足感

体験群には、教師と授業に満足していない者が多い。高校生活全体も非体験群には満足している者は47.6%いるが、体験群には29.7%しかいない。体験群は成績下位者が多いが、全体として成績とはそれほど関連がない。

(p. 76 表3-24・表3-25)

⑬ 将来

高校卒業後の進路も将来の生活もそれほど両群に大きな差はなく、体験群は将来に対してむしろ明るい見通しをもっている傾向がみられる。(p. 77 表3-26・表3-27)

⑭ 自己像と自己発揮

体験群は、非体験群よりむしろ自己像が明るい、不安定な性格がみられる。また、自己発揮の場はつきあっている相手や友だちと一緒にいるとき、部活動をしているときだが、家庭にいるときには非体験群の方が自己発揮している。(p. 78 表3-28、p. 79 表3-29・表3-30)

⑮ 援助交際予備群

「援助交際」を意識のレベルで、「ホテルに行ったら5万円」「食事だけで1万円」「援助交際をする可能性」の3項目を指標として比較した結果、非体験群とは大きな数値の開きがあり、いずれの指標でも限りなく体験群に近く、援助交際予備群の存在がうかがえる。(p. 80 表3-31・表3-32・表3-33、p. 81 表3-34・表3-35、p. 82 表3-36)

〔調査概要〕

対象 ●東京・埼玉の公立高校普通科1・2・3年生、計1,726名(うち学年不明1名)

時期 ●1997年6月～7月

方法 ●学校通しによる質問紙調査

〔執筆分担〕

第1章・第2章

深谷和子(東京学芸大学教授)

第3章

三枝恵子(埼玉県立松山高等学校教諭)

はじめに

高校生の援助交際が、マスコミで大々的に報じられ始めたのは、1996年の秋であった。ちょうどルーズソックスに代表される「だらしな系」のファッションが流行していた時期と一致する。昆虫の触覚を連想させるような細眉、死人のような唇、そしてそこだけがちぐはぐで野暮ったい「制服」のスカートを、人々の目もおかまいなしに駅のホームでそろってたくしあげ、超ミニにして、高校生以外は決して身につけないルーズなソックスで、その未熟な若さを誇示しようとするかのような風景を目にした人も多かっただろう。それまで「女子高校生集団」が、時の脚光を浴びたことはなかった。制服図鑑が売れ、またテレビでおニャン子クラブが人気を博しても、それはごく一部の者たちに注がれた関心にすぎなかった。男子にせよ女子にせよ、高校生はまだ、社会的には視野外に置かれていた集団であった。

しかしルーズソックスを身につけることで、女子高校生は、にわかに自分たちを主張し始めた。足の途中で糊で留めた白いぶかぶかのソックスファッションは、まぶしく異様で人目を引き、はじめて彼女たちは人々の視線を集めることに成功した。あの制服と化粧の下の子女子高校生は、どんな欲求を持ち、何を考え、何を主張しようとしているのか、人々は改めて女子高校生の存在に気づくことになった。同じ頃「援助交際」の語は、マスコミのって、あっという間に世間に広がった。

1997年の2月から夏にかけて、各種週刊誌、

月刊誌はそろって援助交際に象徴される、女子高校生の性的無軌道ぶりをおもしろおかしく報じた。その多くは、ルポ・ライターやフリー・ジャーナリストと自称する人々が、手軽なインタビューやアンケート調査のデータを種に、想像と歪曲を交えて書いた記事だったが、人々は驚きと疑いを半々にしながらも、多くを事実として受け止めたのだった。

高校生の現状に関する、こうした無責任な報道ぶりは腹立たしいが、他方で、確かに高校生の性行動は年を追って活発化してきている。深谷と三枝は『モノグラフ・高校生』のシリーズで、1988年に「高校生と性」(VoL. 26)、1994年に「高校生の性とデート」(VoL. 43)のレポートを発表したが、中のデータの数々がそれを物語っている。

今回の「援助交際」のレポートは、そのシリーズの3回目当たる。しかし前2回のデータが示すように、彼らの性行動の活発化や性をめぐる意識の変化は事実としても、マスコミが宣伝するほど最近の高校生の性意識が急速に崩れ、性的な逸脱が進んでいるとは思われない。とは言え、懸念される点もある。昔から高校生の売春行為は一部に存在したが、それが最近の「援助交際」のように、耳触りのいいネーミングで報じられたことはなかった。この語によって性を商品化する行為が、それほどダーティーなイメージなしに高校生の間に受け止められる懸念をもつ。

また、売春や援助交際に走る生徒は一部としても、その背後に、そうした逸脱を生み出



す学校内の風土はないのだろうか。もしあるとすれば、「援助交際は、一部の生徒のすること」と放置はできないだろう。こうした援助交際をする生徒の背景にある、高校生一般の性意識、規範感覚、人間関係、自己価値観、将来へのパースペクティブなどの変化に目を向け、その変化をとらえ解析することが、今重要な仕事と考える。

いうまでもないことだが、性の調査はよほど慎重に行わないと、正確なデータが得られない。また、階層化が進んでいる高校の中で対象校の選定を特に十分に配慮する必要がある。性は「自然」であると同時に「文化」でもある。初潮の時期ですら、隣接する学校でかなりの数字の開きがあることはよく知られている。性的な刺激のある環境とそうでない環境では、生物的成熟の進行ですら違ってくる。まして、文化としての性行動の調査には十分な配慮が必要なことを、前2回の調査でわれわれは体験してきている。

今回は、いわば性非行に当たる行為を扱うこともあって、調査票の項目作りをいつも以上に慎重に行った。援助交際に関して発行さ

れているドキュメント風の著書や、新聞、雑誌の記事の収集に加えて、念入りに高校生の聞き取り調査を行った。そのうちいくつかを巻末（p.85～）に添えてある。

しかし、時の流れを痛感させられたのは、1988年の調査の時点では、高校生や学校側から拒否反応を引き起こさないように、ごまかしのない資料を入手できるようにと、言葉を再三にわたって吟味し、項目の順序を1つ1つ細かく検討する作業に苦労を重ねたものだった。それが1994年には、項目作りがやや容易になったことを感じた。

今回は、さらに「性を扱う」調査が楽になったことを感じている。危惧された高校側の調査拒否も、今回はほとんどなかった。性的話題は、高校生にとっても学校側にとっても、もはやタブーではなくなりつつあるのだろう。

調査が実施されたのは1997年6月～7月で、調査対象は地域差をみるために、都市化の度合いにしたがって、東京と埼玉の公立高校普通科の生徒1,726名とした。詳細は表Aに掲げた。

表A サンプル数

(人)			
	男 子	女 子	合 計
1 年	65	52	117
2 年	476	418	894
3 年	316	398	714
合 計	857 (1)	868	1,725 (1)

() 学年不明の数値

なお、高校は輪切り現象が進んでいるので、サンプルの選定に当たっては、いわゆる「上位校、中位校、下位校」から、それぞれ4校ずつ（東京を各2校、埼玉を各2校）計12校

を選んだ（表B）。

またサンプルの特徴を示すデータの1つとして、生徒が高校卒業後に予定する進路をみると、表Cに掲げたように、大きな散らばり

表B 学校別サンプル数

(人)

		上位校	中位校	下位校	合 計
東京	女 子	122	118	142	382
	男 子	116	122	114	352
	合 計	238	240	256	734
埼 玉	女 子	149	187	150	486
	男 子	153	192	161	506
	合 計	302	379	311	992

表C 卒業後の進路

(%)

	女 子	男 子
1. 就職（家業を含む）	13.0	12.6
2. 短大	20.6	1.1
3. 専門・専修学校	21.8	16.8
4. まあまあの4年制大学	24.5	42.7
5. 難しい4年制大学	9.4	11.2
6. 未定	10.7	15.6

がみられる。就職予定者は男女とも13%、短大と専門・専修学校を合わせると、女子は42.4%、男子が17.9%。4年制大学希望者は女子33.9%、男子53.9%と、男子の方に高学歴

志向がみられる。現段階では、未定者も1割強いる。学校ランクとの関連は、表Dに掲げた。成績については表Eの通りだが、「下」と答えた者は男子にやや多い。

表D 卒業後の進路 × 学校ランク

(%)

	女 子			男 子		
	上位校	中位校	下位校	上位校	中位校	下位校
1. 就職（家業を含む）	0.8	4.2	34.4	0.0	2.5	30.7
2. 短大	4.1	29.7	8.0	0.9	0.0	0.9
3. 専門・専修学校	7.4	17.8	27.0	7.0	12.3	24.3
4. まあまあの4年制大学	40.2	33.1	3.6	40.0	63.9	13.5
5. 難しい4年制大学	43.4	9.3	0.7	40.8	13.9	1.8
6. 未定	4.1	5.9	26.3	11.3	7.4	28.8

表E 成績

(%)

	上	中の上	中	中の下	下
女 子	11.7	20.8	32.6	18.8	16.1
男 子	10.5	18.5	27.9	18.7	24.4

第1章 ||||

援助交際状況をめぐって

1 高校生の性的環境

各種マスコミは、まるで女子高校生全員が援助交際をしているかのような過剰な報道をしている。それがとても不愉快だという声を生徒のヒアリング調査の折に何度か耳にした。教員側からも同様な指摘がされた。まずその意見をとりあげて、そのまま質問項目にしたのが、**表1-1**である。

「マスコミがとりあげる『女子高校生』は一部の人のことで、普通の高校生の姿をきちんと伝えていない」とする意見に同感する者は、「とても・わりと・少し」を含め、女子が83.0%、男子が70.4%に上る。確かに、一時のマスコミのとりあげ方の過熱ぶりの異常さが、思い起こされる。

しかし高校生の暮らしの中でも、おとなの性文化への接触は、次第に日常的なできごとになっているのではなからうか。仮に自分はそうでないにしても、周囲の仲間たちの中でそうした文化に接触している者は結構いるのだと、生徒たちは考えているのではなからうか。そこで、高校生の把握する「自分を取り

巻く性的環境」ともいうべきものからみていきたい。

1) 援助交際をしている(と思われる)者

図1-1は、昨年東京都生活文化局が行った青少年調査の中の、援助交際体験者の数字(当時の新聞報道によれば4%)を提示して、「実際は、もっと多いと思うか、少ないと思うか」と尋ねた結果である。もし彼らの周囲に援助交際をしている仲間がいれば、「もっと多い」と判断され、周囲にその気配がまったくなければ「もっと少ない」と判断されそうである。

図が示すように、「もっと少ないと思う」者は、1割にすぎない。半数は「この程度だと思う」、4割が「もっと多いと思う」と答えている。さらに学校ランク別に分析したのが**表1-2**である。なお、以下の学校差をみるデータは、援助交際が大都市に特有な問題であることを考慮して、東京のサンプルについてのデータを扱うことにした。

東京の高校生（女子）で「4%より多いと思う」と答えた者は、上位校では14.9%、中位校では37.3%、下位校では52.1%と、大きな差がみられる。後に掲げるデータの多くもそうだが、援助交際をはじめ、こうした性的な意識や行動に関する学校の温度差には、きわめて大きなものがみられる。

周囲に援助交際をしている生徒が1人でもいれば、それに同調する生徒が出てきて、またその周囲にさらに同調者が出てくるというふうに、他校との性的な温度差が拡大されていく。以下のほとんどのデータにもみられる大きな学校差には、まさに学校によって、性的環境が違うことを実感させられる。

表1-1 援助交際は、ごく一部の人がしているだけなのにマスコミが騒ぎすぎる

(%)

女 子					男 子				
とても そう思う	わりと そう思う	少し そう思う	あまりそう 思わない	ぜんぜん そう思わない	とても そう思う	わりと そう思う	少し そう思う	あまりそう 思わない	ぜんぜん そう思わない
36.1	22.0	24.9	11.0	6.0	23.7	21.0	25.7	15.7	13.9

図1-1 「東京都の調査で高校生の援助交際は4%」という数値について

(%)

	もっと多いと思う	この程度だと思う	もっと少ないと思う
女 子	39.6	49.6	10.8
男 子	40.4	49.8	9.8

**表1-2 「東京都の調査で高校生の援助交際は4%」という数値について
× 学校ランク**

(%)

		もっと多いと思う	この程度だと思う	もっと少ないと思う
女 子	上位校	14.9	57.8	27.3
	中位校	37.3	55.1	7.6
	下位校	52.1	42.9	5.0
男 子	上位校	25.0	56.0	19.0
	中位校	32.8	52.1	15.1
	下位校	47.8	43.2	9.0

次に図1-2は、援助交際をしている者がクラスにいるかどうかである。「実際にいると思う」と答えた者は女子4.4%、男子10.2%。男子の推定値が高いのは、援助交際が自分たち（男子）の問題ではないため、マスコミによって伝達される情報に影響されての数字かもしれない。女子の数字は、後でみる援

助交際の体験率と不思議に合致している。これらの数字は特に女子で地域差が大きく、図1-3に示したように、クラスには「ぜんぜんいないと思う」者は、埼玉では66.9%もいるが、東京では45.8%である。また表1-3に示したように、その数字は、上位校と下位校では大きな開きがみられる。

図1-2 援助交際をしている人はクラスにいると思うか

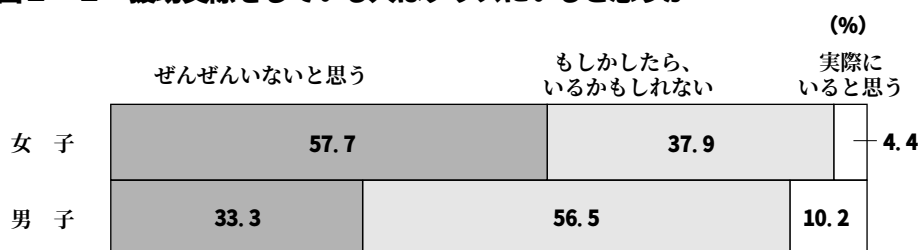


図1-3 援助交際をしている人はクラスにいると思うか × 地域

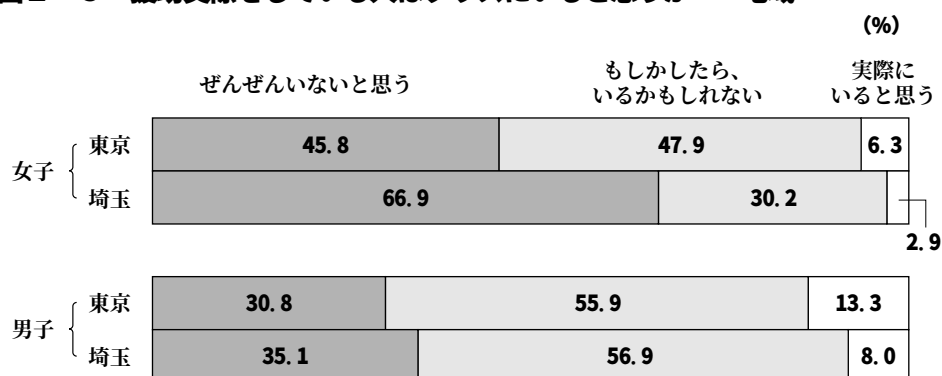


表1-3 援助交際をしている人はクラスにいると思うか × 学校ランク

(%)

		ぜんぜんいないと思う	もしかしたら、 いるかもしれない	実際にいると思う
上位校	女子	69.7	28.7	1.6
	男子	43.1	50.0	6.9
中位校	女子	41.5	50.0	8.5
	男子	28.3	55.9	15.8
下位校	女子	28.3	63.0	8.7
	男子	20.0	62.7	17.3

2) 性産業との接触

今や高校生の周囲には、社会がおとなのために用意した性産業と、それらから送り出される性情報が充満している。

表1-4はデートクラブでのアルバイト、表1-5はテレクラに電話をする仲間の数の

推測である。デートクラブでアルバイトをする者は、援助交際をする者より少ないとみられているが、テレクラへの接触は逆にかなり多いと思われる。

表1-6は、テレクラに電話をする者を推定する数字の学校差だが、女子の場合、「実際にいると思う」の数字は、上位校で4.9%、

表1-4 デートクラブでアルバイトをしている人はクラスにいると思うか

(%)

	女子	男子
1. ぜんぜんいないと思う	65.7	40.7
2. もしかしたら、いるかもしれない	32.3	51.3
3. 実際にいると思う	2.0	8.0

表1-5 テレクラに電話をしている人はクラスにいると思うか

(%)

	女子	男子
1. ぜんぜんいないと思う	28.8	21.1
2. もしかしたら、いるかもしれない	62.0	63.0
3. 実際にいると思う	9.2	15.9

表1-6 テレクラに電話をしている人はクラスにいると思うか × 学校ランク

(%)

		ぜんぜんいないと思う	もしかしたら、 いるかもしれない	実際にいると思う
上位校	女子	41.0	54.1	4.9
	男子	25.9	60.3	13.8
中位校	女子	11.0	77.1	11.9
	男子	15.0	58.3	26.7
下位校	女子	14.5	67.4	18.1
	男子	17.3	59.1	23.6

中位校で11.9%、下位校では18.1%と増えていく。

では仲間についての推定値ではなく、実際に自分自身の体験はどうか。

表1-7が示すように、男子より女子の方がテレクラへの電話経験をもっている。そして、テレクラを利用して話をしたり、デートした経験者も、男子より女子に多い。女子が性に積極的な関心をもち始めた現状を示す結果と思われる。

ちなみに学校ランクと地域差では、**表1-8**に示したように、特に下位校に「テレクラをかなり利用した」者が多い。上位校では8.2%にすぎないが、中位校では12.7%、下位校では26.6%と4人に1人の利用率である。地域差も大きく、東京は埼玉よりも利用率が高い。

また、**表1-9**に示したように、成績との関連もみられ、下位者がよく利用している。

表1-7 テレクラに電話をしたこと

(%)

	ない	1、2回 電話をした	かなり利用したが、 話をしただけ	テレクラを利用し て、デートをした
女 子	65.4	22.5	10.5	1.6
男 子	89.8	8.5	0.9	0.8

表1-8 テレクラに電話をしたこと × 学校ランク・地域

(%)

			ない	1、2回 電話をした	かなり利用したが、 話をしただけ	テレクラを利用し て、デートをした
学 校 ラ ン ク	上位校	女子	72.1	19.7	8.2	0.0
		男子	94.8	3.4	0.9	0.9
	中位校	女子	55.9	31.4	9.3	3.4
		男子	90.2	8.2	1.6	0.0
	下位校	女子	49.7	23.7	23.0	3.6
		男子	85.5	10.9	1.8	1.8
地 域	東京	女子	58.8	24.8	14.0	2.4
		男子	90.2	7.5	1.4	0.9
	埼玉	女子	70.6	20.6	7.8	1.0
		男子	89.5	9.1	0.6	0.8

3) 援助交際に誘われた経験

近頃の男性の中には、町ですれ違いざまに「援助交際しない？」と、女の子たちに声をかける者がいるらしい。生徒同士、学生同士のナンパの仕方の多くは、「ねえねえ、彼女」「お茶しない？」「カラオケ行かない？」といったスタイルのようだが、成人男性のナンパは、もっと直接的らしい。大学生でも童顔の学生は、その対象にされるという。

図1－4(1)は、街で男性から援助交際をしないかと誘われた経験を聞いたものである。25.2%と、4人に1人は体験をもっている。もっともこれは、誘いやすそうな外見と共に、盛り場を歩く回数にも比例しそうである。この数字は、学校ランクとはほとんど関係がなく、下位校の生徒にわずかに多いだけであった。

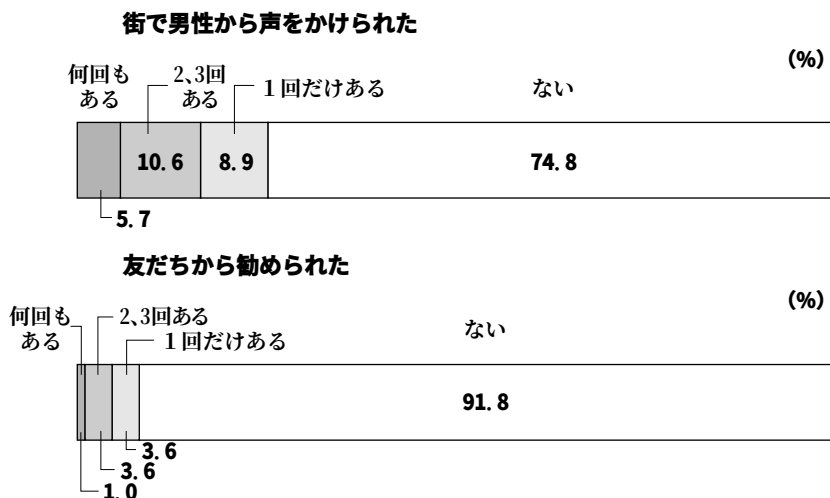
また図1－4(2)は、友だちから援助交際をもちかけられた体験を尋ねている。8.2%の

表1－9 テレクラに電話をしたこと × 成績（女子）

(%)

	ない	1、2回 電話をした	かなり利用したが、 話をしただけ	テレクラを利用し て、デートをした
上	81.0	12.0	6.0	1.0
中の上	76.3	17.5	4.5	1.7
中	66.3	21.5	10.4	1.8
中の下	60.9	24.8	13.7	0.6
下	43.8	35.0	19.0	2.2

図1－4 「援助交際をしよう」と誘われた体験（女子）



生徒が、そうした誘いがあったと答えている。街頭での誘いよりも、友だちからの影響力の方が懸念される。後に表1－12（p.19）でみるように、この言葉は曖昧さを含んで理解されている。誘われて、気軽にデートの相手をするくらいのつもりで、深みにはまる者もいるのかもしれない。

友人からの誘いには、とりわけ学校差があ

る。表1－10に示したように、上位校では4.9%、中位校では8.4%と2倍近くになり、下位校では11.7%となる。下位校の、性的刺激の多い環境が実感される。また東京と埼玉では表1－11に示したように、街で誘われた経験も、これまで同様に大きな差がある。ただし友人に勧められた経験についての地域差はほとんどなかった。

表1－10 「援助交際をしよう」と誘われた体験 × 学校ランク（女子）

友だちから勧められた				(%)
	何回もある	2、3回ある	1回だけある	ない
上位校	0.8	3.3	0.8	95.1
中位校	0.8	3.4	4.2	91.6
下位校	2.2	6.6	2.9	88.3

表1－11 「援助交際をしよう」と誘われた体験 × 地域（女子）

街で男性から声をかけられた				(%)
	何回もある	2、3回ある	1回だけある	ない
東京	8.2	11.9	10.3	69.6
埼玉	3.7	9.5	7.9	78.9

2 援助交際のコセプト

援助交際という語は、誰が使い始めたのか。一説によれば、愛人バンクが流行した際に、経営者を取り締まりのがれに使用し始めた語だとも言う。しかしこのコーティングされた言い回しは、当事者たちから罪悪感や恥の感情を取り去り、人前でも使用できるかのような状況を作り出した。援助交際の実態は、限りなく「売春」に近いと判断するのが妥当なところだろうが、「私は売春している」とは言えなくても、「援助交際しているの」とは言いやすそうである。もしこうした行為を、従来通り「売春」と呼称していれば、こうした風俗は今ほどの広がりを見せなかったに違いない。

もっとも、少し逸脱しかけた高校生の間では、売春を「ウリ」と呼ぶそうだ。ウリもまた、売春のような暗く重たい語感を避けて、それが大したことのない軽い行為であるかのようにみせかける語である。困ったことだ。

しかしヒアリングによれば、援助交際はできればウリをせずに、相手からどのくらい高額な金額をゲットできるかが、彼女たちの腕の見せどころという。しかし、そのようなオイシイ話は、そうそうないと思うのが、おとなの常識というものだろう。それどころか、

援助交際にはしばしばヤクザやチンピラが絡んできたり、脅しや脅迫、非行や犯罪をも引き起こす可能性がある行為なのだということを生徒たちは知っているのだろうか。そして実際に、援助交際を軽いノリで「あしながおじさん」の行為と思って、深みにはまる生徒もいると思われる。

さて、高校生が「援助交際」の中味を、ウリを伴うものと認識しているか尋ねたのが、表1-12である。

表が示すように、結果は非常に分散が大きい。ウリのないケースの方が多だろうとする楽天的な生徒も、男女ともに25%いる。そう言えば昔、「デート嬢」という語が使われた時代があった。当時その語感から、デートにつきあうだけの仕事と受け止めた人もいたと思うが、今になるとデートだけの相手に高い金を支払って、最後に楽しく「サヨナラ」という男性は、よほどの高齢者か小心者だろう。それに近い現象が、今の「援助交際」にも言えそうだ。こうした甘い認識に立っている25%の生徒は、たぶん援助交際に対する警戒心、嫌悪感も少ないであろう。困ったことである。

残り75%の生徒も、把握の仕方には分散が

表1-12 援助交際をしている中で、「セックスなしに食事などにつきあうだけ」のケースの場合

	(%)	
	女子	男子
1. ほとんどの子が、セックスまでしていると思う	13.0	22.1
2. 6、7割の子が、セックスまでしていると思う	25.4	23.3
3. 半分くらいの子が、セックスまでしていると思う	36.8	29.4
4. セックスしない子の方が多いと思う	24.8	25.2

大きい。おとなの感覚と近い「ほとんどのケースはウリもする」割合は、男子の方が認識がシビアで22.1%、ところが対象になり得る女子は13.0%と、甘い認識である。なお表は省略したが、学校差は上位校ほど、ウリを伴う援助交際の認識は低い。

しかし、こうした援助交際の実態について

のカムフラージュは、調査者にとっては利するところがある。売春を伴う援助交際でも、カラオケや食事相手のふりができることから、体験の有無が聞きやすくなる。調査票に「あなたは売春の経験がありますか」とは印刷できそうにない。

3 援助交際の体験

1) 援助交際の体験者

図1-5に掲げたのは、表1-13の逸脱体験を聞く項目に紛れ込ませておいた、援助交際の体験率である。女子の4.4%が体験があると答えている。

1年前（1996年7月～9月）東京都生活文化局が日本総合研究所に委託して、東京都の中高生に行った調査の数字が発表され、反響を呼んだが、その数字は以下のような項目からとったものである。

資料1 都調査による援助交際者（中高生）

問64	最近「援助交際」などとしておとなからお金をもらう高校生がいるといいますが、あなたの周囲にそういうことをする人がいますか。	(N=1,291)
		N. A. = 8.8%
	いる（本人から直接聞いたことがある）	10.0
	いる（本人から直接聞いたわけではない）	13.5
	わたしの周囲にはいない	67.8
問68	ではあなた自身、そういうことでおとなからお金をもらったことがありますか。	(N=1,291)
		N. A. = 9.2%
	ある	3.3
	ない	87.5

ただしこの調査は、中1から高3までの生徒計1,291名（郵送法による調査、回収率23.5%）であり、われわれの高校生調査との数字の比較のために、女子の高1から高3を抜き出して集計すると、以下のようになる。

資料2 都調査による援助交際者（高校生）

	した	しない	N. A.
高1	5人	172人	6人
高2	9	207	9
高3	9	102	8
合計	23人	481人	23人
N. A. を除く経験者4.6%			

そこで、本調査のサンプルを東京に限って計算すると、5.8%、22人（380人中）となり、都の調査よりまた数字が増えている。

今回の調査に戻って表1-14によれば、学校ランクでは、上位校4.9%、中位校4.3%とほとんど変わらないが、下位校になると7.9%に跳ね上がる。しかし下位校の数字よりも、かなりの進学校と言われる上位校でも4.9%の体験者がいるという数字には、考えさせられるものがある。

また東京と埼玉では、前のデータと同じく東京に2倍近い体験率があり、援助交際がとりわけ大都市の青少年問題であることがわかる。なお学年別では、2年生が3.8%、3年生になると5.1%と大きく増加する。

なお表1－13には、援助交際以外の逸脱体験も掲げてある。ほとんどの数字は男子に多いが、女子に多い逸脱体験は「ナンパされたり、援助交際する」などの、性がらみの逸脱であることがわかる。

表1－15は学校差だが、女子の場合、学

校ランクと明瞭な関連がみられるのは「喫煙、パチンコ、無断外泊」で、それ以外の項目はそれほど関連がなく、また男子の場合、友人同士の飲酒やＡＶを見る者はむしろ下位校に少ないのがおもしろい。

図1－5 援助交際の体験（女子）

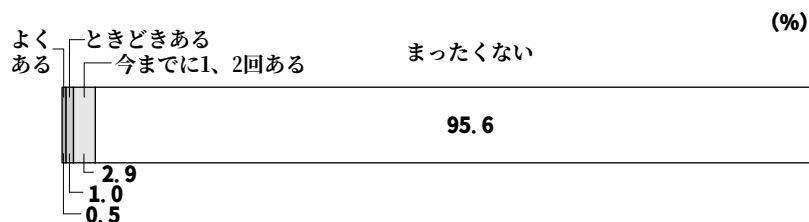


表1－13 逸脱行為の体験

	女 子				男 子			
	よくある	ときどきある	今までに1、2回ある	まったくない	よくある	ときどきある	今までに1、2回ある	まったくない
1. 友だち同士でお酒を飲む	14.9	31.3	27.1	26.7	22.4	29.2	18.8	29.6
2. ナンパしたりされたりする	5.1	23.1	30.8	41.0	3.6	4.3	9.8	82.3
3. アダルトビデオを見る	1.4	5.2	26.5	66.9	24.4	32.0	18.5	25.1
4. たばこを吸う	7.9	5.5	16.2	70.4	19.8	11.0	16.6	52.6
5. パチンコをする	1.2	2.1	14.7	82.0	8.1	9.0	16.1	66.8
6. 無断で外泊する	1.6	5.0	10.5	82.9	10.3	12.9	15.4	61.4
7. 援助交際をする	0.5	1.0	2.9	95.6	1.8	0.1	0.4	97.7
8. テレクラでアルバイトをする	0.3	0.5	0.9	98.3	1.3	0.4	0.5	97.8

表1-14 援助交際をしたことがある × 学年・学校ランク・地域

(%)

		よくある	ときどきある	今までに 1、2回ある	まったくない
学年	2年	0.2	0.7	2.9	96.2
	3年	0.8	1.3	3.0	94.9
学校 ランク	上位校	0.0	0.8	4.1	95.1
	中位校	1.7	1.7	0.9	95.7
	下位校	1.4	0.7	5.8	92.1
地域	東京	1.1	1.1	3.7	94.1
	埼玉	0.0	1.0	2.3	96.7

表1-15 逸脱行為の体験 × 学校ランク

(%)

	女 子			男 子		
	上位校	中位校	下位校	上位校	中位校	下位校
1. 友だち同士でお酒を飲む	82.0	88.9	76.8	90.5	91.0	65.8
2. ナンパしたりされたりする	67.2	69.2	60.4	18.1	26.2	22.5
3. アダルトビデオを見る	30.3	42.7	41.3	80.7	84.2	70.0
4. たばこを吸う	23.8	30.8	52.6	42.2	51.6	55.9
5. パチンコをする	17.2	18.8	30.9	31.9	32.0	56.8
6. 無断で外泊する	14.8	24.8	30.2	37.1	50.0	47.7
7. 援助交際をする	4.9	4.3	7.9	0.0	0.8	5.4
8. テレクラでアルバイトをする	1.7	0.8	5.1	2.6	0.0	3.6

「よく」＋「ときどき」＋「今までに1、2回」ある割合

4 援助交際をする可能性

援助交際の体験者は、本調査のサンプルでは4.4%とわずかであったが、では自分について、その可能性をどうみるかが、**図1-6**である。

図が示すように、「絶対しない」と自信をもって言い切る者は7割。「もしかしたらするだろう（すでにした者も含む）」が6.7%、しないと言い切ることはできない者（「たぶんしないだろう」）が22.9%となっている。全体の3割が、経験をもつか、多少ともその

準備状態にあると解釈できそうである。この層は、何らかの引き金要因（誘われた、勧められた、お金がほしい等）が働けば、実行に移す可能性をもっている層とも考えられる。

表1-16によれば、ここでも学校差が大きく、特に下位校に「もしかしたらするだろう（すでにした者も含む）」者が、8.7%と多くなっている。成績との関連も明瞭で、「絶対しない」者は、成績上位者では87.8%だが、下位者では57.0%と減少する。

図1-6 「援助交際をするかもしれない」と思うか（女子）

	もしかしたら するだろう	たぶん しないだろう	絶対しない
(%)	6.7	22.9	70.4

**表1-16 「援助交際をするかもしれない」と思うか
× 学校ランク・成績（女子）**

		もしかしたら するだろう	たぶんしない だろう	絶対しない
学校 ランク	上位校	6.6	20.5	72.9
	中位校	6.0	28.2	65.8
	下位校	8.7	24.6	66.7
成 績	上	6.1	6.1	87.8
	中の上	4.5	18.1	77.4
	中	4.0	23.0	73.0
	中の下	8.8	32.7	58.5
	下	12.6	30.4	57.0

そこでもう少し具体的に条件を設定して尋ねたのが、**表1-17**「レストランで、オジサンと2人で食事するだけで1万円になる」、**表1-18**「食事後にホテルに行ってくれたら、もう5万円あげる」と言われたらどうするかである。

仲良しの友人関係の中で、「1万円で食事を」と言われたときに、「たぶん、承知する」者は9.8

％、「少し考えるが、承知するかもしれない」が17.6％、合わせると3割弱が、その可能性を肯定している。いわば援助交際予備群とも見なせそうである。危ない危ない。しかもこれには、おまけがある。ヒアリングの際に生徒から聞こえてきた声は「1万円では嫌だが、2万円なら行く」であった。したがって、金額によっては、この数字はもっと上昇する

表1-17 仲のいい友だちから「レストランで、オジサンと2人で食事するだけで、1万円になるけど、どう?」と言われたらどうするか(女子)

(%)

1. たぶん、承知する	9.8
2. 少し考えるが、承知するかもしれない	17.6
3. 少し考えるが、断るだろう	29.2
4. すぐ断る	43.4

表1-18 話し相手だけの約束で食事した後、「ホテルに行ってくれたら、もう5万円、お小遣いをあげる」と言われたらどうするか(女子)

(%)

1. そうする	0.5
2. 相手が好みのタイプなら、そうする (タイプでなければ断る)	9.6
3. その場のムードで決める	4.4
4. すぐ断る	85.5

かもしれない。表は省略したが、これも学校差が大きく、「すぐ断る」者は、上位校から順に、57.4%＞42.4%＞31.4%であった。

次に表1－18は、「ホテルに行ってくれたら、もう5万円あげる」の場合である。さすがに、すぐ「そうする」者はわずかだが、「相手が好みのタイプなら、そうする」「その場のムードで決める」者を合わせると、14.5

%もいる。この数字も、いっそう強力な援助交際予備群と考えてもよいと思われるが、その解析は第3章でしてみたい。

表1－19によれば、これもやはり学校差が大きく、ホテル行きをすぐ断る者は、上位校から順に、91.8%＞83.1%＞78.6%と減少していく。さらに、表1－20に示したように、成績との関連も多少みられる。

表1－19 話し相手だけの約束で食事した後、「ホテルに行ってくれたら、もう5万円、お小遣いをあげる」と言われたらどうするか × 学校ランク(女子)

(%)

	上位校	中位校	下位校
1. そうする	0.0	2.5	0.7
2. 相手が好みのタイプなら、そうする (タイプでなければ断る)	4.1	11.9	15.7
3. その場のムードで決める	4.1	2.5	5.0
4. すぐ断る	91.8	83.1	78.6

表1－20 話し相手だけの約束で食事した後、「ホテルに行ってくれたら、もう5万円、お小遣いをあげる」と言われたらどうするか × 成績(女子)

(%)

	上	中の上	中	中の下	下
1. そうする	0.0	0.0	0.4	0.0	2.2
2. 相手が好みのタイプなら、そうする (タイプでなければ断る)	9.1	7.9	8.6	10.6	13.0
3. その場のムードで決める	3.0	4.5	3.6	5.6	5.8
4. すぐ断る	87.9	87.6	87.4	83.8	79.0

5 援助交際をどうみるか

1) 悪いことか

売春についておとなが、「悪いことだ」「まあ、悪いことだ」「悪くない」の3択で問われたら、「悪いことだ」に加え、「まあ、悪いことだ」を選択する人々も多いのではなかろうか。売春は「悪いこと」だが、なぜ「まあ」をつけたくなるのか。ひょっとしたら、「悪くない」を選択する人々もいそうである。これが強盗や殺人、詐欺などについての判断であつたら、「悪いことだ」に100%の選択がされるだろう。

売春は、外側から見れば「恥ずべき行為」であっても、犯罪とは違って、「売り手と、買い手の間の問題で、他に迷惑をかけるわけではないから、いいじゃないか」という論理をもちだされると、なぜかどこかで納得してしまう部分もある。「他に迷惑をかけないからいいじゃないか」という（身勝手な）論理を打破して、買売春の行為そのものをなくすのは、教育によってのみ可能であり、それだけに難しい仕事であろう。

しかし幸いにも「援助交際」については、おとなの売春より、やや迷わずに「悪いこと」と言い切ることができそうである。一方が未成年者であるため、対等の判断が行われず「その心身の未熟に乗じて」とか、まだ一人前でない者たちへの「健全育成を損なう行為」だとする論理が組めるからである。しかし当事者たちは、「誰にも迷惑をかけないし、カラスの勝手だろ」という論理で、自分の行為を正当化するかもしれない。それを尋ねたのが表1-21である。

表が示すように、その論理を否定するのは4割で、多少にせよ肯定する意見が6割近くになっている。しかも表1-22に示したように学校差が大きく、上位校、中位校での肯定者56.5%、57.6%に比べ、下位校では71.2%と肯定率が跳ね上がる。下位校で、援助交際に関連する数字が高いのは、生徒たちの中に、こうした身勝手な論理を修正するような、高次の判断力が形成されていないためかもしれない。

また、図1-7は、「援助交際は、高校生

表1-21 「援助交際をしている人は、誰にも迷惑をかけていないし、本人も相手もいいのだから非難すべきでない」という意見について

(%)

	とても そう思う	わりと そう思う	少し そう思う	あまり そう思わない	ぜんぜん そう思わない
女子	6.1	19.4	31.8	26.9	15.8
				42.7	
男子	12.2	15.6	30.4	24.4	17.4
				41.8	

としてどのくらい悪いことか」について、他の逸脱項目の中にまぎれ込ませて尋ねた結果である。男子より女子の方に「とても悪い」とする者が多くみられる。なお表1-23は、その他の逸脱行為も合わせて「高校生として、どのくらい悪いことか」を掲げてある。飲酒

とナンパだけは、なぜか女子に「悪くない」とする者が多いが、それ以外は全て男子に、「悪くない」とする者が多い。女子の方が社会的規範に忠実な判断をしている。また、成績別では表1-24に示したように、成績上位者ほど、規範に添った判断をしている。

**表1-22 「援助交際をしている人は、誰にも迷惑をかけていないし、本人も相手もいいのだから非難すべきでない」という意見について
× 学校ランク**

(%)

	とても そう思う	わりと そう思う	少し そう思う	あまり そう思わない	ぜんぜん そう思わない
上位校	3.3	18.9	34.3	23.8	19.7
	56.5			43.5	
中位校	5.9	21.2	30.5	28.0	14.4
	57.6			42.4	
下位校	15.1	18.7	37.4	18.0	10.8
	71.2			28.8	

図1-7 援助交際は高校生としてどのくらい悪いことか

(%)

	とても悪い	少し悪い	悪くない
女 子	69.1	22.9	8.0
男 子	54.6	28.4	17.0

表1-23 高校生としてどのくらい悪いことか

(%)

	女 子			男 子		
	とても悪い	少し悪い	悪くない	とても悪い	少し悪い	悪くない
1. 援助交際をする	69.1	22.9	8.0	54.6	28.4	17.0
2. テレクラでアルバイトをする	56.4	33.6	10.0	44.4	34.6	21.0
3. たばこを吸う	44.8	40.4	14.8	38.3	37.7	24.0
4. 無断で外泊する	30.1	59.0	10.9	15.5	55.0	29.5
5. パチンコをする	16.6	47.1	36.3	20.4	39.0	40.6
6. 友だち同士でお酒を飲む	10.3	45.4	44.3	18.9	39.4	41.7
7. アダルトビデオを見る	9.7	25.3	65.0	6.6	18.5	74.9
8. ナンパしたりされたりする	7.0	24.4	68.6	11.3	27.2	61.5

表1-24 援助交際は高校生としてどのくらい悪いことか × 学校ランク・成績

(%)

		女 子			男 子		
		とても悪い	少し悪い	悪くない	とても悪い	少し悪い	悪くない
学校 ランク	上位校	66.4	27.0	6.6	50.8	32.8	16.4
	中位校	67.5	21.4	11.1	50.0	36.9	13.1
	下位校	61.2	26.6	12.2	50.5	19.8	29.7
成 績	上	78.0	13.0	9.0	51.7	27.0	21.3
	中の上	70.8	23.6	5.6	59.3	24.8	15.9
	中	73.0	20.9	6.1	50.0	37.3	12.7
	中の下	59.7	31.6	8.7	60.1	26.6	13.3
	下	62.1	24.8	13.1	52.4	23.8	23.8

2) 援助交際がいけない理由

次に、「世間で、援助交際がいけないこととされている理由」を尋ねたのが、**表1-25**である。どの理由もほぼ7、8割と高い肯定率を示すが、中でやや肯定率が低いのは「道徳に反する」で、こうした言い方を、最近の生徒たちは嫌うのであろう。

いちばん肯定率が高いのは、「将来好きな人ができたとき、後悔する」で、女子が67.5%、男子が44.0%となっている。

3) 援助交際で高校生を罰するべきか

援助交際をするおとなと高校生の、いずれを厳しく罰するべきかについて尋ねたのが、

表1-26である。

表が示すように、双方を厳しくとする意見は6割を超える。しかし、「おとなは有罪、高校生は無罪」と判断する者も、女子15.2%、男子15.5%いる。なお表1-21でもみたように、「他人に迷惑をかけていないのだから双方処罰しなくてよい」への賛成者は、女子16.6%、男子20.1%である。

しかしこの判断には学校差が大きく、**表1-27**をみると、「双方処罰しなくてよい」とする意見は下位校（女子）に多く、また地域差をみると、埼玉より東京に多い。また**表1-28**の成績別ではもっと差が大きく、成績上位者（女子）から順に、7.1%、12.9%、12.0%、22.0%、32.3%となっている。

表1-25 高校生の援助交際がいけない理由

(%)

	女 子				男 子			
	とても そう	わりと そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない	とても そう	わりと そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない
1. 将来好きな人ができたとき、後悔する	67.5	23.0	8.0	1.5	44.0	34.2	15.1	6.7
2. 気持ちがすさむ	44.5	41.6	11.9	2.0	37.1	41.4	15.0	6.5
3. 犯罪に巻き込まれる可能性がある	40.2	38.1	19.6	2.1	38.3	37.8	18.3	5.6
4. 金銭感覚がマヒする	36.7	42.9	16.9	3.5	32.9	38.6	19.0	9.5
5. 異性とふつうの感覚でつきあえなくなる	34.7	40.4	20.8	4.1	35.8	37.7	19.4	7.1
6. 道徳に反する	28.8	46.2	21.4	3.6	32.5	37.3	22.3	7.9

表1－26 「高校生と援助交際をするおとなを厳しく処罰する方がいい」という意見をどう思うか

(%)

	女子	男子
1. おとなだけを厳しく処罰して、高校生は注意くらいでいい	15.2	15.5
2. おとなを厳しく処罰し、高校生も学校や親に連絡するなど、厳しく罰した方がよい	68.2	64.4
3. 他人に迷惑をかけていないのだから、両方とも、特に処罰しなくてよい	16.6	20.1

表1－27 「高校生と援助交際をするおとなを厳しく処罰する方がいい」という意見をどう思うか × 学校ランク・地域

(%)

		学校ランク			地域	
		上位校	中位校	下位校	東京	埼玉
1. おとなだけを厳しく処罰して、高校生は注意くらいでいい	女子	18.3	18.8	18.2	18.4	12.7
	男子	13.9	14.0	20.7	16.1	15.0
2. おとなを厳しく処罰し、高校生も学校や親に連絡するなど、厳しく罰した方がよい	女子	63.4	65.8	59.9	62.9	72.3
	男子	60.9	70.3	55.9	62.6	65.8
3. 他人に迷惑をかけていないのだから、両方とも、特に処罰しなくてよい	女子	18.3	15.4	21.9	18.7	15.0
	男子	25.2	15.7	23.4	21.3	19.2

表1－28 「高校生と援助交際をするおとなを厳しく処罰する方がいい」という意見をどう思うか × 成績

(%)

		上	中の上	中	中の下	下
1. おとなだけを厳しく処罰して、高校生は注意くらいでいい	女子	13.1	15.2	14.2	16.4	17.3
	男子	12.5	14.7	18.3	15.3	14.7
2. おとなを厳しく処罰し、高校生も学校や親に連絡するなど、厳しく罰した方がよい	女子	79.8	71.9	73.8	61.6	50.4
	男子	61.4	73.1	63.0	68.8	56.4
3. 他人に迷惑をかけていないのだから、両方とも、特に処罰しなくてよい	女子	7.1	12.9	12.0	22.0	32.3
	男子	26.1	12.2	18.7	15.9	28.9

4) 退学に値するか

さて処罰の方法として「退学」という現実的な方法を提示し、他の逸脱行為と合わせてその「悪いこと」の度合いをみようとしたのが、表1－29である。

どんな行為でも退学という処罰の方法は、全体に「厳しすぎる」と判断されていて、

「まあ当然」とする者は最大でも4割に達しない。「妊娠」「ラブホテルに入る」では「まあ当然」が2割を切り、「伝言ダイヤルに、5万円で援助交際したいと入れる」「援助交際が見つかったら」の場合も、退学をやむをえないとする生徒は4割を切り、性非行に寛容である。他の項目ほど、性差がないのも特徴である。

表1－29 次のようなきまりや校則があったらどう思うか

(%)

	女 子			男 子		
	まあ当然	少し厳しい	厳しすぎる	まあ当然	少し厳しい	厳しすぎる
1. 放課後に、生徒だけでファーストフード店やファミリーレストランに入ってはいけない	0.2	3.9	95.9	2.8	12.0	85.2
2. 髪を茶色に染めてはいけない	13.6	42.2	44.2	19.4	41.5	39.1
3. 女子高校生が妊娠したのがわかったら、退学にする	18.8	40.3	40.9	16.8	38.1	45.1
4. ファッションホテルやラブホテルに入ったが見つかったら、退学にする	18.3	43.1	38.6	18.0	39.8	42.2
5. 伝言ダイヤルに「5万円で援助交際したい」と入れているのがわかったら、退学にする	35.1	42.0	22.9	36.3	40.8	22.9
6. 援助交際が見つかったら、退学にする	37.6	40.9	21.5	34.0	40.5	25.5

表1-30をみると、例によって学校差が大きい、おもしろいことに下位校に「まあ当然」の数字が大きい。次いで上位校、中位校の順となっている。下位校の生徒は、日常

的に、学校側からの管理や処罰に慣れているのだろうか。成績との関連では表1-31が示すように、女子ではどの項目も上位者ほど「まあ当然」の数字が大きい。

表1-30 次のようなきまりや校則があったらどう思うか × 学校ランク

(%)

	女 子			男 子		
	上位校	中位校	下位校	上位校	中位校	下位校
1. 放課後に、生徒だけでファーストフード店やファミリーレストランに入ってはいけない	0.0	0.0	0.7	0.0	0.8	7.2
2. 髪を茶色に染めてはいけない	5.7	5.1	12.9	5.2	9.0	18.0
3. 女子高校生が妊娠したのがわかったら、退学にする	11.5	12.7	21.7	7.0	13.1	20.7
4. ファッションホテルやラブホテルに入ったのが見つかったら、退学にする	15.6	13.6	18.7	12.2	12.3	11.7
5. 伝言ダイヤルに「5万円で援助交際したい」と入れているのがわかったら、退学にする	36.9	30.5	38.4	33.9	29.8	35.1
6. 援助交際が見つかったら、退学にする	37.7	32.2	41.0	39.1	25.4	34.5

「まあ当然」の割合

表1-31 次のようなきまりや校則があったらどう思うか × 成績

(%)

	女 子					男 子				
	上	中の上	中	中の下	下	上	中の上	中	中の下	下
1. 髪を茶色に染めてはいけない	26.0	16.4	11.1	11.3	8.7	27.3	22.9	19.3	22.3	10.2
2. 女子高校生が妊娠したのがわかったら、退学にする	21.0	20.3	16.9	22.6	15.3	18.2	21.0	16.0	15.9	14.6
3. ファッションホテルやラブホテルに入ったのが見つかったら、退学にする	22.0	20.3	20.1	15.1	13.8	13.6	22.9	18.9	16.6	15.0
4. 伝言ダイヤルに「5万円で援助交際したい」と入れているのがわかったら、退学にする	41.0	31.6	36.6	35.2	29.9	34.1	44.6	33.8	33.1	34.6
5. 援助交際が見つかったら、退学にする	46.0	25.6	38.0	34.0	34.6	29.5	41.0	34.6	28.7	32.0

「まあ当然」の割合

6 援助交際の背景

援助交際の目的は、何とんでも「お金がほしい」「服やバッグ、化粧品がほしい」「高価なブランドものがほしい」からだという。そこには、若い人々を際限のない消費に駆り立て、現代の社会状況がある。すでに引用した東京都の調査でも、女子の場合、援助交際で得たお金の56.8%が買い物に使われていた。

また巻末（p. 85～）に掲げた事例では、援助交際の経験者である女子高校生の1人は「ブランドものを持ちたい、いいねって言われたい、もっともっと言われたい」と述べている。

そこで、高校生がファッションや流行にどのくらい関心をもっているかを表1-32に示した。これは女子の欲求調査のために作られた項目で、男子の項目は女子と数を合わせるために入れたものだが、一部に同一項目も含まれている。

女子の結果をみると、どの項目にも極めて高い欲求がみられる。「とても・わりとしたい」の数字は、ルーズソックスをはくことに

は9割、ポケベルやPHSを持つことには8割、茶髪やパーマ、ピアスやリング、口紅やファンデが約7割、超ミニスカートの6割、細眉、ブランド化粧品が5割と、大変な数字である。これではお小遣いをほしいと思うのも当然だろう。しかも同一項目を比較すると、女子の方が数字は大きい。

また表1-33に示したように、ここでも下位校の方が、ニーズが高い。しかもルーズソックスをはじめとする上位4項目（ポケベル、茶髪やパーマ、ピアスやリング）は、比較的校差が少なく、どの学校の生徒も皆、したがっている。残りの化粧品、細眉、超ミニスカートなど、逸脱度の高いファッションには、上位校では関心が少ないが、それでも4割から5割の生徒がそれを望んでいる。

次章でみていく予定だが、日頃どこで自己発揮しているかについての項目で、下位校の女子は「アルバイトしているとき」が66.7%で、上位校、中位校の49.0%と比べ数字が大きい。こうした下位校の消費欲求の強さからであろうか。

表1-32 ファッションや流行への欲求

(%)

		とても したい	わりと したい	あまり したくない	ぜんぜん したくない
女 子	1. 通学服（制服）に ルーズソックスをはく	73.5	16.9	5.7	3.9
		90.4			
	2. ポケベルやPHSを持つ	60.8	22.3	9.7	7.2
		83.1			
	3. 茶髪にしたり、パーマをかける	34.4	35.7	20.1	9.8
		70.1			
	4. ピアスやリングをつける	36.0	33.8	19.3	10.9
		69.8			
男 子	5. 口紅やファンデをつける	33.0	32.5	24.3	10.2
		65.5			
	6. 通学服（制服）を 超ミニスカートにする	26.9	33.0	30.2	9.9
		59.9			
	7. 細眉にする	27.0	26.7	35.1	11.2
		53.7			
	8. ブランドものの口紅や 化粧品を持つ	26.2	24.4	29.3	20.1
		50.6			
男 子	1. ウォーキングラジカセや MDを持つ	48.3	28.0	13.3	10.4
		76.3			
	2. ポケベルやPHSを持つ	35.6	24.0	19.8	20.6
		59.6			
	3. お酒を飲む	31.4	26.2	18.3	24.1
		57.6			
	4. ミニゲームやトランプを 学校に持って行く	20.0	23.6	28.3	28.1
		43.6			
男 子	5. 茶髪にしたり、パーマをかける	16.5	22.3	28.1	33.1
		38.8			
	6. ピアスやリングをつける	12.8	16.0	24.3	46.9
		28.8			
	7. たばこを吸う	16.1	8.0	15.2	60.7
		24.1			
	8. ロングヘアーにする	9.0	12.9	31.9	46.2
		21.9			

表1-33 ファッションや流行への欲求 × 学校ランク

(%)

		上位校	中位校	下位校
女子	1. 通学服（制服）に ルーズソックスをはく	86.1	92.4	95.0
	2. ポケベルやPHSを持つ	77.1	85.4	90.0
	3. 茶髪にしたり、パーマをかける	65.5	76.2	79.4
	4. ピアスやリングをつける	70.4	76.3	79.2
	5. 口紅やファンデをつける	55.7	78.8	64.3
	6. 通学服（制服）を 超ミニスカートにする	40.2	59.3	66.7
	7. 細眉にする	40.8	56.0	61.1
	8. ブランドものの口紅や 化粧品を持つ	38.5	58.2	51.8
男子		上位校	中位校	下位校
	1. ウォーキングラジカセや MDを持つ	81.9	85.1	66.3
	2. ポケベルやPHSを持つ	58.6	65.5	61.1
	3. お酒を飲む	89.0	72.1	58.4
	4. ミニゲームやトランプを 学校に持って行く	26.7	50.9	34.9
	5. 茶髪にしたり、パーマをかける	37.1	43.5	42.5
	6. ピアスやリングをつける	19.8	28.9	34.5
	7. たばこを吸う	20.6	28.7	34.5
	8. ロングヘアーにする	11.2	24.6	23.9

「とても」＋「わりと」したい割合

7 援助交際の抑止力

最近では、ほしいものを手に入れるためにアルバイトをする高校生が少なくない。しかしその多くは、時給がせいぜい800円前後。少ない自由時間で、多くの収入を得ることは難しい。援助交際はリスクがあるが、飛び抜けて割のいいアルバイトである。しかし多くの生徒たちは、率のいいアルバイトでも、援助交際をしない。それはなぜか。

次に、こうした「逸脱からの抑止力」がどうして働くのか、を探ってみよう。それぞれの生徒の個人的な要因は第3章で扱うとして、ここではサンプル全体に働くと思われる

抑止要因の有無をみていきたい。

1) 親の存在

表1-34は、援助交際に対する親の態度を予測させたものである。

まず「あなたが援助交際をしたら」という問いに、自分の親は「殴ってでも、やめさせるだろう」と、女子の78.6%が答えている。しかし、「黙っている」はさすがにわずかだが、「注意はするが、それ以上きつくは出ないだろう」が18.6%いるのをみると、日本の親が厳しさを失ってきていることを実感させ

表1-34 あなたの親は子どもが「援助交際」をしていることを知ったらどうするタイプか

(%)

	女 子	男 子
1. 黙っている	2.8	7.7
2. 注意はするが、それ以上きつくは出ないだろう	18.6	40.4
3. 殴ってでも、やめさせるだろう	78.6	51.9

表1-35 将来、あなたの子どもが「援助交際」をしていることを知ったとき、どうすると思うか

(%)

	女 子	男 子
1. わかっていても何も言わない	1.4	4.1
2. 注意するが、やめるかどうかは子どもに任せる	32.1	38.3
3. 厳しく叱って、（殴ってでも）やめさせる	66.5	57.6

られる。

関連して、表1-35「将来、あなたの子供が援助交際をしていたら、あなたは思うか」をみよう。「殴ってでもやめさせる」が、自分の親の場合の78.6%より減って、66.5%になるのはおもしろい。代わって増えているのは「子どもに任せる」32.1%である。「子どもに任せる」とする態度は、いわば子どもの自主性を尊重するかに見えて、実は「ある種の無責任ぶり」ではなからうか。最近の親たちに見えかける態度の反映かもしれない。

また援助交際に限らず、他の逸脱行為についても、親の厳しさを予測させたのが表1-36である。テレクラのアルバイトと援助交際は、いずれも親は「とても厳しく叱るだろう」

と予測されているが、表で目につくのは、「つきあっている相手とセックスする」行為についてである。「パチンコをする」場合より親の態度はゆるやかで、「何も言わない（叱らない）だろう」は、女子25.4%、男子42.3%で、共に6項目の中で最大である。親が高校生のセックスに、かなり許容的になってきていることがわかる。なお、援助交際とセックスに関して抜き出してみた表1-37によると、親の態度はやはり上位校に厳しい傾向がみられる。

さて、逸脱行為に走ろうとする際に働く抑止力の1つは、「親に叱られるから」であろうが、それと共に、親にバレる可能性の予測ではなからうか。おとなだって絶対バレないとなれば、世に犯罪を犯す者はもっと多くなるであろう。

表1-36 子どもの逸脱行為に対する親の態度

	女 子				男 子			
	とても厳しく叱る	わりと厳しく叱る	あまり叱らない	何も言わない（叱らない）	とても厳しく叱る	わりと厳しく叱る	あまり叱らない	何も言わない（叱らない）
1. テレクラでアルバイトをする	87.0	9.6	1.7	1.7	56.4	22.7	9.8	11.1
2. 援助交際をする	85.7	9.5	2.7	2.1	54.4	21.3	12.1	12.2
3. 無断で外泊する	65.1	24.4	8.1	2.4	28.0	37.8	25.1	9.1
4. たばこを吸う	58.5	23.7	12.8	5.0	33.1	24.2	26.7	16.0
5. パチンコをする	30.3	23.0	32.5	14.2	17.6	23.3	35.5	23.6
6. つきあっている相手とセックスする	22.9	20.1	31.6	25.4	13.4	14.4	29.9	42.3
7. 友だち同士でお酒を飲む	18.4	24.1	37.0	20.5	13.3	20.9	37.6	28.2

その点をみた表1-38によれば、援助交際をしていたら、「どんなに気をつけても、親にわかってしまうだろう」と予測する者は意外に少なく、女子で4割、男子では3割にすぎない。「うまくやれば、気がつかない

かもしれない」「隠せば、気がつかないだろう」が6割以上となる。親も侮られたものである。表は省略するが、学校差もほとんどみられなかった。

表1-37 子どもの逸脱行為に対する親の態度 × 学校ランク

(%)

		女 子				男 子			
		とても 厳しく叱る	わりと 厳しく叱る	あまり 叱らない	何も言わない (叱らない)	とても 厳しく叱る	わりと 厳しく叱る	あまり 叱らない	何も言わない (叱らない)
援助交際をする	上位校	87.7	10.7	0.8	0.8	67.9	12.5	11.6	8.0
	中位校	87.2	8.5	0.9	3.4	47.9	28.6	13.4	10.1
	下位校	76.0	15.3	5.1	3.6	47.0	17.3	12.2	23.5
つきあっている相手とセックスする	上位校	27.5	13.3	37.5	21.7	8.8	11.4	36.8	43.0
	中位校	16.5	17.4	39.1	27.0	6.7	9.2	41.2	42.9
	下位校	19.1	19.9	27.9	33.1	12.3	7.5	21.7	58.5

表1-38 あなたの親は子どもが「援助交際」をしていたら、すぐわかるタイプか

(%)

	女 子	男 子
1. どんなに気をつけても、すぐわかってしまうだろう	39.9	32.4
2. うまくやれば、気がつかないかもしれない	45.6	51.4
3. 子どもが隠せば、気がつかないだろう	14.5	16.2

2) ピア・プレッシャー

子どもが成長するにしたがって、逸脱行為の歯止め要因として親以上に働く力は、仲間からの圧力であろう。ある意味で親より大切な存在になりつつある仲間に受け入れられようと、子どもは仲間の文化に同調する。仲間の中に、逸脱をいいこととしない風潮、またはそうした行為を排斥する風潮があるかどうかは、親以上に重要な抑止要因になり得ると考えられる。

その点をみようとしたのが、表1-39である。仲良しの友人が「ウリもする、援助交

際をしていたら」という仮定に、さすがに「絶対やめさせる」が6割だが、26.5%は「その人の自由」としており、13.5%は「嫌だけれど、何も言わない」としている。額面通りだとしても、ピア・プレッシャーは6割にしか働かないことがわかる。学校差は少ない。

しかも、表1-40でみるように、「その友だちと今まで通り、つきあう」者が78.9%と圧倒的である。そのことでつきあいをやめる者は、ないに等しい。今、友だちは、必ずしも自分と価値観や生き方を共有しなくてもいい存在なのかもしれない。

表1-39 仲のいい友だち（女の子）が、「(セックスもする) 援助交際をしている」と打ち明けたらどうするか（女子）

	(%)
1. 絶対やめさせる	60.0
2. 嫌だけれど、何も言わない	13.5
3. その人の自由だと思う	26.5

表1-40 その友だちとのつきあいをどうするか（女子）

	(%)
1. 今まで通り、つきあう	78.9
2. 少し距離をおいて、つきあう	20.4
3. その人とつきあうのをやめる	0.7

ここでもまた学校差は大きく、表1-41に示したように、上位校と、中位校・下位校との差が大きく、上位校では今までより少し距離を置いてつきあう者の割合が他より多くなる。しかし、それでもつきあいをやめる（かつての用語なら、絶交する）者はいない。援助交際が友人関係を阻害しないとなれば、むろん逸脱行為の抑止力を期待できないわけである。

ちなみに、こうした他者への関与を避ける傾向に関連して、男子のデータを掲げる。表1-42「仲のいい友人の彼女の援助交際を知ったとき、介入するか、またはその事実を友人に教えるか」という質問である。友人に強く介入する者は2割、「教えるだけ」が4

割、そして残りの者（4割）は、教えることもしない。その「間」のとり方は、おとな以上ではないか。援助交際の背景には、こうした「他人の人生」にかかわることを避けようとする、他人への冷淡さ、またはおとな同様の現代的な身の処し方が横たわっていることを感じる。

3) 結婚への障害

かつての社会での性的逸脱の歯止めの1つは、「そんなことをすると、お嫁に行けなくなる」であった。むろんそうした縛りがきつい社会が、必ずしもいい社会ではないかもしれない。しかし最近、わが国の異性関係が開

表1-41 その友だちとのつきあいをどうするか × 学校ランク（女子）

(%)

	上位校	中位校	下位校
1. 今まで通り、つきあう	68.0	83.1	82.0
2. 少し距離をおいて、つきあう	32.0	16.1	17.3
3. その人とつきあうのをやめる	0.0	0.8	0.7

表1-42 仲のいい友だちの彼女が、「（セックスもする）援助交際をしている」ことがわかったとき、友だちに教えるか（男子）

(%)

1. 教えて、彼女とのつきあいをやめさせるか、彼女に援助交際をやめさせるように友だちを説得する	19.7
2. 教えるだけ（でもつきあうかどうかは、友だちの自由）	41.1
3. 教えない（どんな子とつきあっても、友だちの自由だから）	39.2

放的になったとはいえ、果たして男女間の心の機微までが変化したかどうかはわからない。将来の相手との関係を大事に考えるから身を正す、という発想が、青少年になら少しはあってもいいのではなかろうか。

表1-43 (1)は、「将来の結婚相手に（セックスもする）援助交際がわかってしまったとき、相手との関係はどうなると思うか」である。

「愛していれば、過去のことは問題にならないだろう」が56.3%にも上る。そうした逸脱によって、相手から拒否されるかもしれないと考える者は、6.8%しかいない。そこに見えるのは、自己中心的な思い込みではなかろうか。例えば今年の夏は、若者の間で入

れ墨が流行した。テレビの街頭インタビューで、「結婚するとき、障害にならないだろうか」と尋ねられると、若い女性が「そういう人とは結婚しません。理解してくれる人を選びます」と答えていたのと同じ発想のように思われる。

さらに表1-43 (2)で、同様に「兄の結婚相手が援助交際をしていた人であつたら、あなたは結婚に反対するか」を尋ねたが、「兄さえよければ、ぜんぜんかまわない」が、62.9%と多数を占める。表1-43 (3)に掲げた男子の場合はなおさらで、88.5%と、家族からの反発という抑止力にも、期待できそうにない。

表1-43 高校生のときにある期間、（セックスもする）援助交際をしていた女の子について

将来結婚しようとしたときに、相手の男性にそれがわかってしまったら、その相手との結婚をどう思うか（女子）

	(%)
1. 愛していれば、過去のことは問題にならないだろう	56.3
2. 結婚しても、2人の間はうまくいなくなる可能性が高いだろう	36.9
3. 愛していても、結婚をやめるだろう	6.8

お兄さんの結婚相手の場合はどう思うか（女子）

	(%)
1. お兄さんがよければ、ぜんぜんかまわない	62.9
2. お兄さんがよくても、できれば結婚をやめてほしい	30.9
3. お兄さんがよくても、絶対反対する	6.2

お兄さんの結婚相手が、高校生のとき、（セックスもする）援助交際をしていたらどう思うか（男子）

	(%)
1. お兄さんがよければ、ぜんぜんかまわない	88.5
2. お兄さんがよくても、できれば結婚をやめてほしい	9.5
3. お兄さんがよくても、絶対反対する	2.0

4) 男子の感覚

では男子はどうか。女子が期待するように彼らは、愛していれば全てを受け入れる者たちなのだろうか。

表1-44は、「現在つきあっている彼女が、ウリもする援助交際をしていたら」である。「絶対嫌だ」が8割と圧倒的だが、嫌の程度の緩やかな者が14.8%、「別にかまわない」が5.6%もいる。しかも、**表1-45**に掲げたような、「映画や食事やデートだけの援助交際なら」という問いには、「絶対嫌だ」が2割も減って、6割となる。こうした行為を、精神的な売春とみるような感覚が、もう少しあってもよさそうに思われる。

そして援助交際が、将来の結婚の障害になるかどうかについては、女子が期待する以上

に、かなりの寛容さがみられる。**表1-46**によれば、「将来、結婚したいと思っている彼女が、高校生のときにウリもする援助交際をしていたら」の問いに、「過去のことだから、(今がしっかりしていれば)別にかまわない」が8割にも達し、女子の56.3%より、はるかに大きな許容性がみられる。しかし、もしかしたらこれは、男子生徒の「異性に対する自信のなさ」を示す数字かもしれない。

このような逸脱に対する抑止力の低下は、性的な問題行動に限らないかもしれない。今やすべての問題行動に、外的な抑止力は期待できなくなって、「人として、自分がどうありたいか」という「自分の中にある法(ノリ)」だけが自分の行動を律する時代になったのかもしれない。難しいことである。

表1-44 現在つきあっている相手が、あなたに隠れて(セックスもする)援助交際をしていたらどう思うか(男子)

	(%)
1. 絶対嫌だ	79.6
2. 嫌だ	14.8
3. 別にかまわない	5.6

表1-45 現在つきあっている相手が、食事や映画などのデートだけの援助交際をしていたらどう思うか(男子)

	(%)
1. 絶対嫌だ	60.1
2. 嫌だ	28.0
3. 別にかまわない	11.9

表1-46 将来、結婚したいと思った女性が(セックスもする)援助交際をしていたことがわかったとき、結婚をどうするか(男子)

	(%)
1. 過去のことだから、(今がしっかりしていれば)別にかまわない	79.9
2. 仮に結婚してもうまくいかなくなると思うから、結婚しない	14.3
3. どんなに好きでも、結婚しない	5.8

8 性の商品化に対する感じ方

援助交際は、明らかに自分の性を売る行為である。たとえウリを伴わず、知らない男性と一緒にお茶をして金銭を得るだけでも、それは性を商品化する行為ではなかろうか。

しかし、性を自分の人格のどの側面に位置づけるかは、論理や観念の問題ではなく、人の美意識の問題かもしれない。性を商品化する風潮に対して、それがいいとか、いけないという意見レベルの判断ではなく、そうすることに嫌悪感を伴うかどうか、人の行動を規定するのではなかろうか。

その点を尋ねたのが表1-47である。1

から5までの高校生の行為について、「とても嫌だ」から「ぜんぜん嫌でない」までの判断を求めた。

どの行為にもおおむね「嫌だ」の判断がされているが、「下着を売る高校生」は、女子の方が嫌だと言っており、「たびたびテレクラに電話する高校生」には、男子の方がやや嫌だと言っている。また表1-48が示すように、ここでも上位校の方が、やや嫌悪感が強いこともわかる。成績との関連を表1-49でみると、男子は関連がないが、女子は上位者ほど「嫌だ」の数字が増加しているのはお

表1-47 性風俗に接触する高校生をどう思うか

(%)

	女 子					男 子				
	とても嫌だ	かなり嫌だ	少し嫌だ	あまり嫌でない	ぜんぜん嫌でない	とても嫌だ	かなり嫌だ	少し嫌だ	あまり嫌でない	ぜんぜん嫌でない
1. 制服や体育着を売る高校生	40.9	23.2	19.2	10.9	5.8	42.3	21.6	18.0	10.1	8.0
2. たびたびテレクラに電話する高校生	33.5	22.6	22.9	16.0	5.0	40.3	24.0	18.7	9.5	7.5
3. 下着を売る高校生	59.2	18.8	12.1	6.3	3.6	49.4	21.6	13.8	6.7	8.5
4. デートクラブでアルバイトをする高校生	45.9	25.1	16.7	8.7	3.6	48.7	21.4	14.6	7.3	8.0
5. 伝言ダイヤルに援助交際の伝言を入れる高校生	45.5	23.3	17.9	9.4	3.9	47.9	21.7	14.8	7.5	8.1

もしろい。

では意見レベルではどうか。表1-50でみると、ここに掲げたような意見を肯定する者は男女とも半分を割るが、それでも4割前後、多少とも肯定する者がいるわけで、怖いことである。また表1-51に示したように、ここでも下位校に肯定率が高い。成績との関連もみられ、表1-52に示したように、下位者ほど数字が高い。例えば「援助交際しても、セックスまでしなければかまわない」という精神的売春を肯定する者は、女子の上位者では12.0%だが、下位者では28.0%もいる。おもしろいことに、男子は下位者と共に、

上位者にも肯定者がやや多くみられる。

以上、援助交際とそれに関連した生徒の意識や態度についてのデータをみてきた。その過程でわれわれは、多くの項目に学校差があることを見いだしたが、この学校差がどのような条件によって説明されるのかを、次章で検討していきたい。さらに第3章では、援助交際する者とそうでない者、または援助交際予備群とそうでない層との差が、どのような要因で説明されるかを解析していくつもりである。

表1-48 性風俗に接触する高校生をどう思うか × 学校ランク

(%)

	女 子			男 子		
	上位校	中位校	下位校	上位校	中位校	下位校
1. 下着を売る高校生	78.5	78.0	70.5	75.9	69.7	61.6
2. デートクラブでアルバイトをする高校生	73.0	65.3	63.7	73.9	70.5	58.0
3. 伝言ダイヤルに援助交際の伝言を入れる高校生	74.6	61.0	60.5	72.4	68.0	58.9
4. 制服や体育着を売る高校生	61.0	59.9	63.7	69.9	62.3	57.2
5. たびたびテレクラに電話する高校生	59.8	48.3	43.9	74.1	60.7	56.3

「とても」＋「かなり」嫌だの割合

表1-49 性風俗に接触する高校生をどう思うか × 成績

(%)

	女 子					男 子				
	上	中の上	中	中の下	下	上	中の上	中	中の下	下
1. 下着を売る高校生	85.0	81.9	79.2	75.7	69.4	68.1	77.1	68.4	74.7	67.0
2. デートクラブでアルバイトをする高校生	78.8	78.4	70.9	67.6	60.2	67.1	85.0	68.8	74.7	65.0
3. 伝言ダイヤルに援助交際の伝言を入れる高校生	77.0	77.4	66.7	65.1	60.1	65.9	74.6	65.4	74.7	67.5
4. 制服や体育着を売る高校生	68.0	67.2	65.9	65.6	50.8	57.9	70.1	61.6	70.8	58.3
5. たびたびテレクラに電話する高校生	63.0	64.9	56.3	51.9	43.5	60.2	71.4	63.5	64.0	60.6

「とても」＋「かなり」嫌だの割合

表1-50 性の商品化に対する意見

(%)

	女 子					男 子				
	とても そう思う	わりと そう思う	少し そう思う	あまりそう 思わない	ぜんぜん そう 思わない	とても そう思う	わりと そう思う	少し そう思う	あまりそう 思わない	ぜんぜん そう 思わない
1. 援助交際しても、セックス までしなればかまわない	5.8	15.0	23.7	32.5	23.0	6.0	11.7	19.5	34.9	27.9
2. 制服やストッキングくらい なら、売ってもかまわない	6.1	10.0	18.9	36.0	29.0	6.8	8.7	17.3	37.8	29.4
3. お金をもらってデートやカラオケに行く のは、アルバイトの1つにすぎない	5.5	9.8	18.0	38.5	28.2	5.9	9.2	16.8	34.6	33.5

表1-51 性の商品化に対する意見 × 学校ランク

(%)

	女 子			男 子		
	上位校	中位校	下位校	上位校	中位校	下位校
1. 援助交際しても、セックスまでしなければかまわない	15.6	21.2	26.0	13.9	12.4	18.2
2. 制服やストッキングくらいなら、売ってもかまわない	11.5	16.1	23.9	12.1	13.2	15.4
3. お金をもらってデートやカラオケに行くのは、アルバイトの1つにすぎない	10.6	14.4	25.4	12.9	9.9	17.3

「とても」＋「わりと」そう思う割合

表1-52 性の商品化に対する意見 × 成績

(%)

	女 子					男 子				
	上	中の上	中	中の下	下	上	中の上	中	中の下	下
1. 援助交際しても、セックスまでしなければかまわない	12.0	13.0	17.6	29.4	28.0	21.8	9.6	17.5	20.3	20.8
2. 制服やストッキングくらいなら、売ってもかまわない	13.0	12.9	12.6	21.9	22.8	14.9	7.6	16.2	14.0	22.8
3. お金をもらってデートやカラオケに行くのは、アルバイトの1つにすぎない	5.0	12.4	12.9	21.3	24.5	16.0	9.6	16.6	12.2	19.9

「とても」＋「わりと」そう思う割合

第2章

サンプルの属性と 学校差をめぐって

性は人格の一部とされる。自分と他人の性をどのようなものと捉えるかは、子ども時代に受けた教育、自分が置かれている環境、自分を取り巻く文化、自己のアイデンティティ、自分についてのパースペクティブなど、様々な要因から生み出されるものであろう。

前章でみてきたように、生徒の性意識や性行動、性的環境には、現代的とでも表現でき

そうな種々の特徴があり、加えて大きな学校差がみられる。こうした生徒の性意識や性行動の背景を探り、また前章で見いだされた性のデータの学校差の説明要因を探ることが、本章のねらいである。そして次章では、個々の生徒の性意識、性行動に及ぼす個人的要因の解析を試みるつもりである。

1 高校生活の満足度

まず生徒が、現在の高校生活にどれほど充実感を感じているか、また日頃、どのような場で自己発揮しているかをみていきたい。

1) 何に満足しているか

まず「高校生活の満足感」についての表2-1で、いちばん満足感が高いのは、女子男子共に「友だち」で、「とても・わりと」を合わせると、女子では79.5%、男子で73.4%が満足している。次に満足度の高いのは「部活動」で、女子52.1%、男子52.3%。この2つ以外の満足度はかなり低下する。最低の満足度は「授業」で、その前が「先生」となっ

ている。

また、表の最後に掲げた高校生活トータルの満足度の数字は、「とても・わりと満足」が、女子で46.9%、男子で41.7%と半分に達しない。ただし「少し満足」を加えると、一応満足している者は7割をやや超える。

学校差については表2-2にあるように、どの項目も、学校差が大きい。また男子の場合は、「友だち」への満足感に学校差がみられず、特に中位校、下位校においては、友だちへの際だって高い満足感が、学校生活の満足感を支えているかのようである。

表２－１ 高校生活の満足感

(%)

	女 子					男 子				
	とても満足 している	わりと満足 している	少し満足 している	あまり 満足 していない	ぜんぜん 満足 していない	とても満足 している	わりと満足 している	少し満足 している	あまり 満足 していない	ぜんぜん 満足 していない
１．友だち	37.1	42.4	13.7	5.5	1.3	29.7	43.7	17.2	6.7	2.7
２．部活動	22.0	30.1	20.6	17.5	9.8	19.2	33.1	19.2	16.8	11.7
３．先生	3.8	26.0	27.9	30.3	12.0	3.7	23.3	27.7	29.3	16.0
３．授業	1.9	20.7	29.7	37.1	10.6	1.5	17.4	29.1	34.7	17.3
高校生活全体	10.4	36.5	27.7	19.2	6.2	7.4	34.3	28.9	19.9	9.5

表２－２ 高校生活の満足感 × 学校ランク

(%)

	女 子			男 子		
	上位校	中位校	下位校	上位校	中位校	下位校
１．友だち	81.1	85.5	72.2	68.1	73.5	71.7
２．部活動	63.9	63.5	42.9	72.8	54.8	41.2
３．先生	56.6	36.4	16.4	47.5	21.3	25.4
４．授業	36.8	25.4	13.1	33.7	14.0	13.2
高校生活全体	61.5	56.0	35.0	59.4	45.8	37.2

「とても」＋「わりと」満足している割合

2) 自己発揮の場

そうした満足感を、家庭や社会（アルバイトの場）にまで広げて、少し角度を変え、どの場で「自己発揮しているか」尋ねたのが、**表2-3**である。

ここでも群を抜いて低い数字は「授業のとき」で、「とてもよく・かなり発揮している」者は、女子4.5%、男子8.1%と惨憺たる状況である。最大に自己発揮している「つきあっている相手」といとき」の、女子73.6%、男子62.1%の数字とは大差である。

女子は「つきあっている相手」といとき」に続いて、「友だち」といとき」>「家庭に

いるとき」>「服やおしゃれ用品を買うとき」>「部活動」>「アルバイト」の順で自己発揮しており、男子は女子より、相対的な位置として、「部活動」「アルバイト」が高くなっているのが特徴的である。

いずれにせよ、女子は男子より、学校から離れた私的な時間の中に自己発揮の場を見いだしており、それが生活全体の満足感を押し上げているようにもみられる。

なお表は省略したが、おもしろいことに、学校差はほとんどみられなかった。わずかに女子では、上位校が「部活動」、下位校が「アルバイト」と「服やおしゃれ用品を買うとき」に差がみられただけであった。

表2-3 自分らしさを発揮しているか

(%)

	女 子					男 子				
	とてもよく 発揮して いる	かなり発揮 している	少し発揮 している	あまり発揮 していない	ぜんぜん 発揮して いない	とてもよく 発揮して いる	かなり発揮 している	少し発揮 している	あまり発揮 していない	ぜんぜん 発揮して いない
1. つきあっている相手 と一緒にいるとき	44.9	28.7				35.1	27.0			
	73.6		16.5	7.3	2.6	62.1		22.3	8.6	7.0
2. 友だちといとき	30.5	38.3				18.9	35.1			
	68.8		24.4	5.1	1.7	54.0		31.7	10.1	4.2
3. 家庭にいるとき	36.9	28.9				12.2	24.4			
	65.8		21.0	9.0	4.2	36.6		33.0	20.5	9.9
4. 服やおしゃれ用品 を買うとき	24.5	33.3				12.5	20.3			
	57.8		32.2	7.9	2.1	32.8		32.6	22.0	12.6
5. 部活動のとき	24.7	25.4				23.2	26.8			
	50.1		27.0	12.3	10.6	50.0		25.1	12.9	12.0
6. アルバイトして いるとき	20.3	26.9				20.7	25.2			
	47.2		33.0	12.7	7.1	45.9		27.2	18.4	8.5
7. 授業のとき	1.6	2.9				3.2	4.9			
	4.5		19.9	45.5	30.1	8.1		24.3	37.9	29.7

2 つきあっている相手や ベル友とのかかわり

では最も大きく自己発揮できる「つきあっている相手といるとき」の時間をもつ者は、どれくらいの割合だろうか。

図2-1が示すように、半分くらいの生徒が、かつてを含めて「つきあい経験」をもっている。しかも男子より女子に、相手のいる

者が多い。

今回のサンプルで「相手のいる者」は、女子23.3%、男子15.8%である。サンプルは多少違うが、前の2つの調査での「相手のいる生徒」の割合は、第1調査で女子20.3%、男子15.0%、第2調査では、17.3%、13.6%

図2-1 つきあっている相手の有無

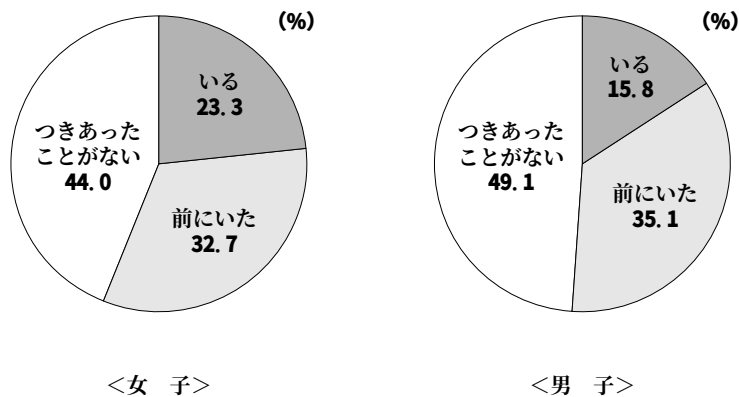


表2-4 ベル友がいるか

	(%)	
	いる	いない
女子	24.6	75.4
男子	13.5	86.5

であった。

前節でみた満足感や自己発揮に関するデータを思い出すと、満たされない授業や対教師関係の下で、生徒がつきあう相手を求めようとする気持ちも理解できるが、そうした相手をもったことが1度もない生徒は、半数近い。彼らの青春はどこにあるのだろう。

交友関係の広がりを見るために、ベル友の有無をみたのが、表2-4である。女子の4分の1がベル友をもち、表2-5に示したように、ベル友の数は1人から3人が多いが、

11人以上という多数のベル友をもっている生徒も5.5%いる。男子でベル友をもつ者の割合は13.5%と女子より少ないが、ベル友の数の分散は大きく、11人以上が11.0%もいる。

次いで、表2-6で電話に費やす時間をみた。女子の方が電話好きであることがわかる。表2-7によれば、いちばんよくかける相手は、女子も男子も「つきあっている相手」であり、また、「違う学校の友だち」によく電話する者も、女子の16.4%、男子の15.0%と、交友関係の広がりが示されている。

表2-5 ベル友の人数

(%)

	1人	2人	3人	4人	5人	6～10人	11人以上
女 子	35.7	23.9	18.9	3.0	6.0	7.0	5.5
男 子	16.8	25.6	16.8	4.0	16.8	9.0	11.0

表2-6 1日にどのくらい電話をかけるか

(%)

	ほとんどしない	15分以内	30分くらい	1時間くらい	2時間くらい	それ以上
女 子	40.1	6.4	19.0	24.9	7.2	2.4
男 子	61.8	15.7	10.3	8.0	2.6	1.6

表2-7 主にかける相手

(%)

	女 子				男 子			
	よくかける	ときどきかける	あまりかけない	ぜんぜんかけない	よくかける	ときどきかける	あまりかけない	ぜんぜんかけない
1. つきあっている相手	48.3	27.5	14.0	10.2	36.6	29.8	16.8	16.8
2. 同じ学校の友だち	19.4	42.5	26.1	12.0	7.8	32.6	27.4	32.2
3. 違う学校の友だち	16.4	43.8	23.7	16.1	15.0	28.3	23.2	33.5

3 アルバイト

前の章で、生徒がおしゃれや流行に敏感で、それらに強い欲求をもっている様子を見てきた。その欲求を満たすには、お金が必要になる。高校生のアルバイトは、現在も学校側からは認められてはいない。しかし表2-8が示すように、親からのお小遣いの額は決して多くない。そのためか表2-9が示すように、女子で38.4%、男子で24.3%が、アルバイトをしている。また表2-10が示すように、アルバイトをしている者は下位校ほど多いが、特に下位校の女子では6割がアルバイトをしている。先にみた女子のおしゃれへの関心の強さと、将来の達成よりまずは現在をエ

ンジョイしようとする態度が、こうした結果を生むのであろう。

その収入も表2-11に示したように、2、3万円から5万円が多く、かなりの額となっている。5万円以上の高収入を得ている者も女子で24.9%、男子で36.1%いる。

そして、親からのお小遣いとバイト収入を合わせた金額が、表2-12である。5万円以上が女子で5.1%、男子で3.1%もあり、表2-13でみるように、特に下位校の者はよく稼いでいる。5万円以上のお小遣いを使う者は、下位校では女子の18.5%、男子の8.2%にも達する。

表2-8 親からもらっているお小遣いの額

(%)

	もらっていない	5千円未満	5千～1万円未満	1万～1万5千円未満	1万5千円～2万円未満	2万～3万円未満	3万円以上
女 子	21.5	15.1	42.6	16.2	2.2	1.5	0.9
男 子	16.1	17.5	47.4	13.1	2.7	1.7	1.5

表2-9 アルバイトの有無

(%)

	している	していない
女 子	38.4	61.6
男 子	24.3	75.7

表2-10 アルバイトの有無 × 学校ランク

(%)

	女 子	男 子
上位校	22.1	15.7
中位校	38.1	21.3
下位校	61.7	52.2

「している」割合

表2-11 アルバイトによる1か月の収入

(%)

	5千円未満	5千～ 1万円未満	1万～ 1万5千円未満	1万5千～ 2万円未満	2万～ 3万円未満	3万～ 5万円未満	5万円以上
女 子	2.6	4.6	4.9	9.0	20.0	34.0	24.9
男 子	5.3	5.3	7.5	7.0	15.9	22.9	36.1

表2-12 1か月のお小遣いの額

(%)

	5千円未満	5千～ 1万円未満	1万～ 1万5千円未満	1万5千～ 2万円未満	2万～ 5万円未満	5万～ 10万円未満	10万円以上
女 子	22.4	28.3	16.6	9.9	17.7	4.8	0.3
男 子	32.3	31.8	13.2	8.7	10.9	2.5	0.6

表2-13 1か月のお小遣いの額 × 学校ランク

(%)

		5千円未満	5千～ 1万円未満	1万～ 1万5千円未満	1万5千～ 2万円未満	2万～ 5万円未満	5万～ 10万円未満	10万円以上
上位校	女子	26.2	32.8	20.5	6.6	12.3	1.6	0.0
	男子	24.3	48.8	13.0	8.7	4.3	0.9	0.0
中位校	女子	25.4	26.3	14.4	11.0	19.5	3.4	0.0
	男子	35.3	35.3	12.6	9.2	7.6	0.0	0.0
下位校	女子	11.4	19.3	7.9	13.6	29.3	16.4	2.1
	男子	24.8	11.9	14.7	12.8	27.6	6.4	1.8

4 親子関係

1) 親との関係

さて生徒の親子関係は、どんな状況にあるのだろうか。

表2-14によると、親子関係は全体としてうまくいっており、9割が「とても・わり

とうまくいっている」か「ふつう」と答えている。しかし「とても・わりと」に限ってみると、女子が65.1%、男子が48.6%と、大きな差がみられる。

そして表2-15によれば、「親から信頼されているか」についても「うまくいっている」

表2-14 親とうまくいっているか

(%)

	とてもうまく いっている	わりとうまく いっている	ふつう	あまりうまく いない	ぜんぜんうまく いない
女 子	30.9	34.2	26.9	6.3	1.7
男 子	18.3	30.3	40.6	6.6	4.2

表2-15 親から信頼されているか

(%)

	とても信頼 されている	わりと信頼 されている	ふつう	あまり信頼 されていない	ぜんぜん信頼 されていない
女 子	14.4	35.6	33.1	12.5	4.4
男 子	11.6	23.0	43.3	14.1	8.0

者の数字より多少減るものの、約8割が信頼されていると答えている。そして「とても・わりと」の数字は女子で50.0%、男子で34.6%と、「うまくいっているか」と同じく、女子の親子関係は男子より良好である。

表は省略したが、学校差をみると「親から信頼されていない」者は下位校に多い。女子では上位校から順に、27.5%＞16.1%＞15.6%、男子では31.3%＞22.1%＞16.4%となっている。

2) 親をどうみているか

では生徒たちは、親をどうみているか。表2-16に示したように、親への評価は概していい。多少気がかりな親としては（とても・わりと・少しそうを合わせて）、女子では「子どものウソにだまされやすい」が41.6%、「お小遣いが足りないとき、たいして理由も聞かずにくれる」38.7%、「子どものしていることに無関心」22.2%の親である。学校差はほとんどみられなかった。

表2-16 親のタイプ

(%)

	女 子					男 子				
	とても そう	わりと そう	少し そう	あまり そうで ない	ぜんぜん そうで ない	とても そう	わりと そう	少し そう	あまり そうで ない	ぜんぜん そうで ない
1. 困ったときに、頼りになる	25.5	33.0	25.6	11.6	4.3	14.7	28.9	30.4	18.6	7.4
2. 門限やきまりに厳しい	20.9	17.0	18.8	25.4	17.9	9.2	13.6	14.7	28.4	34.1
3. 子どもの気持ちをわかってくれる	15.2	25.1	26.9	22.8	10.0	8.6	21.4	33.9	24.7	11.4
4. お小遣いが足りないとき、たいして理由も聞かずにくれる	6.8	16.5	15.4	33.1	28.2	4.8	15.3	15.2	27.0	37.7
5. 子どものウソにだまされやすい	5.6	12.9	23.1	36.5	21.9	4.1	10.2	24.4	35.2	26.1
6. 子どものしていることに無関心	1.4	5.7	15.1	42.3	35.5	2.8	7.2	19.9	45.0	25.1

5 自己像

さて以上のような状況の中で、生徒は自分をどう捉えているか。

1) 自分のタイプ

まず表2-17は、自分のタイプである。
どの調査データでもそうだが、今回の調査

でも生徒たちの自己評価は、おおむね低い。
女子は「音楽好き」を、男子は「音楽好きで、
まあクラスの中に友だちが多い」を、自分の
特徴としているだけで、後の特性については
むしろ否定的である。

女子をとると、「ルックスがいい、おしゃ

表2-17 自分のタイプ

(%)

	女 子					男 子				
	とても そう思う	わりと そう思う	少し そう思う	あまり そう 思わない	ぜんぜん そう 思わない	とても そう思う	わりと そう思う	少し そう思う	あまり そう 思わない	ぜんぜん そう 思わない
1. 音楽が好き	44.5	33.3	16.6	4.3	1.3	34.2	30.7	21.3	8.8	5.0
2. スポーツが得意	9.9	18.9	22.3	27.8	21.1	16.6	26.5	21.3	22.5	13.1
3. クラスの中に 友だちが多い	7.8	21.0	29.1	32.8	9.3	10.3	18.3	29.0	28.8	13.6
4. おしゃれの センスがある	2.7	11.3	29.3	46.0	10.7	5.9	9.6	24.0	39.3	21.2
5. ルックスがいい	1.7	4.2	14.0	40.8	39.3	5.9	5.6	17.4	42.5	28.6
6. よく勉強している	1.2	4.9	10.9	32.4	50.6	4.0	6.0	13.6	28.7	47.7

れのセンスがある」のように、青年期にかなり重要な価値がおかれる項目についてすら、どちらかといえば否定的な者が、「ルックス」80.1%、「おしゃれのセンス」56.7%となっている。同様に男子も「ルックス」71.1%、「おしゃれのセンス」60.5%と、女子よりさらに自信がない。男子生徒の暗い青春が、かいま見えるかのようである。むろん、今の時代の重要な価値である「勉強」についても「よく勉強している自分ではない」とする者は、女子で83.0%、男子で76.4%もいる。

2) 性格の安定度

援助交際に走る生徒は、性格の安定性に問題があるとの指摘がある。表2-18に5つの特性への自己評価を掲げた。「とても・わりとそう」を合わせた数字を女子についてみると、「ときどき、むやみに寂しくなる」58.0%、「ときどき、めちゃめちゃな行動をしたくなる」51.4%が、5割を超える肯定率である。この資料は第3章で使用していく。

表2-18 自分の性格

(%)

		とてもそう	わりとそう	少しそう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない
1. ときどき、 むやみに 寂しくなる	女子	32.9	25.1	19.8	15.6	6.6
	男子	20.9	17.5	22.5	25.0	14.1
2. ときどき、 めちゃめちゃな 行動をしたくなる	女子	29.3	22.1	20.4	21.2	7.0
	男子	28.0	22.4	20.8	17.2	11.6
3. 自分の感情を うまくコントロール するのが苦手だ	女子	13.2	27.3	25.6	25.8	8.1
	男子	12.2	21.6	24.4	27.3	14.5
4. この先、何を したいのか わからない	女子	18.8	20.5	25.9	21.6	13.2
	男子	20.7	22.6	24.3	17.6	14.8
5. 誰も自分を わかってくれる 人がいない	女子	7.6	9.1	22.3	35.5	25.5
	男子	9.2	13.2	25.7	34.0	17.9

3) 将来像

表2-19は、自分が将来どんな生活を送れそうか、という将来への見通しである。

これも全体として、展望は明るくない。いちばん実現しそうなのは、男子女子とも「幸せな家庭を作れる」で、女子にはこれに「好きな人と結婚できる」が加わるが、男子はその点についてもやや悲観的である。「望んでいる進路に進める」「仕事仲間から尊敬される」「社会的に活躍できる」など、社会的達

成といわれるものについては、程度の差はあるものの、どの項目でも半数以上の者がそうした価値をゲットすることが難しいと思っている。生徒が現在を一杯生きることへ傾斜しても不思議ではない。その現れが、アルバイトであり、盛んな異性交友であり、時には逸脱行為かもしれない。

そして表2-20で学校差をみると、上位校と中位校ではそれほどの差がないが、将来の見通しについては、下位校の数字がとりわけ低いのが気にかかる。

表2-19 将来の生活の見通し

(%)

	女 子					男 子				
	きつと そう なれる	たぶん そう なれる	少し 難しい	かなり 難しい	とても 難しい	きつと そう なれる	たぶん そう なれる	少し 難しい	かなり 難しい	とても 難しい
1. 幸せな家庭を作れる	31.6	35.9	19.9	6.9	5.7	20.4	26.5	25.5	11.6	16.0
2. 好きな人と結婚できる	25.3	27.3	23.7	12.3	11.4	16.6	18.2	27.5	16.7	21.0
3. 望んでいる進路に進める	14.4	29.4	35.3	14.5	6.4	13.7	20.4	37.9	17.7	10.3
4. 社会的に活躍できる	7.7	20.4	38.1	18.7	15.1	13.7	18.2	35.4	16.3	16.4
5. 仕事仲間から尊敬される	5.5	24.0	44.8	15.2	10.5	11.6	22.3	35.4	16.9	13.8

表2-20 将来の生活の見通し × 学校ランク

(%)

	女 子			男 子		
	上位校	中位校	下位校	上位校	中位校	下位校
1. 幸せな家庭を作れる	70.0	76.9	63.2	62.6	50.9	36.4
2. 好きな人と結婚できる	62.5	68.4	48.9	51.3	43.5	29.1
3. 望んでいる進路に進める	52.9	58.1	35.5	44.3	39.4	30.9
4. 社会的に活躍できる	32.5	31.7	21.4	45.2	36.1	24.5
5. 仕事仲間から尊敬される	35.9	34.2	19.3	47.9	32.8	29.1

「きつと」+「たぶん」そうなる割合

6 ここまでのまとめ

この章でみたきたサンプルの属性は、前章で扱ってきた援助交際状況の背景として、どう位置づけられるだろうか。

まず高校生活の満足感は、全体としてはまあまあだが、授業や先生に対する満足感が低く、とりわけ授業は極端に自己発揮されていない場である。学校が勉強をする場であるなら、この数字は憂慮すべきだろう。その中で、友だちへの満足感は学校ランクに関係なく高く、次は部活動である。逆に飛び抜けて自己発揮されているのは「つきあっている相手といるとき」である。つきあい経験者も半分を超える。そして生徒は、セックスをかつてほどは自分たちに禁止された行為とは思っていない。

他方で、おしゃれや流行に対する欲望が高まっている。アルバイトをしている者も少なくないし、消費行動は活発である。そして今日、援助交際は超高額のバイト料が入手できる手段の1つである。しかも援助交際の実態を、ウリを伴わない場合も多いとか、ウリの確率が低いと思っている生徒も少なくない。しかも盛り場を歩けば「援助交際しないか」と声をかける不埒なおとながたくさんおり、仲間で誘いの声をかける者もいる。伝言ダイヤルやテレクラの存在も知っているし、援助交際のためでなくても、何かでこうしたメディアを利用した経験ももっている。その気になれば、少し手を伸ばすだけで、この高額なアルバイトを始めるチャンスはいくらでもある。

しかも逸脱行為に対する抑止力は、多くの側面で弱まっている。規範感覚そのものが、全体に低下しているし、友だちとの絆が弱まり、ピア・プレッシャーは働かない。親のコントロールも弱まっている。

生徒の将来像は、人々からの尊敬や社会的

成功の側面では否定的だが、しかし幸せな家庭や結婚を夢見ることはできて、しかも援助交際のような逸脱をしても、将来の幸福への障害にはならないという認識がある。

援助交際そのものの経験者は、今のところ高2で4%、高3で5%と僅少である。しかし、予備群というか、引き金要因があれば、援助交際に走りそうな生徒は25%~30%もいる気配である。

このような援助交際の経験者、予備群とも、地域性と共に、残念ながら学校ランクと密接な関連をもっており、時に成績ランクとも関連をもっている。そして学校差の解析をしてみると、ほとんどの側面で、学校ランクが低いほど生徒の意識や生活する環境は、逸脱を生む土壌を備えている。

こうした土壌と背景の下では、ある割合で援助交際に走る者が出てきても不思議ではなさそうだ。援助交際は、学校生活で確認されない自分の価値、女性としての価値を、学校を離れた場で確認する1つの方法かもしれないことを考えると、健康な自己確認の場を与えていない生徒のライフスタイルそのものを、問い直さなければならないだろう。

しかしそうした条件を考え合わせるとき、われわれはむしろ逆に、大方の生徒たちの健康性を感じ入らずにはいられない。悪い条件のもとで、大方は逸脱行為に走ることなく、けなげに健全にがんばっているではないか。そのような生徒たちを、ほめ、励ましてやりたいと思うのは、筆者らだけだろうか。

さて次章では、援助交際をする者、またはその予備群がどういう者たちか、その要因を探りたいと思う。

第3章 ||||

援助交際をする子と その要因を探る

この章では、援助交際の体験のある子や援助交際への予備群的な高校生を中心に分析をしていく。今回調査対象となった868名中援助交際の体験のある者は4.4%、38名であった。東京に限定すると5.8%となる。サンプルとしては少数であるが、援助交際体験群の

「性的環境の捉え方、逸脱と規範意識、性の商品化への感じ方、消費欲求、援助交際の抑止力、高校生活と自己像」等で非体験群と比較し、どのような差があるか、その特性を探っていくことにする。

1 援助交際をする子・しない子

1) 性的環境の捉え方

援助交際体験群の捉える性的環境とはどのようなものだろうか。高校生と援助交際の関係を東京都の調査による「援助交際の体験率4%」を示して尋ねたものが表3-1である。援助交際体験群は「もっと多いと思う」割合が50.0%を占める。非体験群は39.1%である。また、「もっと少ないと思う」者は、体験群2.6%、非体験群11.2%、と大差である。

表3-2は、「援助交際をしている人がクラスの中にいるか」と尋ねた結果である。援助交際体験群は「ぜんぜんいないと思う」と答えた者が27.0%にすぎず、「実際にいる

と思う」27.0%、「もしかしたら、いるかもしれない」46.0%、を合わせて7割以上が、自分以外に援助交際をしている者がクラスに存在している可能性を予想している。非体験群ではクラスの中に「ぜんぜんいないと思う」と答える者が6割で、体験群との差が大きい。高校生たちがよく言う「自分だけではない、みんなやっているから」という意識が、援助交際を支えているのだろうか。

表3-3は、「テレクラに電話をする人やデートクラブでアルバイトをする人がいると思うか」の割合である。援助交際体験群ではデートクラブでアルバイトをする人がクラスの中に「ぜんぜんいないと思う」48.7%、

「もしかしたら・実際にいると思う」割合は51.3%。
次に、「テレクラに電話をする人がいると

思うか」の割合をみると、「実際にいると思う」割合は援助交際体験群が27.0%、非体験群は8.4%で大きな差がみられる。

**表3-1 「東京都の調査で高校生の援助交際は4%」という数値について
× 援助交際の体験** (%)

	もっと多いと思う	この程度だと思う	もっと少ないと思う
体験群	50.0	47.4	2.6
非体験群	39.1	49.7	11.2

**表3-2 援助交際をしている人はクラスにいると思うか
× 援助交際の体験**

(%)

	体験群	非体験群
1. ぜんぜんいないと思う	27.0	58.9
2. もしかしたら、いるかもしれない	46.0	37.7
3. 実際にいると思う	27.0	3.4

表3-3 テレクラに電話をしている人やデートクラブでアルバイトをしている人はクラスにいると思うか × 援助交際の体験

(%)

	テレクラに電話をしている人		デートクラブでアルバイトをしている人	
	体験群	非体験群	体験群	非体験群
1. ぜんぜんいないと思う	27.0	28.8	48.7	66.3
2. もしかしたら、いるかもしれない	46.0	62.8	37.8	32.2
3. 実際にいると思う	27.0	8.4	13.5	1.5

このことは、表3-4の「テレクラへ電話をした体験」からも明らかで、援助交際体験群の84.2%はテレクラへ電話をかけた体験をもっている。非体験群は32.3%にすぎない。

次に、援助交際をどう捉えているのかみてみよう。第1章表1-12 (p. 19) でみたように、援助交際のコンセプトは曖昧で、セックスを伴う行為かの判断は個人差が大きかった。そこで表3-5は、援助交際のコンセプ

トについて示した。両群に大きな差はみられなかった。

さらに、援助交際をしようと誘われた経験をみてみよう。表3-6は、「援助交際をしようと誘われたことがある」かを(1)街で男性から声をかけられた体験、(2)友だちから勧められた体験について尋ねた。(1)によれば、「街で男性から声をかけられた体験」は、援助交際体験群では「何回もある」44.7%、

表3-4 テレクラに電話をしたこと × 援助交際の体験

(%)

	ない	1、2回 電話をした	かなり利用したが、 話をしただけ	テレクラを利用して、 デートをした
体験群	15.8	26.3	26.3	31.6
非体験群	67.7	22.3	9.8	0.2

表3-5 援助交際をしている中で、「セックスなしに食事などにつきあうだけ」のケースの割合 × 援助交際の体験

(%)

	体験群	非体験群
1. ほとんどの子が、セックスまでしていると思う	18.4	12.8
2. 6、7割の子が、セックスまでしていると思う	26.3	25.3
3. 半分くらいの子が、セックスまでしていると思う	29.0	37.1
4. セックスしない子の方が多いと思う	26.3	24.8

「1回だけある」までを合わせると声をかけられたことのある者は9割近くになる。非体験群は「何回もある」は3.9%と少なく、「1回以上ある」までを合わせ22.4%と援助交際体験群に比べ非常に低い数値である。援助交際体験群が頻繁に繁華街に出かけることもあろうが、非体験群でも声をかけられた者が2割を超える現状は、街には女子高生を性的商品とみなし、「誘えばもしかしたら……」

と考える男性が多いことを示している。これは都心だけでの現象ではない。地方でもルーズソックスに超ミニスカートの女子高生はあふれており、朝、登校途中に声をかけるサラリーマン風の男性もいるという。男性は何を考えているのだろうか。

次に、(2)「援助交際を友だちから勧められた体験」をみると、援助交際体験群のまわりには援助交際をしている仲間が多いのであ

表3-6 「援助交際をしよう」と誘われた体験

街で男性から声をかけられた × 援助交際の体験 (％)				
	何回もある	2、3回ある	1回だけある	ない
体験群	44.7	34.2	7.9	13.2
非体験群	3.9	9.5	9.0	77.6

友だちから勧められた × 援助交際の体験 (％)				
	何回もある	2、3回ある	1回だけある	ない
体験群	8.1	27.0	5.4	59.5
非体験群	0.7	2.6	3.5	93.2

う。友だちから勧められた割合が高い。

さらに、表3-7、表3-8では誘われる具体的な場面を設定した。「レストランで、オジサンと2人で食事するだけで、1万円になるけど、どう？」と誘われた場合、援助交際体験群は「たぶん、承知する」63.2%、「少し考えるが、承知するかもしれない」を合わせると86.9%が肯定的な反応を示している。そして「話し相手だけの約束で食事をした後、ホテルに行ってくれたら、もう5万円、お小遣いをあげる」と言われた場合は、

援助交際体験群の63.2%がその場の雰囲気やムードで承知すると言っている。

このように、援助交際体験群は非体験群に比べ「いつ援助交際してもおかしくない」性的刺激の強い環境の中にいることがわかる。そこで「今後援助交際をするかどうか」尋ねたのが図3-1である。体験群は「絶対しない」が5.7%（2人）にすぎず、「もしかしたらするだろう」57.2%（20人）、「たぶんしないだろう」37.1%（13人）を合わせ9割以上が今後も援助交際する可能性を否定しな

表3-7 仲のいい友だちから「レストランで、オジサンと2人で食事するだけで、1万円になるけど、どう？」と言われたらどうするか × 援助交際の体験

	(%)	
	体験群	非体験群
1. たぶん、承知する	63.2	7.4
2. 少し考えるが、承知するかもしれない	23.7	17.3
3. 少し考えるが、断るだろう	10.5	30.2
4. すぐ断る	2.6	45.1
	86.9	24.7

表3-8 話し相手だけの約束で食事した後、「ホテルに行ってくれたら、もう5万円、お小遣いをあげる」と言われたらどうするか × 援助交際の体験

	(%)	
	体験群	非体験群
1. そうする	7.9	0.1
2. 相手が好みのタイプなら、そうする （タイプでなければ断わる）	36.8	8.4
3. その場のムードで決める	18.5	3.8
4. すぐ断る	36.8	87.7
	63.2	12.3

い。援助交際体験群にとって、「援助交際は一度してしまったらやめられないオイシイアルバイト？」なのだろう。しかし、非体験群でも自分は「絶対しない」と明確な意志をもって否定する者は7割しかいないことも見過ごせない数値である。

2) 援助交際と逸脱行為

では、援助交際体験群の他の逸脱体験をみよう。表3-9は、「友だち同士でお酒を飲む」から「テレクラでアルバイトをする」

の7項目について、援助交際体験群と非体験群を比較した。「無断で外泊する」「たばこを吸う」の項目では援助交際体験の有無による差がとりわけ顕著である。さらに逸脱行為全体との関連をみると援助交際体験群は他の逸脱行為の体験率も高く、彼女たちにとっては援助交際も逸脱行為の1つにすぎないということがわかる。では、こうした逸脱行動を、どのくらい悪いと感じているのだろうか。

表3-10は表3-9の逸脱体験についての罪悪感を尋ねた。援助交際体験群は「友だ

図3-1 援助交際をするかもしれないと思うか × 援助交際の体験

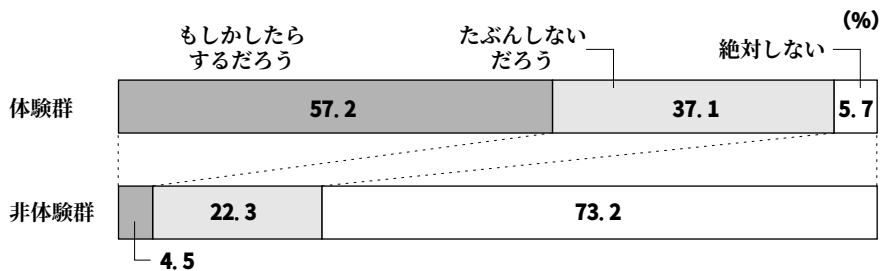


表3-9 逸脱行為の体験 × 援助交際の体験

	(%)	
	体験群	非体験群
1. 友だち同士でお酒を飲む	100.0	72.1
2. ナンパしたりされたりする	89.5	57.6
3. アダルトビデオを見る	78.9	31.0
4. たばこを吸う	81.1	27.3
5. パチンコをする	55.3	16.3
6. 無断で外泊する	78.9	14.3
7. テレクラでアルバイトをする	21.6	0.8

「よく」+「ときどき」+「今までに1、2回」ある割合
 ≧は差の大きなもの（以下同）

ち同士でお酒を飲む」「ナンパしたりされたりする」「アダルトビデオを見る」「パチンコをする」「テレクラでアルバイトをする」行為を「とても悪い」と思う者は、1割にも満たない。そして、「たばこを吸う」「無断で外泊する」「援助交際をする」でも「とても悪い」とする者は2割にすぎない。非体験者は2倍から3倍の者が「とても悪い」と答えている。特に、「援助交際をする」では、援助交際体験群が21.1%、非体験群が71.3%、「テレクラでのアルバイト」では、体験群の

5.3%に比べ、非体験群は実に58.9%と大差がみられ、規範感覚の大きな崩れがうかがえる。

しかし、気がかりなのは非体験群でも「友だち同士でお酒を飲む」「ナンパしたりされたりする」「アダルトビデオを見る」を「とても悪い」と思う者は1割程度である。最近では高校生と一緒にビールを飲む親も増えている。また、「ナンパしたりされたりする」「アダルトビデオを見る」ことは、高校生にとってゲーム感覚の遊びの1つにすぎないの

表3-10 高校生としてどのくらい悪いことか × 援助交際の体験

(%)

	体験群		非体験群
1. 友だち同士でお酒を飲む	5.3	<	10.5
2. ナンパしたりされたりする	2.6	<	7.2
3. アダルトビデオを見る	2.6	<	10.1
4. たばこを吸う	18.4	≪	46.1
5. パチンコをする	5.3	<	17.1
6. 無断で外泊する	21.1	<	30.5
7. 援助交際をする	21.1	≪	71.3
8. テレクラでアルバイトをする	5.3	≪	58.9

「とても悪い」割合

だろう。

次に、援助交際が退学に値するほどの、悪い行為と思うかをみたのが**表3－11**である。「援助交際が見つかったら、退学にする」を「まあ当然」とする者は、援助交際体験群では18.9%にすぎず、非体験群では38.4%。しかしその他でも、「女子高校生が妊娠したのがわかったら、退学にする」を「まあ当然」とする割合は、両群でそれほど差が大きくななく、一様に退学に値するほどのことはないと考えている。性に関することは、すなわちラブホテルに行くことや妊娠さえも学校が介入

するべきでない個人的なことを考えているのだろうか。

高校での退学処分は、出席日数の不足や成績が基準点に満たない場合で、それさえも補習や追試で補い、進級や卒業をさせてしまうというのが実状である。逸脱行為と退学の関連性がほとんどない中で、甘い判断になっているのだろうが、規範意識全体が薄れてきている現状は否めない（ただし、こうした非行行為を、即、退学処分にすべきだとわれわれが考えているわけではない）。

表3－11 次のような校則があったらどう思うか × 援助交際の体験

(%)

	体験群		非体験群
1. 髪を茶色に染めてはいけない	0.0	<	14.2
2. 女子高校生が妊娠したのがわかったら、退学にする	13.2	<	19.1
3. ファッションホテルやラブホテルに入ったのが見つかったら、退学にする	7.9	<	18.7
4. 伝言ダイヤルに「5万円で援助交際したい」と入れているのがわかったら、退学にする	21.1	<	35.6
5. 援助交際が見つかったら、退学にする	18.9	<	38.4

「まあ当然」の割合

3) 性風俗や性の商品化への感じ方

表3-12は性風俗に接触する高校生への嫌悪感を示した。ここでも両群には嫌悪感に関して大きな差がみられる。

次に、高校生の性の商品化への意識を尋ねたのが、表3-13である。援助交際体験群の6割を超える者が「援助交際しても、セックスまでしなければかまわない」「制服やストッキングくらいなら、売ってもかまわない」「お金をもらってデートやカラオケに行くの

は、アルバイトの1つにすぎない」と考えており、非体験群との差はここでも極めて大きい。

そして高校生が援助交際をすることへの意見についてみたのが図3-2である。「援助交際は誰にも迷惑をかけていないのだから非難すべきでない」という意見に「とてもそう思う」割合は34.2%、「わりと（39.5%）・少し（18.4%）そう思う」を合わせると9割を超え、当然とはいえ非体験群との差は極めて大きい。

表3-12 性風俗に接触する高校生をどう思うか × 援助交際の体験

(%)

	体験群		非体験群
1. 制服や体育着を売る高校生	16.2	≪	66.3
2. たびたびテレクラに電話する高校生	13.2	≪	58.1
3. 下着を売る高校生	23.7	≪	80.6
4. デートクラブでアルバイトをする高校生	26.3	≪	73.1
5. 伝言ダイヤルに援助交際の伝言を入れる高校生	28.9	≪	70.6

「とても」＋「かなり」嫌だの割合

表3-13 性の商品化に対する意見 × 援助交際の体験

(%)

	体験群		非体験群
1. 援助交際しても、セックスまでしなければかまわない	67.5	≫	18.7
2. 制服やストッキングくらいなら、売ってもかまわない	62.1	≫	14.0
3. お金をもらってデートやカラオケに行くのは、アルバイトの1つにすぎない	64.8	≫	12.9

「とても」＋「わりと」そう思う割合

では、法的に処罰すべきことと考えているのだろうか。表3-14によれば、「他人に迷惑をかけていないのだから、両方とも、特に処罰しなくてよい」が、援助交際体験群では41.6%、非体験群では15.6%と差が大きい。援助交際は、こうした普通とズレた性の規範感覚に支えられていることがわかる。

援助交際にセックスが伴うことが十分予想されても、「援助交際」という言葉が「売春」という事実をカムフラージュして、彼女たちに残るささやかな規範意識も排除していくの

だろうか。男子高校生が、援助交際の現状を「日本人はつくづく言葉の作り方がうまいと思った。援助交際とは売春であるのに交際という言葉で本質を隠してしまう。そこに女子高校生の物へのあこがれやオジサンたちのニーズが重なり、『自分だけではない、クラスの中にもいるかもしれない』という仲間意識と共に援助交際の輪を広げていく」と語っていたが、この感覚はまことに的確な指摘であると思われる。

図3-2 「援助交際をしている人は、誰にも迷惑をかけていないし、本人も相手もいいのだから非難すべきでない」という意見について × 援助交際の体験

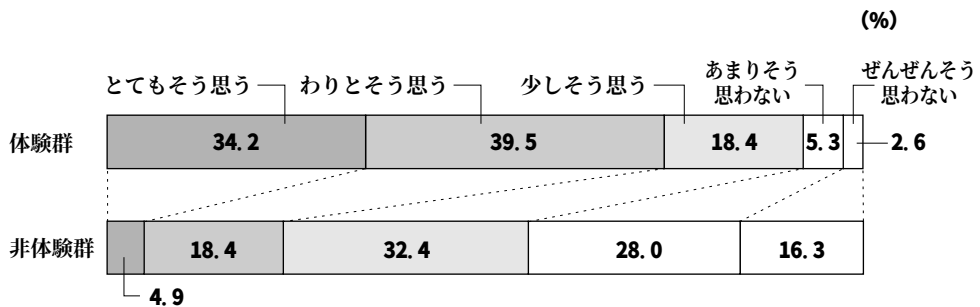


表3-14 「高校生と援助交際をするおとなを厳しく処罰する方がいい」という意見をどう思うか × 援助交際の体験

(%)

	体験群	非体験群
1. おとなだけを厳しく処罰して、高校生は注意くらいでいい	27.8	14.6
2. おとなを厳しく処罰し、高校生も学校や親に連絡するなど、厳しく罰した方がよい	30.6	69.8
3. 他人に迷惑をかけていないのだから、両方とも、特に処罰しなくてよい	41.6	15.6

4) 消費欲求とアルバイト

高校生の消費欲求の強さは、援助交際の体験の有無でどうなっているのだろうか。修学旅行にあこがれのブランドのバッグや化粧品、衣類や小物を持ってくる生徒は多い。「ステキ」「超カッコいい」「私も欲しい」などの歓声とともに、得意そうに見せている生徒が輪の中心にいる。今、とにかく女子高生のブランド志向は強い。

表3-15 に、ファッションや流行への欲求を援助交際の体験の有無で示した。「とても・わりとしたい」数値でみると、「通学服(制服)にルーズソックス」「ポケベルやPH

S」は援助交際の体験の有無での差がほとんどみられない。特に高校生にとってポケベルは人気のアイテムで、ポケベルの発信する暗号のようなメッセージを共有することで友だち同士の親密さを保つのだそうだ。両群の差の最も大きい項目は「ブランドものの口紅や化粧品を持つ」、次いで「ピアスやリングをつける」「細眉にする」「茶髪にしたり、パーマをかける」「制服を超ミニスカートにする」「口紅やファンデをつける」と続き、援助交際体験群に、こうしたお金のかかるおとなの女性のおしゃれをしたがる傾向が非常に強いことがわかる。

表3-15 ファッションや流行への欲求 × 援助交際の体験

(%)

	体験群	非体験群
1. 通学服(制服)にルーズソックスをはく	94.7	90.1
2. ポケベルやPHSを持つ	94.7	82.5
3. 茶髪にしたり、パーマをかける	91.9	69.2
4. ピアスやリングをつける	92.1	68.9
5. 口紅やファンデをつける	84.2	64.6
6. 通学服(制服)を超ミニスカートにする	81.6	58.9
7. 細眉にする	75.7	52.7
8. ブランドものの口紅や化粧品を持つ	81.5	49.0

「とても」+「わりと」したい割合

では、こうした欲求を満たすお小遣いをどうしているのか。表3-16は1か月のお小遣いの額である。援助交際体験群は「2万～5万円未満」42.0%がおり、「5万～10万円未満」も26.3%いて、お小遣いの多さが目を引く。非体験群は「5千円未満」23.3%、「5千～1万円未満」を合わせて「1万円未満」が52.3%と少額である。

このような多額のお小遣いをどのように調達しているのかといえば、アルバイトであろう。援助交際体験群は65.8%がアルバイトをしており、1か月のアルバイトの収入も「5万円以上」が半数を占める。ただし、表

3-17によれば、親からもらうお小遣いは、援助交際体験群は「親からもらっていない」者が36.7%もいる。ヒアリングの中で、アルバイトを始めると親からお小遣いをもらわなくなる者も多かった。その一方で、援助交際体験群は親から「2万～3万円未満」もらっている者が5.3%、「3万円以上」と高額なお小遣いをもらっている者も10.5%いる。多額のお小遣いを与える親、アルバイトに依存させている親など、お小遣いのしつけは親により様々だが、子どもがどんな手段で稼いで、何を購入しているのか注意してみる必要もあるのではないだろうか。

表3-16 1か月のお小遣いの額 × 援助交際の体験

(%)

	5千円未満	5千～1万円未満	1万～1万5千円未満	1万5千～2万円未満	2万～5万円未満	5万～10万円未満	10万円以上
体験群	5.3	13.2	5.3	5.3	42.0	26.3	2.6
					68.3		
非体験群	23.3	29.0	17.3	10.2	16.3	3.8	0.1
	52.3						

○は最大値

表3-17 親からもらっているお小遣いの額 × 援助交際の体験

(%)

	もらっていない	5千円未満	5千～1万円未満	1万～1万5千円未満	1万5千～2万円未満	2万～3万円未満	3万円以上
体験群	36.7	5.3	21.1	15.8	5.3	5.3	10.5
	▽						▽
非体験群	20.6	15.6	43.7	16.3	2.1	1.3	0.4

○は最大値

5) 援助交際の抑止力

① 親との関係

まず、親との関係をみてみよう。表3-18によれば、親との関係が「とても・わりとうまくいっている」者は援助交際体験群は52.8%、非体験群で65.5%、「あまり・ぜんぜんうまくいっていない」者は体験群が30.5%、非体験群で7.1%と差が大きい。親から信頼されているかを尋ねた結果を図3-3に示した。援助交際体験群で「とても・わりと信頼されている」と答えた者は3割。非体験群では5割。逆に「あまり・ぜんぜん信頼されていない」割合は、援助交際体験群は48.7%、非体験群で15.6%と、これも両群の差が顕著である。

では、どんなタイプの親なのだろうか。表3-19によると、非体験群の親は「困ったときに、頼りになる」「門限やきまりに厳しい」で数値が高い。一方、援助交際体験群の親は「お小遣いが足りないとき、たいして理

由も聞かずにくれる」「子どものウソにだまされやすい」「子どものしていることに無関心」の割合が高く、非体験群との差が顕著である。援助交際に走る子を生み出す家庭的要因の存在がみられる。

次に、逸脱行為に対して、親がどのような態度で接するのか示したのが、表3-20である。援助交際体験群は、親について「友だち同士でお酒を飲む」「つきあっている相手とセックスする」「パチンコをする」といった逸脱行為をしても、親は「あまり叱らない・何も言わない」と考える割合が8割～9割を超える。では逸脱行為の中で、親が子どもを叱るのは、表によれば「無断外泊」「援助交際」「テレクラでのアルバイト」をしたときで、それも決して高い数値ではない。

親のタイプや逸脱行為への親の態度は、お小遣いの額なども深く関連しており、援助交際体験群の親のしつけのあり方が気になる結果である。

表3-18 親とうまくいっているか × 援助交際の体験

	とてもうまくいっている	わりとうまくいっている	ふつう	あまりうまくいっていない	ぜんぜんうまくいっていない
体験群	22.2	30.6	16.7	22.2	8.3
非体験群	31.4	34.1	27.4	5.6	1.5

図3-3 親から信頼されているか × 援助交際の体験

	とても信頼されている	わりと信頼されている	ふつう	あまり信頼されていない	ぜんぜん信頼されていない
体験群	8.1	24.3	18.9	32.5	16.2
非体験群	14.7	36.0	33.7	11.7	3.9

表3-19 親のタイプ × 援助交際の体験

(%)

	体験群		非体験群
1. 困ったときに、頼りになる	50.0	<	59.0
2. お小遣いが足りないとき、 たいして理由も聞かずにくれる	39.5	>	22.6
3. 子どものウソにだまされやすい	35.1	>	17.7
4. 子どもの気持ちをわかってくれる	42.1		40.4
5. 門限やきまりに厳しい	21.1	<	38.6
6. 子どものしていることに無関心	18.4	>	6.5

「とても」+「わりと」その割合

表3-20 子どもの逸脱行為に対する親の態度 × 援助交際の体験

(%)

	体験群		非体験群
1. テレクラでアルバイトをする	23.7	>	2.6
2. 援助交際をする	34.2	≫	3.5
3. 無断で外泊する	39.5	≫	9.2
4. たばこを吸う	56.7	≫	16.0
5. パチンコをする	86.5	≫	44.9
6. つきあっている相手とセックスする	84.2	≫	56.1
7. 友だち同士でお酒を飲む	91.9	≫	56.0

「あまり叱らない」+「何も言わない」割合

さらに、こうしたしつけの甘さだけではなく、援助交際をしたら、親にわかるかどうかを尋ねたのが、図3-4である。援助交際体験群は「うまくやれば、気がつかないかもしれない」51.4%、「子どもが隠せば、気がつかないだろう」35.1%と9割弱の者が、子どもの対応次第では気がつかないだろうと思っている。そして、親は援助交際をしていることを知っても、「黙っている」21.6%、「注意はするが、それ以上きつくは出ないだろう」35.1%と、6割が黙認されるか、簡単な注意にとどまるだけと思っている。「殴ってでも、

やめさせるだろう」が80.2%の非体験群とでは大きな差がみられる（図3-5）。

では将来、自分が親になったときはどうするのか。図3-6によれば、援助交際体験群の中にも「厳しく叱って、（殴ってでも）やめさせる」が43.2%と、自分の子どもには厳しく対応する者もいる。自分のしている行為を後ろめたく思っている者がいることの現れだろうか。援助交際体験群の中には援助交際をそれほど悪い行為ではないと思っている者と、たまたま援助交際に走ってしまっただけ後悔している者がいるのだろう。その違いが、

図3-4 あなたの親は子どもが「援助交際」をしていたら、すぐわかるタイプか × 援助交際の体験

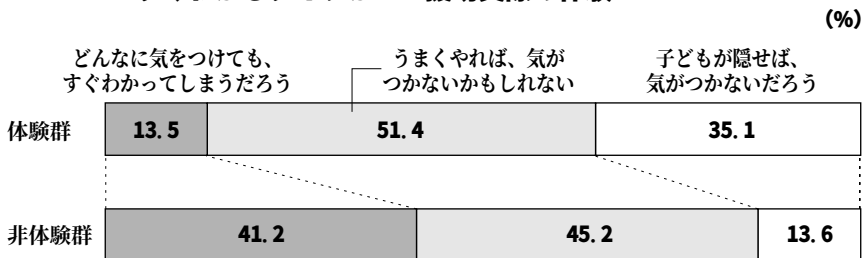


図3-5 あなたの親は、子どもが「援助交際」をしていることを知ったら、どうするタイプか × 援助交際の体験

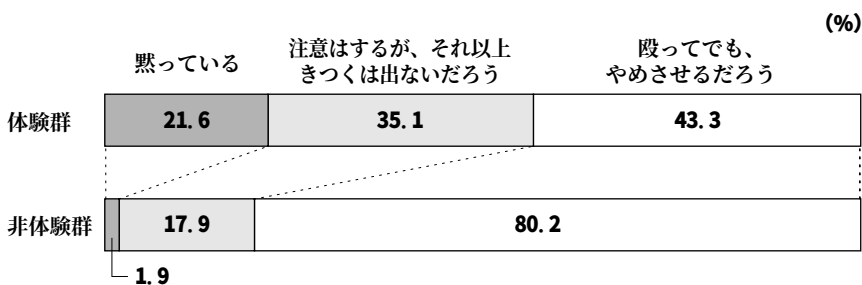
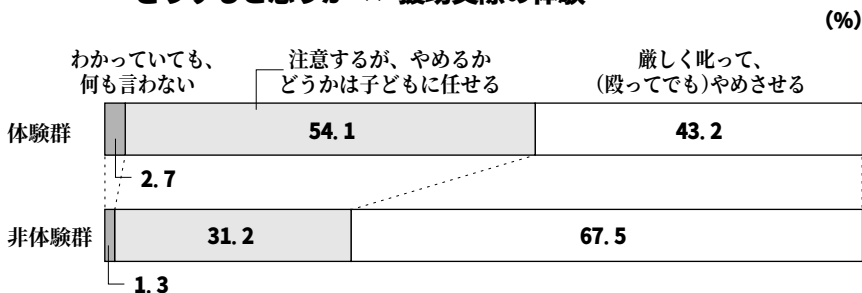


図3-6 将来、あなたの子どもが「援助交際」をしていることを知ったとき、どうすると思うか × 援助交際の体験



将来の子どもへの対応や今後の援助交際の可能性の数値に影響を与えていると思われる。

② 友だちとの関係

図3-7は、仲のいい友だちから「自分はセックスもする援助交際をしている」と打ち明けられたときの態度である。援助交際体験群の56.8%が「その人の自由だと思う」とし、「絶対やめさせる」という者は37.8%にすぎず、非体験群との差が大きい。しかし、援助交際体験群の中でも「絶対やめさせる」37.8%の数値には安心させられるものがある。

自分の行為を決していいこととは思っていないのであろう。

その友だちとのつきあいは、表3-21によれば、体験群には「今まで通り、つきあう」が94.6%とやはり両群に差がみられる。

③ 将来の結婚や異性

表3-22は、将来結婚しようとしたとき、相手の男性にそれがわかってしまったら、相手との結婚はどうなると思うかである。援助交際の体験の有無にはほとんど差がみられず、「愛していれば、過去のことは問題にな

図3-7 仲のいい友だちから「(セックスもする)援助交際をしている」と打ち明けられたらどうするか × 援助交際の体験

	絶対やめさせる	嫌だけれど、何も言わない	その人の自由だと思う
体験群	37.8	5.4	56.8
非体験群	60.9	13.9	25.2

表3-21 その友だちとのつきあいをどうするか × 援助交際の体験

	体験群	非体験群
1. 今まで通り、つきあう	94.6	78.1
2. 少し距離をおいて、つきあう	5.4	21.2
3. その人とつきあうのをやめる	0.0	0.7

表3-22 高校生のときにある期間、(セックスもする)援助交際をしていた女の子について

将来結婚しようとしたときに、相手の男性にそれがわかってしまったら、その相手との結婚をどう思うか × 援助交際の体験

	体験群	非体験群
1. 愛していれば、過去のことは問題にならないだろう	62.2	56.0
2. 結婚しても、2人の間はうまくいなくなる可能性が高いだろう	29.7	37.3
3. 愛していても、結婚をやめるだろう	8.1	6.7

らないだろう」と考えている者が6割。「愛
している、結婚はあきらめるだろう」が1
割未満である。ヒアリングでも「過去のこ
とは関係ない、今が大切」という意見が圧倒的
に多かった。しかも、援助交際体験群は「現
在つきあっている相手がいる」者が56.8%
おり（表3-23）、援助交際をする一方で、
つきあっている異性との関係もうまく保つ技
術があるのだろうか。将来の結婚も、つきあ

っている異性の存在も援助交際の抑止力には
なっていないようである。

6) 高校生活と自己像

高校生活の満足感をみると、表3-24に
よれば、教師や授業への満足感に両群の差が
大きく、高校生活全体の満足感も援助交際体
験群は低い。成績との関連でみると、表3-
25によれば、援助交際をしている者は成績

表3-23 現在、つきあっている相手がいるか × 援助交際の体験

(%)

	つきあっている	以前いたが、 今はつきあっていない	つきあったことがない
体験群	56.8	32.4	10.8
非体験群	21.9	32.7	45.4

表3-24 高校生活の満足感 × 援助交際の体験

(%)

	体験群		非体験群
1. 友だち	75.6		79.7
2. 部活動	50.0		52.3
3. 先生	18.4	<	30.4
4. 授業	5.2	<	23.4
高校生活全体	29.7	<	47.6

「とても」＋「わりと」満足している割合

表3-25 成績 × 援助交際の体験

(%)

	上	中の上	中	中の下	下
体験群	13.5	18.9	18.9	16.2	32.5
非体験群	11.6	20.9	33.1	19.0	15.4

の「下位者（中の下＋下）」が48.7%を占めている。ただし、一部に上位者（13.5%）もいることに留意したい。

表3-26の卒業後の進路では、「就職を希望する」者が36.1%と最も多く、「短大、専門・専修学校」が22.3%であるが、「4年制大学進学希望者」も27.7%（うち難しい大学への希望者8.3%）いる。非体験群と進路の差がみられる。

将来の見通しでは、おもしろいことに援助交際体験群は「望んでいる進路に進める」が59.4%と非体験群の43.0%よりむしろ高い。これは望んでいる進路内容の違いであろう。そして「幸せな家庭を作れる」「仕事仲間から尊敬される」などをみても、他の側面と違って、将来像での差は両群間にみられない（**表3-27**）。体験群の将来はむしろ明るいと言えそうでもある。

表3-26 卒業後の進路 × 援助交際の体験

(%)

	体験群	非体験群
1. 就職（家業を含む）	36.1	12.0
2. 短大	5.6	21.1
3. 専門・専修学校	16.7	22.0
4. まあまあの4年制大学	19.4	24.8
5. 難しい4年制大学	8.3	9.5
6. 未定	13.9	10.6

表3-27 将来の見通し × 援助交際の体験

(%)

	体験群	非体験群
1. 望んでいる進路に進める	59.4	43.0
2. 好きな人と結婚できる	59.4	52.4
3. 幸せな家庭を作れる	64.8	67.6
4. 仕事仲間から尊敬される	29.7	29.5
5. 社会的に活躍できる	35.1	27.9

「きっと」＋「たぶん」そうなれる割合

次に、表3-28で自分のタイプをみると、援助交際体験群では「おしゃれのセンスがあり、ルックスがよく、クラスに友だちが多い」とむしろ自分の容姿に自信をもち、全体に明るい自己像を描いているのが、前表に続いて注目される。

しかし、表3-29によれば、体験群は自分の性格では「ときどき、めっちゃめっちゃな行動をしたくなる」「ときどき、むやみに寂しくなる」「誰も自分をわかってくれる人がいない」と感じる割合が高く、性格の不安定傾向がみられる。現実には高校生をみていると「仲間とバイクで走っているときだけが1人じゃないから」と深夜にバイクで暴走したり、「誰かと話したくて」と毎晩のようにテレクラに電話をかけたり、「退屈で寂しくて、何となく」繁華街に出かけてしまったり、深夜、筆者の家にも「家にいても寂しくて誰も話す人がいないから」と電話をかけてくる生徒もいる。他方、非体験群では「自分の感情をうまくコントロールできない」「この先、何をしたいのかわからない」と、むしろ青年期にありがちな悩みが示されている。

次に、表3-30は、自己発揮との関係である。援助交際体験群は「つきあっている相手と一緒にいるとき」85.2%、「友だちとい

るとき」77.8%、「部活動のとき」73.3%に自己発揮している。なお、体験群で「つきあっている相手がいる」者は56.8%で、「以前つきあっていた」を合わせると、9割がつかあいの体験をもっている(表3-23)。他方、非体験群は「つきあっている相手と一緒にいたり、友だちと一緒にいるとき」にも自己発揮している割合は同様に高いが、「家庭にいるとき」の数値も高く、両群に家庭的安定感の違いがみられる。

以上、高校生を援助交際へと向かわせる要因は、親のしつけ、とりわけ逸脱行為に対する親の態度、家庭での居心地のよさ、他の逸脱行為の体験にみられる一般的な規範感覚の薄さ、逸脱行為への罪悪感、性の商品化への嫌悪感との関連が深いといえる。

なお、援助交際体験群と非体験群の特徴をみてきたが、念のため、体験群を援助交際予備群にまで広げて検討してみる。指標は、「ホテルに行ったら5万円」「食事だけで1万円」「自分が援助交際をする可能性」の3項目を用い、体験群と非体験群の差のある項目で比較した(表3-31~36)。結果は、いずれの指標を用いても、非体験群とは、大きな数値の開きがあり、援助交際予備群としての性格を示す者たちの存在が見いだされる。

表3-28 自分のタイプ × 援助交際の体験

(%)

	体験群	非体験群
1. 音楽が好き	78.3	77.9
2. おしゃれのセンスがある	37.8	12.9
3. クラスの中に友だちが多い	35.1	28.6
4. スポーツが得意	29.7	28.8
5. ルックスがいい	13.9	5.6
6. よく勉強している	8.1	6.0

「とても」+「わりと」そう思う割合

表3-29 自分の性格 × 援助交際の体験

(%)

	体験群	非体験群
1. 自分の感情をうまくコントロールするのが苦手	32.4	40.7
2. この先、何をしたいのかわからない	24.3	40.0
3. ときどき、めっちゃめっちゃな行動をしたくなる	73.0	50.6
4. ときどき、むやみに寂しくなる	65.8	57.5
5. 誰も自分をわかってくれる人がいない	29.0	16.2
6. 友だちにはやさしくしてあげたい	84.2	87.0

「とても」＋「わりと」その割合

表3-30 自分らしさを発揮しているか × 援助交際の体験

(%)

	体験群	非体験群
1. つきあっている相手と一緒にいるとき	85.2	73.6
2. 友だちといるとき	77.8	68.4
3. 部活動のとき	73.3	49.4
4. 服やおしゃれ用品を買うとき	63.2	57.6
5. 家庭にいるとき	56.8	66.3
6. アルバイトしているとき	48.1	47.5
7. 授業のとき	11.1	4.3

「とてもよく」＋「かなり」発揮している割合

表3-31 親から信頼されているか × 援助交際の体験群・予備群

(%)

		とても信頼 されている	わりと信頼 されている	ふつう	あまり信頼 されていない	ぜんぜん信頼 されていない
体験群		8.1	24.3	18.9	32.5	16.2
予 備 群	ホテルで5万円	10.6	28.4	28.4	22.0	10.6
	予測	8.7	31.0	34.1	18.7	7.5
	食事だけで1万円	12.3	23.4	30.3	23.4	10.6
非体験群		14.7	36.0	33.7	11.7	3.9

表3-32 親のタイプ × 援助交際の体験群・予備群

(%)

	体験群	予 備 群			非体験群
		ホテルで5万円	予 測	食事だけで1万円	
1. 困ったときに、頼りになる	50.0	60.5	55.5	54.6	59.0
2. お小遣いが足りないとき、 たいして理由も聞かずにくれる	39.5	29.8	25.5	26.4	22.6
3. 子どものウソにだまされやすい	35.1	32.6	25.9	26.5	17.7
4. 子どもの気持ちをわかってくれる	42.1	45.5	39.6	38.9	40.4
5. 門限やきまりに厳しい	21.1	33.0	34.8	42.3	38.6
6. 子どものしていることに無関心	18.4	11.3	9.2	8.9	6.5

「とても」 + 「わりと」 そうの割合

表3-33 1か月のお小遣いの額 × 援助交際の体験群・予備群

(%)

		5千円未満	5千～ 1万円未満	1万～ 1万5千円未満	1万5千～ 2万円未満	2万～ 5万円未満	5万～ 10万円未満	10万円以上
体験群		5.3	13.2	5.3	5.3	42.0	26.3	2.6
予 備 群	ホテルで5万円	7.3	23.6	15.4	6.5	35.0	11.4	0.8
	予測	11.1	23.8	18.7	7.5	29.8	8.7	0.4
	食事だけで1万円	10.6	25.0	16.1	10.6	28.0	9.3	0.4
非体験群		23.3	29.0	17.3	10.2	16.3	3.8	0.1

表3-34 ファッションや流行への欲求 × 援助交際の体験群・予備群

(%)

	体験群	予 備 群			非体験群
		ホテルで5万円	予 測	食事だけで1万円	
1. 通学服(制服)にルーズソックスをはく	94.7	94.4	96.4	97.9	90.1
2. ポケベルやPHSを持つ	94.7	92.0	90.9	92.0	82.5
3. 茶髪にしたり、パーマをかける	91.9	88.7	86.1	87.3	69.2
4. ピアスやリングをつける	92.1	83.2	85.4	85.6	68.9
5. 口紅やファンデをつける	84.2	80.8	81.0	84.3	64.6
6. 通学服(制服)を超ミニスカートにする	81.6	77.6	75.0	78.4	58.9
7. 細眉にする	75.7	75.8	70.9	73.2	52.7
8. ブランドものの口紅や化粧品を持つ	81.5	76.0	69.4	77.7	49.0

「とても」＋「わりと」したい割合

表3-35 逸脱行為の体験 × 援助交際の体験群・予備群

(%)

	体験群	予 備 群			非体験群
		ホテルで5万円	予 測	食事だけで1万円	
1. 友だち同士でお酒を飲む	100.0	85.6	88.5	88.6	72.1
2. ナンパしたりされたりする	89.5	81.6	77.1	78.1	57.6
3. アダルトビデオを見る	78.9	58.4	49.6	53.4	31.0
4. たばこを吸う	81.1	55.6	48.8	53.6	27.3
5. パチンコをする	55.3	27.2	25.0	27.4	16.3
6. 無断で外泊する	78.9	44.0	34.5	36.3	14.3
7. テレクラでアルバイトをする	21.6	9.7	5.6	6.0	0.8

「よく」＋「ときどき」＋「今までに1、2回」ある割合

表3－36 自分の性格 × 援助交際の体験群・予備群

(%)

	体験群	予 備 群			非体験群
		ホテルで5万円	予 測	食事だけで1万円	
1. 自分の感情をうまくコントロールするのが苦手	32.4	41.9	38.7	36.6	40.7
2. この先、何をしたいのかわからない	24.3	40.3	43.1	45.5	40.0
3. ときどき、めちゃめちな行動をしたくなる	73.0	68.5	65.2	67.2	50.6
4. ときどき、むやみに寂しくなる	65.8	68.0	64.0	64.0	57.5
5. 誰も自分をわかってくれる人がいない	29.0	20.8	21.3	21.1	16.2

「とても」＋「わりと」その割合

2 まとめと提言

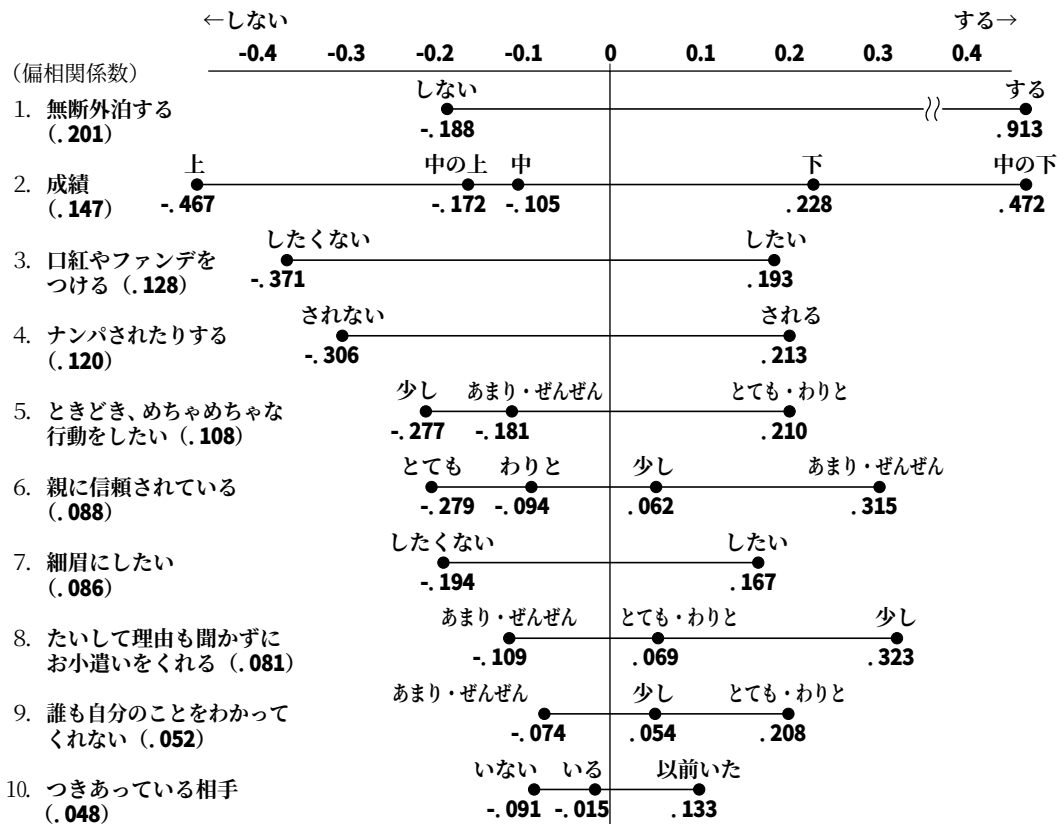
援助交際の体験群と非体験群の属性を比較して表示するために、両群にみられた属性の差を、数量化Ⅱ類で処理したのが図3-8である。外的な基準として、ここでは「自分が援助交際をする可能性があるか」をとった。その結果、無断外泊をよくするなどの、個々のアイテムの意味はそれぞれ図の示す通りであるが、援助交際を特に強く規定するアイテム・カテゴリーは見いだすことができなかった。

た。援助交際は、規範感覚、成績、逸脱行動、性格、親子関係、親のしつけなどの諸要因が複雑に絡み合っていると推定される。

そして、両群を分ける属性と援助交際の構造は、次のようにまとめられるであろう。

1. 女子生徒の全体に、お金がかかるおとなのおしゃれや流行への強い関心と欲求がみられる。他方で体験群は、一部を除いて成績

図3-8 援助交際する子・しない子（数量化 Ⅱ類）



が悪く、授業や教師への満足感が低く、高校生活への満足度も著しく低い傾向がある。また、衝動性、孤立感に代表される性格の不安定性がみられる。

そうした中で、満たされない高校生活への代償的満足を、自己発揮できる異性交友に求め、自分の女性としての魅力を確認したい欲求が生じるのは、よくわかる図式である。

そうしたメカニズムから、とりあえず、外面から価値ある自分を確立し、それをアピールしようとするれば、高額なお小遣いが必要になる。援助交際には、消費欲求に支えられて、高額の収入を得る手段としてばかりでなく、学校という場を離れ、社会的に自分の女性としての価値を確認しようとするメカニズムの存在も考えられる。

2. もともと生徒全体に、規範感覚が崩れている傾向がみられるが、特に性の規範は、高次元でわかりにくい性質をもった規範である。体験群には、規範感覚の崩れと逸脱行為が顕著であるだけでなく、性の規範感覚にまた大きい逸脱がみられる。

3. 両群をとりまく環境的な要因にも、差がみられる。学校ランクと比例して、また大都市と中都市のような地域差と比例して、その環境は、性的な刺激、性文化の面で、大きな差がみられる。性の規範感覚や性行動の逸脱も、そうした環境の中で形成されたと推定される。

4. そうした条件に加え、体験群の親や家庭には特徴がある。親子関係が必ずしもうまくいっておらず、親にはしつけが欠け、金銭的な面でもルーズな傾向、子どもに無関心な傾向もみられ、体験群の生徒は家庭的な安定感を得られない。

5. 本来なら逸脱からの抑止要因として働くはずの条件が、機能し難くなっている。人間関係の絆が希薄化し、他人の私事には介入しない傾向が生じている。他人が逸脱行為に走っても、他人の運命には、われ関せずとする態度が増加している。

このような諸条件の累積の中で、援助交際に走る者が生み出されやすくなり、それに引き金要因が働くと援助交際のような性非行が生み出される。言ってみれば援助交際は、女子の非行の現代的な形であり、決して特別な現象ではない。そして、非行に走りやすくなっているのは、昔とは違って、男子生徒より女子生徒であると言えるかもしれない。

なぜか非体験群よりも、体験群の自己像が明るく、将来像が明るいことも見いだされたが、彼女たちは援助交際によって、とりあえず自己確認に成功しているのかもしれない。しかし、いわばこうした「自分探しの旅」の中で、性非行のかたちで自己確認をさせることの代わりに、何か他の自己実現の道をサジェストすることはできないだろうか。

そして、こうした状況の中でもすれば安易に行われがちな、外圧によって性非行を抑止しようとするのは、有効な方策とは思われない。単なるおとなの説教や、校則の強化、また先に話題になった青少年条例の改正（淫行処罰規定の設定）などの、逸脱に外側から罰を強化するやり方では、大した効果は期待できないと思われる。

女子生徒も男子生徒も共に、それぞれの生徒の中に、新しい性の倫理を確立させ、自分のアイデンティティと自分の生き方を確立させる教育と、そのための環境整備が必要と思われる。

ヒアリング調査から

1

インタビュー／森口美佳（大学院生）

高校を3月に卒業した中学の同級生

女子A：都内短大進学（援助交際経験あり）

B：都内短大進学

C：都内4年制大学進学

◆援助交際のうわさを聞くか。

A：聞く。

B：聞く。

C：うわさは聞かないがやってそうな子はい
る。
どこまでが援助交際なのかわからない。

◆では、みんな隠していることなのか。

A：隠していない。仲のよい子には言う。

「何やってんの、最悪」って言われたら
2度と言わない。

いろいろ聞いてくれたらいい。「やめな
よ」と言われたらもう言わない。
やってそうな子に話す。

B：理解してくれない子には言わない。

そういうのって、誰かに言いたくなっ
ちゃう。やってそうな子に話す。

C：仲良しには言っている。

◆援助交際をしている子ってどんな人？

A：お金が入る。欲しいモノは何でも買える。
お金の使い方が荒い。

B：イメージ的にいっちゃってる子。コギャ
ル系。
中には貧しい子もいるんじゃない。

C：お金持ってる子。持ってるけど、もっと
欲しい。
いろいろなモノ欲しい。

◆いろいろなモノが欲しいっていうのはプラ イドか。

A：流行でいたい。「いいなあ」って思われ
たいのはみんなだけど、それをもっとも
っと言われたい。

みんなと一緒に言われるんじゃない、も
っともっと自分だけ。

B：ブランドをみんなの前でもって、「いい
なあー、コレ欲しいー」って言われるの
が好き。

C：流行の先端でいたい。ちやはやされる。

◆いいモノを持っていたら変な噂がたたない の？

A：わかっててやっている。そこまで悪いこ
とだと思っていない。

B：わかっているんじゃない。

C：気にしないんだよ。

◆どんな気持ちで援助交際をしていると思うか。

A：“お金”“お金”“楽しんでない”。

B：決して軽い気持ちではないだろうけど、
売春だったらひっかかるモンネ。
最終的には“お金”。

C：売春よりは軽く考えていると思う。
法にもあまりひっかからなそうだし。
誰かに命令されてやっているわけじゃあ
ないから、軽い気持ちで、自分個人でや
ってる。楽しいんじゃないのかなあ。お

じさんを手玉にとるのとか、自分の思い通りになる、なりそう。

◆お金より大切なものだってあると思わない？

A：お金がないと何もできない。一番早くお金が手に入る方法（援助交際）。

B：あるけど……。

C：目先の幸せ＝お金、ないと困るけど、あっても困らない。得るもの（欲しいもの）もある。

◆援助交際と売春とはどちらが悪いように思うか。

A：売春。

売春＝SEXだけど、援助交際はお茶飲んだりが入る。お茶飲むくらいだったら悪い感じはしない。

B：売春。イメージ的に。TVで売春のことやってるのを見ていたら、悪い感じがする。

C：援助交際。罪の意識がなさそう。売春だったら、本当にやってる。悪いことだと知っていながらやっている。でも、援助交際は誰に言ってもとがめられない。気楽にやってるって感じがする。

◆援助交際はよいか悪いか。

A：一般的には悪いけど、お互いが理解している。

お互い得るものがある。

オヤジ→女子高生・若い子とやりたい。

女子高生→お金。

だから、悪くない。でも罪悪感はある。親は泣くと思う。

これからはおじさんが捕まっちゃうらしい。

B：悪い。やってるときはいいかもしれないけど。

うれしい反面、お金が手元にあるから、狂ってしまう。やってるときには何やっているんだろうと思っちゃうかも。

C：人それぞれ。何でもやって援助交際が

とり上げられて、とり上げられるのはいつも女子高生なの？ おじさんも悪い。おじさんがお金出すから悪いんじゃない。

罪の重さに気がつかない。

おやじの気持ち→「体が奥さんと違う。

肌のハリも艶も違う子がたまにはいい。

奥さんも愛してる。」

◆友だちがしていたらどうするか。

A：何もしない。

BとCがやってたら止めるよ。

私は過去にやってたの。もう切ったけど、やってたの。あんな思いはさせたくない

なっているのがある。もうぜんぜん平気

だけど、BとCだけにはさせたくない。

大事な友だちはさせたくない。私はもう

2度としないと思う。それは楽しくな

った。“お金”友だちみたいな人だった。

向こうの家族のこととか、自分の彼氏の

こととか。体の関係はもちろんあった。

B：それはその人が決めてやっていることだから。注意しても直らないだろうし、だから何も言えない。いつも一緒にいる子

だったら“絶対 やめなっ”。

何とも言えない。境界線なんだもん。楽しかったか楽しくなかったかは重要だよ。

◆もし、自分がそういうことをしていたとき、誰にどのように言われたらやめるか。

A：本当に愛している人に言われたから、自然にやめた。“卒業”があったかも。お

となへの一步。(笑い)

女子高生だからできた。

B：本当に大事な友だちに言われたらやめる。

C：過去にやってた人に言われたら、経験的に言われたらやめるしかない。

◆将来、自分の子どもが援助交際をしていたらどうするか。

- A：自分がしているから、注意できない。
1回やっちゃったら親が注意してもダメかも。
しないように小さい頃からしつける。
(姉さんがやっていたら?)
何も言わない。
ほっとく。ばれないようにやってほしい。
- B：自分の子の時代がないのを願う。
誰かがこうやって調査して、真剣に考えてくれるのうれしい。

(妹だったら?)

- やっているのか聞く。
かまかけて聞く。
- C：しないようにしつける。
エスカレートしてんじゃん。
親が言っても聞かない。
(妹だったら?)
探る。プライバシーを損なわないように。

◆将来、結婚相手が援助交際をしていたら、どうするか。

- A：過去ならOK。
現在はダメ。
本気で自分のことが好きなんじゃないと

思う。一生引きずる。
一生相手に言ってしまうと思う。
私が援助交際した人は、絶対奥さん愛してないよ。

B：過去ならOK。
現在はダメ。
スパッと切る。自分に見抜けなかった。

C：過去ならOK。
現在はダメ。
自分がいるのに、そういうことをする人とは幸せになれない。

◆アルバイトをしているか。

() はバイト料。

- A：居酒屋 (4~5万円)。
お小遣い・高1 5000円
高2 10000円
高3 15000円
- B：パン屋 (3~4万円)
お小遣い・アルバイトしていないとき
10000円
アルバイトしてからはもらってない。
お母さんに“いらないよ”って言った。
- C：ファミリーレストラン (5000円)
お小遣い・7000円

都内有名私立男子高校2年 男子M・S・H

◆援助交際と売春はどちらが悪いか。

- M：売春の方がひどい。
売春は前からあるって感じ。
援助交際は最近という感じ。
あまり変わらない?
- S：同じような感じ。
- H：同じ。

◆友だちがしていたら注意するか。

- H：注意するが、結局本人が決めることだから、あんまり強く言わない。
やめた方がいいんじゃない?
- M：注意する。「やめろよ!!」

(自分を犠牲にしても注意するか?)

する。よくないことだから。

(何でって言われたら?)

よくない、自分のためにならない。

(お金もらっているし、自分のためになっているって言われたら?)

もっと他のことに興味をもてて。

- S：Hと同じような感じ、最後に相談?こっちがどうのって言っても、結局、決めるのは本人。強くは言うかもしれないけれど、強制とかむりやりとまではいかない。

◆もし、自分がそういうことをしていたとき、
誰にどのように言われたらやめるか。

M：熱心に強く言われたら。

誰でもいいけど、身近にいる人とか…。

やらないけど普通に言われてもやめる。

H：学校の友だちとか先輩に言われたら。

先生で熱心に考えてくれる人。

真剣に話してくれたら、何度も何度も話してくれたら。

S：実際にやめてみて、経験者が、やってやめて、その人がやめてよかった、そういうことを言われたら。ボクは熱心に言われても聞かないタイプだから。

◆将来、自分の子どもが援助交際をしていたら、
どうするか。

M：怒る。

お小遣いUPしてあげるからやめなさい。

悪いということがわかっているか聞いて、わかっているならやめろ。

悪いということがわかっていないなら、悪いということをわからせるしかない。

S：注意しないかもしれない。

話し合いはする。やっているかやっていないかはっきりさせる。

最終的に続けるかやめるかは本人に決めさせる。

H：絶対やめろ！！

何でそんなことをやっているのか、本当にやりたいことは何なのか。

◆将来、結婚相手が援助交際をしていたら、
どうするか。

M：注意して、わかったら結婚する。

S：つきあっているだけだったら別れる。

フィアンセだったら、いけないことをまづわからせないといけない。別れるときのReactionで、あんまり、そういうの経験がないのでわからない。

本人がオレとつきあいたいと望んでいるなら続けるけど、相手がそう望んでいるなら……。

H：別れないけど、絶対やめさせる。

(過去にやっていたら?)

M：怒ってそのままにしておく。

今は今、過去は過去。

H：今は今、過去は過去。

気にしない。

昔やっていたのは気にしない。

お互いのことがよくわかっててうまくいったんだから、本人のことだから。

S：ずっと知らなくて、知ったら、お互いうまくいったとしたら、結婚する。

楽しくやっているのだったら気にしない。

ヒアリング調査から

2

インタビュー／三枝恵子（埼玉県立松山高等学校教諭）

男子A：男女共学公立高校2年・部活動（バスケットボール部に熱心）

◆援助交際は悪いことと思うか。

絶対ダメ。

人間性の問題だから。

例えば、おじさんと援助交際していても、「愛」があればよい。でも、デートして2万円くらいで、食事代も全部ただなんだから、体を売らなければいいかもしれない…。でもお金が目的の援助交際はやっぱりいけないと思う。

「愛」…好きだったらいいかな？

◆友だちが援助交際をしていたら、どうするか。

（男子に聞いたので、友だち＝クラスや中学校時代の女の子と設定して）

注意する。

「ヤメロヨー」と言うだろう。

◆将来、結婚相手が援助交際をしていたら、どうするか。

そのときになってみないと、わからない。

（今つきあっている彼女が援助交際をしていたらどうするか。）

でも、つきあってから、過去に援助交際していたということがわかって、彼女の10あるうちの1がマイナスになったくらいだから、そのことで彼女のすべてが悪いとは思えないので別れない。

（結婚してから、援助交際をしていたことがわかったらどうするか。）

子どもがいたりした場合による。

◆将来、自分の子どもが援助交際をしていたら、どうするか。

殴ってでもやめさせる。

でも、今の親は子どもが援助交際していても何も言わないと思う。

家では、いろいろ注意されるが、学校の中で茶髪にしている子の親なんか何も言わないらしいから。

（なぜ、親は言わないのだろうか？）

たぶん、家を出ていってしまわれるのが怖いから。

家を出ていっても暮らせるからじゃないかな。

◆あなたの1か月のお小遣いは？（7000円）

毎月赤字で姉などに借りまくっている。

2000円くらいが部活動後の飲食、ジュース代。

5000円くらいがデートの費用。デートのときは自分が3分の2くらい払い、彼女が3分の1くらい払う。特に男だからと思っていないが、なんとなく彼女が店を出るときモタモタしているので、つい払ってしまう。

◆アルバイトをしているか。

している

↓

どんな仕事……引っ越しの助手。

1週間に………日曜日だけ月に1、2回。
部活動もあるので。

収入は………1日7000円だけど、延長などで1万円くらい。

男子B：男女共学公立高校2年・部活動（バスケットボール部に熱心）

◆援助交際は悪いことと思うか。

絶対許さない。

どんな理由があってもダメ。

援助交際はお金が目的だから。

◆友だちが援助交際をしていたら、どうするか。

やめるように注意する。

「愛がないんだろ」と言ってやる。

友だちが言ってやめるくらいなら、最初からやらないような気もする。

◆将来、結婚相手が援助交際をしていたら、どうするか。

絶対許さない。

そんな女とはすぐ別れる。

結婚後、わかってても離婚する。

（もし、今つきあっている彼女が援助交際をしていたら。）

すぐ別れる。

（過去にしていたことがわかったら。）

すぐ別れる。絶対嫌だ。

援助交際で体を売っても売らなくても、デートだけの援助交際でもダメ。

◆将来、自分の子どもが援助交際をしていたら、どうするか。

殴る。

絶対やめさせる。

でも、今の親は言わないだろう。子どももわからないようにしているから。

学校の中で、スカートが短くても、違反した服装をしていても、パーマをかけていても親は何も言わない。どうして言わないのかわからない。自分の家では怒られるのに。どうしてだろう？

（なぜ言わないと思うか。）

わからない、こっちが聞きたい。

◆あなたの1か月のお小遣いは…（1日1000円、昼食代を含めて）

部活動が終わった後、おなかがすくのでほとんど食べてしまう。他に使うこともないので1か月で少し残るくらい。

◆アルバイトをしているか。

していない。

アンケートのお願い

(女 子)

今、中・高校生の「援助交際」がマスコミで話題になっていますが、残念ながら、多分に不正確な情報にもとづいて、オーバーで興味本位な取り上げ方をしている印象を受けます。

今回お願いする調査は、半分は高校生の皆さんのライフスタイルに関する項目であり、半分は援助交際に関する項目です。ご覧になれば、援助交際をテーマにしているからといって、決して興味本位な内容でないことがおわかりいただけると思います。

この問題についておとなたちが正確な情報を知り、高校生の皆さんの考えていることや置かれている立場を少しでも理解できるようになるために、ご協力をお願いします。

無記名で（ご記入いただく学校名は、地域性をみるためのもので、一切公表しません）、あなたや学校に決してご迷惑がかかることはありませんので、率直なお考えをお聞かせください。

どうぞよろしくお願いいたします。

東京学芸大学「青少年と性」研究会

東京学芸大学教授 深谷 和子

TEL 0423-29-7433

《回答のしかた》特にことわりのない場合は、あてはまる数字に1つだけ○をつけてください。

● 資料1 調査票見本および集計結果 (女子)

単位：パーセント

I. はじめに、あなたご自身についてお聞きします。

① あなたの学校・学年・性別についてお聞きします。

- 1) 学校名…… () 高等学校
- 2) 学 年…… (1. 1年 2. 2年 3. 3年)
6.0 48.2 45.8
- 3) 性 別…… (女子)
868名

② あなたは、毎月、お小遣いをどれくらいもらっていますか。

もらって いない	5千円 未満	5千～ 1万円未満	1万～ 1万5千円未満	1万5千～ 2万円未満	2万～ 3万円未満	3万円 以上
21.5	15.1	42.6	16.2	2.2	1.5	0.9

③ あなたは、現在、アルバイトをしていますか。

- 38.4 61.6
1. している 2. していない



1か月に、どのくらいの収入がありますか。

5千円 未満	5千～ 1万円未満	1万～ 1万5千円未満	1万5千～ 2万円未満	2万～ 3万円未満	3万～ 5万円未満	5万円 以上
2.6	4.6	4.9	9.0	20.0	34.0	24.9

④ あなたは、1か月に全部でどのくらいのお小遣いを使っていますか。

(お小遣いやアルバイト収入などを含めて計算してください)

5千円 未満	5千～ 1万円未満	1万～ 1万5千円未満	1万5千～ 2万円未満	2万～ 5万円未満	5万～ 10万円未満	10万円 以上
22.4	28.3	16.6	9.9	17.7	4.8	0.3

II. 次に、あなたの高校生活についてお聞きします。

⑤ あなたは、現在の高校生活に満足していますか。

	とても満足 している	わりと満足 している	少し満足 している	あまり満足 していない	ぜんぜん満足 していない
1. 先生	3.8	26.0	27.9	30.3	12.0
2. 授業	1.9	20.7	29.7	37.1	10.6
3. 部活動	14.5	19.9	13.6	11.5	6.5 … 34.0
4. 友だち	37.1	42.4	13.7	5.5	1.3
5. 高校生活全体	10.4	36.5	27.7	19.2	6.2

[6] あなたは、次のようなことをしたいと思いますか。

すでにしている人は「とてもしたい」に○をつけてください。

	とても したい	わりと したい	あまり したくない	ぜんぜん したくない
1. 茶髪にしたり、パーマをかける……………	34.4	35.7	20.1	9.8
2. ピアスやリングをつける……………	36.0	33.8	19.3	10.9
3. 口紅やファンデをつける……………	33.0	32.5	24.3	10.2
4. 通学服または制服を 超ミニスカートにする……………	26.9	33.0	30.2	9.9
5. 通学服または制服に ルーズソックスをはく……………	73.5	16.9	5.7	3.9
6. 細眉にする……………	27.0	26.7	35.1	11.2
7. ブランドものの口紅や化粧品を持つ……………	26.2	24.4	29.3	20.1
8. ポケベルやPHSを持つ……………	60.8	22.3	9.7	7.2

[7] あなたは次のようなとき、自分らしさを発揮していますか (生き生きした自分を
感じますか)。

	とてもよく発揮 している	かなり発揮 している	少し発揮 している	あまり発揮 していない	ぜんぜん発揮 していない
1. 授業のとき……………	1.6	2.9	19.9	45.5	30.1
2. 友だちといるとき……………	30.5	38.3	24.4	5.1	1.7
3. 家庭にいるとき……………	36.9	28.9	21.0	9.0	4.2
4. 服やおしゃれ用品を買うとき……………	24.5	33.3	32.2	7.9	2.1
5. 部活動のとき……………	16.1	16.6	17.6	8.1	6.9 … 34.7
6. アルバイトしているとき……………	8.6	11.4	14.0	5.4	3.0 … 57.6
7. つきあっている相手と 一緒にいるとき……………	13.6	8.7	5.0	2.2	0.8 … 69.7

[8] あなたはどんなタイプですか。

	とても そう思う	わりと そう思う	少し そう思う	あまり そう思わない	ぜんぜん そう思わない
1. スポーツが得意……………	9.9	18.9	22.3	27.8	21.1
2. 音楽が好き……………	44.5	33.3	16.6	4.3	1.3
3. おしゃれのセンスがある……………	2.7	11.3	29.3	46.0	10.7
4. ルックスがいい……………	1.7	4.2	14.0	40.8	39.3

● 資料1 調査票見本および集計結果 (女子)

	とても そう思う	わりと そう思う	少し そう思う	あまりそう 思わない	ぜんぜん そう思わない
5. よく勉強している ……………	1.2	4.9	10.9	32.4	50.6
6. クラスの中に友だちが多い ……	7.8	21.0	29.1	32.8	9.3

⑨ あなたは、将来おとなになってから、どんな生活を送れそうだと思いますか。

	きつと そうなれる	たぶん そうなれる	少し 難しい	かなり 難しい	とても 難しい
1. 望んでいる進路に進める ……………	14.4	29.4	35.3	14.5	6.4
2. 好きな人と結婚できる ……………	25.3	27.3	23.7	12.3	11.4
3. 幸せな家庭を作れる ……………	31.6	35.9	19.9	6.9	5.7
4. 仕事仲間から尊敬される ……………	5.5	24.0	44.8	15.2	10.5
5. 社会的に活躍できる ……………	7.7	20.4	38.1	18.7	15.1

⑩ あなたは、高校卒業後の進路をどのように考えていますか。

1. 就職 (家業を含む)	13.0
2. 短大	20.6
3. 専門・専修学校	21.8
4. まあまあの4年制大学	24.5
5. 難しい4年制大学	9.4
6. 未定	10.7

⑪ あなたの成績は、クラスの中でどのくらいですか。

上の方	中の上	まん中くらい	中の下	下の方
11.7	20.8	32.6	18.8	16.1

Ⅲ. 次に、親との関係についてお聞きします。
(親がいない場合は先に進んでください。)

⑫ あなたと親との関係はうまくいっていますか。

とてもうまく いっている	わりとうまく いっている	ふつう	あまりうまく いっていない	ぜんぜんうまく いっていない
30.9	34.2	26.9	6.3	1.7

13 あなたは親から信頼されていますか。

とても信頼 されている	わりと信頼 されている	ふつう	あまり信頼 されていない	ぜんぜん信頼 されていない
14.4	35.6	33.1	12.5	4.4

14 あなたの親は、どんなタイプの親ですか。

	とても そう	わりと そう	少し そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない
1. 困ったときに、頼りになる ……	25.5	33.0	25.6	11.6	4.3
2. お小遣いが足りないとき、たい して理由も聞かずにくれる ……	6.8	16.5	15.4	33.1	28.2
3. 子どものウソにだまされやすい…	5.6	12.9	23.1	36.5	21.9
4. 子どもの気持ちをわかってくれる …	15.2	25.1	26.9	22.8	10.0
5. 門限やきまりに厳しい ……………	20.9	17.0	18.8	25.4	17.9
6. 子どものしていることに無関心 …	1.4	5.7	15.1	42.3	35.5

15 あなたの親は、もし子どもが次のようなことをしたとき、どうすると思いますか。

	とても 厳しく叱る	わりと 厳しく叱る	あまり 叱らない	何も言わない (叱らない)
1. 無断で外泊する ……………	65.1	24.4	8.1	2.4
2. たばこを吸う ……………	58.5	23.7	12.8	5.0
3. 友だち同士でお酒を飲む ……………	18.4	24.1	37.0	20.5
4. パチンコをする ……………	30.3	23.0	32.5	14.2
5. 援助交際をする ……………	85.7	9.5	2.7	2.1
6. テレクラでアルバイトをする ……………	87.0	9.6	1.7	1.7
7. つきあっている相手とセックスする …	22.9	20.1	31.6	25.4

IV. もう少し、あなたのことをお聞きします。

16 あなたは、現在、特定の相手とつきあっていますか。

1. つきあっている	23.3
2. 以前つきあっていたが、今はつきあっていない	32.7
3. つきあったことがない	44.0

● 資料1 調査票見本および集計結果 (女子)

⑰ あなたには、現在「ベル友」がいますか。

24.6 75.4
1. いる 2. いない
↓
() 人くらい

1人 35.7
2人 23.9
3人 18.9
4人 3.0
5人 6.0
6～10人 7.0
11人以上 5.5

⑱ あなたは、1日にどのくらい友だちと電話で話しますか。

ほとんど 15分 30分 1時間 2時間 それ
しない 以内 くらい くらい くらい 以上
40.1 ——— 6.4 ——— 19.0 ——— 24.9 ——— 7.2 ——— 2.4

1) あなたは、主に誰に電話をかけますか。

よく と あ ぜ つ
かける き ま ん き
 かける けない けない あ っ
 っ て
1. つきあっている相手 13.7 — 7.8 — 4.0 — 2.9 71.6
2. 同じ学校の友だち 19.4 — 42.5 — 26.1 — 12.0
3. 違う学校の友だち 16.4 — 43.8 — 23.7 — 16.1

2) 伝言ダイヤルに、何か伝言を入れたことがありますか。

1. ない 89.2
2. 何回かある (あった) 10.1
3. よく入れる (入れた) 0.7

3) テレクラに電話をしたことがありますか。

1. ない 65.4
2. 1、2回電話をした 22.5
3. かなり利用したが、話をしただけ 10.5
4. テレクラを利用して、デートをした 1.6

19 あなたは、次のように思うことがありますか。

	とても そう	わりと そう	少し そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない
1. 自分の感情をうまくコントロールするのが苦手だ ……………	13.2	27.3	25.6	25.8	8.1
2. 友だちにやさしくしてあげたい ……………	47.2	39.7	10.6	2.2	0.3
3. この先、何をしたいのか わからない ……………	18.8	20.5	25.9	21.6	13.2
4. ときどき、めっちゃめっちゃな 行動をしたくなる ……………	29.3	22.1	20.4	21.2	7.0
5. ときどき、むやみに寂しくなる ……………	32.9	25.1	19.8	15.6	6.6
6. 誰も自分をわかって くれる人がいない ……………	7.6	9.1	22.3	35.5	25.5

20 あなたは、以下のような意見をどう思いますか。

テレビや雑誌が取り上げる「女子高生」とは、学校でも数人しか見かけないような派手な人のことで、普通の高校生の姿をきちんと伝えていない。

まったく その通り	少し その通り	違う
50.8	46.5	2.7

21 あなたは、次のようなことをしたことがありますか。

	よく ある	ときどき ある	今までに 1、2回ある	まったく ない
1. 無断で外泊する ……………	1.6	5.0	10.5	82.9
2. たばこを吸う ……………	7.9	5.5	16.2	70.4
3. 友だち同士でお酒を飲む ……………	14.9	31.3	27.1	26.7
4. パチンコをする ……………	1.2	2.1	14.7	82.0
5. アダルトビデオを見る ……………	1.4	5.2	26.5	66.9
6. テレクラでアルバイトをする ……………	0.3	0.5	0.9	98.3
7. ナンパしたりされたりする ……………	5.1	23.1	30.8	41.0
8. 援助交際をする ……………	0.5	1.0	2.9	95.6

● 資料1 調査票見本および集計結果 (女子)

22 あなたは、次のようなことは、高校生としてどのくらい悪いことだと思いますか。

	とても悪い	少し悪い	悪くない
1. 無断で外泊する	30.1	59.0	10.9
2. たばこを吸う	44.8	40.4	14.8
3. 友だち同士でお酒を飲む	10.3	45.4	44.3
4. パチンコをする	16.6	47.1	36.3
5. アダルトビデオを見る	9.7	25.3	65.0
6. テレクラでアルバイトをする	56.4	33.6	10.0
7. ナンパしたりされたりする	7.0	24.4	68.6
8. 援助交際をする	69.1	22.9	8.0

23 あなたは、次のような高校生をどう思いますか。

	とても嫌だ	かなり嫌だ	少し嫌だ	あまり嫌でない	ぜんぜん嫌でない
1. 制服や体育着を売る高校生	40.9	23.2	19.2	10.9	5.8
2. たびたびテレクラに電話する高校生	33.5	22.6	22.9	16.0	5.0
3. 下着を売る高校生	59.2	18.8	12.1	6.3	3.6
4. デートクラブでアルバイトをする高校生	45.9	25.1	16.7	8.7	3.6
5. 伝言ダイヤルに援助交際の伝言を入れる高校生	45.5	23.3	17.9	9.4	3.9

24 あなたの高校に、もし次のようなきまりや校則があったら、どう思いますか。

	まあ当然	少し厳しい	厳しすぎる
1. 髪を茶色に染めてはいけない	13.6	42.2	44.2
2. 放課後に、生徒だけでファーストフード店やファミリーレストランに入ってはいけない	0.2	3.9	95.9
3. 伝言ダイヤルに「5万円で援助交際したい」と入れているのがわかったら、退学にする	35.1	42.0	22.9
4. ファッションホテルやラブホテルに入ったのが見つかったら、退学にする	18.3	43.1	38.6
5. 援助交際が見つかったら、退学にする	37.6	40.9	21.5
6. 女子高校生が妊娠したのがわかったら、退学にする	18.8	40.3	40.9

V. いま、話題になっている「援助交際」についてお聞きしますが、
仮定に立って答えていただく箇所がたくさんあります。もちろん
回答者の皆さんがそうであるということではありません。

- 25 昨年の東京都の調査では、高校生の援助交際は4%でした。この数字をどう思いますか。
(4%とは、クラスの中で女子が25人いるとしたら1人、援助交際をしている割合)

1. もっと多いと思う 39.6
2. この程度だと思う 49.6
3. もっと少ないと思う 10.8

- 26 援助交際をしている子の中で、「セックスなしに、食事などにつきあうだけ」のケースは、
援助交際全体の中でどのくらいだと思いますか。

1. ほとんどの子が、セックスまでしていると思う 13.0
2. 6、7割の子が、セックスまでしていると思う 25.4
3. 半分くらいの子が、セックスまでしていると思う 36.8
4. セックスしない子の方が多いと思う 24.8

- 27 「援助交際をしている人は、誰にも迷惑をかけていないし、本人も相手もいいのだから
非難すべきでない」という意見がありますが、どう思いますか。

とても そう思う	わりと そう思う	少し そう思う	あまり そう思わない	ぜんぜん そう思わない
6.1	19.4	31.8	26.9	15.8

- 28 あなたは、「援助交際をしよう」と誘われたことがありますか。

1) 街で男性から声をかけられたこと

何回も ある	2、3回 ある	1回だけ ある	ない
5.7	10.6	8.9	74.8

2) 友だちから勧められたこと

何回も ある	2、3回 ある	1回だけ ある	ない
1.0	3.6	3.6	91.8

● 資料1 調査票見本および集計結果 (女子)

29 もしあなたが、仲のいい友だちから「レストランで、オジサンと2人で食事するだけで、1万円になるけれど、どう？」と言われたら、どうしますか。

- | | |
|----------------------|------|
| 1. たぶん、承知する | 9.8 |
| 2. 少し考えるが、承知するかもしれない | 17.6 |
| 3. 少し考えるが、断るだろう | 29.2 |
| 4. すく断る | 43.4 |

30 もしあなたが、話し相手だけの約束で食事した後、「ホテルに行ってくれたら、もう5万円、お小遣いをあげる」と言われたら、どうしますか。

- | | |
|---------------------------------|------|
| 1. そうする | 0.5 |
| 2. 相手が好みのタイプなら、そうする（タイプでなければ断る） | 9.6 |
| 3. その場のムードで決める | 4.4 |
| 4. すく断る | 85.5 |

31 あなたのクラスには、次のような人がどのくらいいると思いますか。

1) テレクラによく電話している人はクラスに

- | | |
|-----------------------|------|
| 1. ぜんぜんいないと思う | 28.8 |
| 2. もしかしたら、いるかもしれない | 62.0 |
| 3. 実際にいると思う→ () 人くらい | 9.2 |

2) デートクラブでアルバイトしている人はクラスに

- | | |
|-----------------------|------|
| 1. ぜんぜんいないと思う | 65.7 |
| 2. もしかしたら、いるかもしれない | 32.3 |
| 3. 実際にいると思う→ () 人くらい | 2.0 |

3) 援助交際をしている人はクラスに

- | | |
|-----------------------|------|
| 1. ぜんぜんいないと思う | 57.7 |
| 2. もしかしたら、いるかもしれない | 37.9 |
| 3. 実際にいると思う→ () 人くらい | 4.4 |

以下も全く仮定の話です。

- 32 あなたの仲のいい友だち（女の子）から、「自分は（セックスもする）援助交際をしている」と打ち明けられたら、どうしますか。

- | | |
|-----------------|------|
| 1. 絶対やめさせる | 60.0 |
| 2. 嫌だけれど、何も言わない | 13.5 |
| 3. その人の自由だと思う | 26.5 |

- 33 では、その友だちとのつきあいをどうしますか。

- | | |
|------------------|------|
| 1. 今まで通り、つきあう | 78.9 |
| 2. 少し距離をおいて、つきあう | 20.4 |
| 3. その人とつきあうのをやめる | 0.7 |

- 34 高校生のときにある期間、（セックスもする）援助交際をしていた女の子がいたとします。将来結婚しようとしたときに、相手の男性にそれがわかってしまったら、その結婚はどうなと思いますか。

- | | |
|---------------------------------|------|
| 1. 愛していれば、過去のことは問題にならないだろう | 56.3 |
| 2. 結婚しても、2人の間はうまくいなくなる可能性が高いだろう | 36.9 |
| 3. 愛していても、相手は結婚をやめるだろう | 6.8 |

- 35 もしあなたにお兄さんがいて、お兄さんの結婚相手が、高校生のときに（セックスもする）援助交際をしていたとします。あなたは、その結婚をどう思いますか。

- | | |
|----------------------------|------|
| 1. お兄さんがよければ、ぜんぜんかまわない | 62.9 |
| 2. お兄さんがよくても、できれば結婚をやめてほしい | 30.9 |
| 3. お兄さんがよくても、絶対反対する | 6.2 |

- 36 あなたは、将来、あなたの子どもが援助交際をしていることを知ったとしたら、どうすると思いますか。

- | | |
|--------------------------|------|
| 1. 厳しく叱って、（殴ってでも）やめさせる | 66.5 |
| 2. 注意するが、やめるかどうかは子どもに任せる | 32.1 |
| 3. わかっていても、何も言わない | 1.4 |

● 資料1 調査票見本および集計結果 (女子)

37 あなたは、高校生の援助交際がいけないと言われている理由は何だと思いますか。

	とても そう	わりと そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない
1. 金銭感覚がマヒする ……………	36.7	42.9	16.9	3.5
2. 気持ちが悪さむ ……………	44.5	41.6	11.9	2.0
3. 道徳に反する ……………	28.8	46.2	21.4	3.6
4. 犯罪に巻き込まれる可能性がある……	40.2	38.1	19.6	2.1
5. 異性とふつうの感覚で つきあえなくなる ……………	34.7	40.4	20.8	4.1
6. 将来好きな人ができたとき、後悔する …	67.5	23.0	8.0	1.5

38 あなたの親は、子どもが援助交際をしていたら、すぐわかるタイプだと思いますか。

1. どんなに気をつけても、すぐわかってしまうだろう	39.9
2. うまくやれば、気がつかないかもしれない	45.6
3. 子どもが隠せば、気がつかないだろう	14.5

39 あなたの親は、もし子どもが援助交際をしていることを知ったら、どうするタイプの親だと思いますか。

1. 黙っている	2.8
2. 注意はするが、それ以上きつくは出ないだろう	18.6
3. 殴ってでも、やめさせるだろう	78.6

40 あなたは、次のような意見をどう思いますか。

	とても そう思う	わりと そう思う	少し そう思う	あまり そう思わない	ぜんぜん そう思わない
1. 援助交際しても、セックス までしなればかまわない ……	5.8	15.0	23.7	32.5	23.0
2. 制服やストッキングくらい なら、売ってもかまわない ……	6.1	10.0	18.9	36.0	29.0
3. お金をもらってデートや カラオケに行くのは、 アルバイトの1つにすぎない …	5.5	9.8	18.0	38.5	28.2
4. 援助交際は、ごく一部の人が しているだけにマスコミ が騒ぎすぎる ……………	36.1	22.0	24.9	11.0	6.0

- 41 あなたは、「自分も、ひよっとすると援助交際をすることがあるかもしれない」
と思いますか。

もしかしたら するだろう	たぶん しないだろう	絶対 しない
6.7	22.9	70.4

- 42 あなたは、「高校生と援助交際をするおとなを厳しく処罰する方がいい」という意
見をどう思いますか。

- | | |
|--|------|
| 1. おとなだけを厳しく処罰して、高校生は注意くらいでいい | 15.2 |
| 2. おとなを厳しく処罰し、高校生も学校や親に連絡するなど、厳しく罰した方がよい | 68.2 |
| 3. 他人に迷惑をかけていないのだから、両方とも、特に処罰しなくてよい | 16.6 |

～以上で終わりです。長い間ありがとうございました。～

(男子) 表紙は女子に同じ。

I. はじめに、あなたご自身についてお聞きします。

① あなたの学校・学年・性別についてお聞きします。

1) 学校名…… () 高等学校

2) 学 年…… (1. 1年 2. 2年 3. 3年)
 7.6 55.6 36.8

3) 性 别…… (男子)
 858名

2 あなたは、毎月、お小遣いをどれくらいもらっていますか。

もらっていない	5千円未満	5千～1万円未満	1万～1万5千円未満	1万5千～2万円未満	2万～3万円未満	3万円以上
16.1	17.5	47.4	13.1	2.7	1.7	1.5

3 あなたは、現在、アルバイトをしていますか。

24.3 75.7
1. している 2. していない

↓

1 か月に、どのくらいの収入がありますか。

5千円未満	5千～ 1万円未満	1万～ 1万5千円未満	1万5千～ 2万円未満	2万～ 3万円未満	3万～ 5万円未満	5万円以上
5.3	5.3	7.5	7.0	15.9	22.9	36.1

4 あなたは、1か月に全部でどのくらいのお小遣子を使っていますか。

(お小遣いやアルバイト収入などを含めて計算してください)

5千円未満	5千～1万円未満	1万～1万5千円未満	1万5千～2万円未満	2万～5万円未満	5万～10万円未満	10万円以上
32.3	31.8	13.2	8.7	10.9	2.5	0.6

Ⅱ. 次に、あなたの高校生活についてお聞きします。

5 あなたは、現在の高校生活に満足していますか。

	とても満足 している	わりと満足 している	少し満足 している	あまり満足 していない	ぜんぜん満足 していない	
1. 先生	3.7	23.3	27.7	29.3	16.0	
2. 授業	1.5	17.4	29.1	34.7	17.3	
3. 部活動	13.2	22.8	13.2	11.5	8.0	31.3
4. 友だち	29.7	43.7	17.2	6.7	2.7	
5. 高校生活全体	7.4	34.3	28.9	19.9	9.5	

⑥ あなたは、次のようなことをしたいと思いますか。

すでにしている人は「とてもしたい」に○をつけてください。

	とても したい	わりと したい	あまり したくない	ぜんぜん したくない
1. 茶髪にしたり、パーマをかける……………	16.5	22.3	28.1	33.1
2. ピアスやリングをつける……………	12.8	16.0	24.3	46.9
3. ロングヘアーにする……………	9.0	12.9	31.9	46.2
4. ポケベルやPHSを持つ……………	35.6	24.0	19.8	20.6
5. ウォーキングラジカセやMDを持つ……………	48.3	28.0	13.3	10.4
6. ミニゲームやトランプを学校に 持って行く……………	20.0	23.6	28.3	28.1
7. たばこを吸う……………	16.1	8.0	15.2	60.7
8. お酒を飲む……………	31.4	26.2	18.3	24.1

⑦ あなたは次のようなとき、自分らしさを発揮していますか (生き生きした自分を感じますか)。

	とてもよく 発揮している	かなり 発揮している	少し 発揮している	あまり 発揮していない	ぜんぜん 発揮していない
1. 授業のとき……………	3.2	4.9	24.3	37.9	29.7
2. 友だちといるとき……………	18.9	35.1	31.7	10.1	4.2
3. 家庭にいるとき……………	12.2	24.4	33.0	20.5	9.9
4. 服やおしゃれ用品を買うとき……………	12.5	20.3	32.6	22.0	12.6
5. 部活動のとき……………	15.8	18.3	17.1	8.8	8.2 … 31.8
6. アルバイトしているとき……………	6.3	7.7	8.3	5.6	2.6 … 69.5
7. つきあっている相手と一緒に いるとき……………	9.0	6.9	5.7	2.2	1.8 … 74.4

⑧ あなたはどんなタイプですか。

	とても そう思う	わりと そう思う	少し そう思う	あまり そう思わない	ぜんぜん そう思わない
1. スポーツが得意……………	16.6	26.5	21.3	22.5	13.1
2. 音楽が好き……………	34.2	30.7	21.3	8.8	5.0
3. おしゃれのセンスがある……………	5.9	9.6	24.0	39.3	21.2
4. ルックスがいい……………	5.9	5.6	17.4	42.5	28.6
5. よく勉強している……………	4.0	6.0	13.6	28.7	47.7
6. クラスの中に友だちが多い……………	10.3	18.3	29.0	28.8	13.6

⑨ あなたは、将来おとなになってから、どんな生活を送れそうだと思いますか。

	きっと そうなる	たぶん そうなる	少し 難しい	かなり 難しい	とても 難しい
1. 望んでいる進路に進める ……………	13.7	20.4	37.9	17.7	10.3
2. 好きな人と結婚できる ……………	16.6	18.2	27.5	16.7	21.0
3. 幸せな家庭を作れる ……………	20.4	26.5	25.5	11.6	16.0
4. 仕事仲間から尊敬される ……………	11.6	22.3	35.4	16.9	13.8
5. 社会的に活躍できる ……………	13.7	18.2	35.4	16.3	16.4

⑩ あなたは、高校卒業後の進路をどのように考えていますか。

1. 就職 (家業を含む)	12.6
2. 短大	1.1
3. 専門・専修学校	16.8
4. まあまあの4年制大学	42.7
5. 難しい4年制大学	11.2
6. 未定	15.6

⑪ あなたの成績は、クラスの中でどのくらいですか。

上の方	中の上	まん中くらい	中の下	下の方
10.5	18.5	27.9	18.7	24.4

Ⅲ. 次に、親との関係についてお聞きします。
(親がいない場合は先に進んでください。)

⑫ あなたと親との関係はうまくいっていますか。

とてもうまく いっている	わりと うまくいっている	ふつう	あまりうまく いっていない	ぜんぜんうまく いっていない
18.3	30.3	40.6	6.6	4.2

13 あなたは親から信頼されていますか。

とても信頼 されている	わりと信頼 されている	ふつう	あまり信頼 されていない	ぜんぜん信頼 されていない
11.6	23.0	43.3	14.1	8.0

14 あなたの親は、どんなタイプの親ですか。

	とても そう	わりと そう	少し そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない
1. 困ったときに、頼りになる ……	14.7	28.9	30.4	18.6	7.4
2. お小遣いが足りないとき、たいして 理由も聞かずにくれる ……	4.8	15.3	15.2	27.0	37.7
3. 子どものウソにだまされやすい …	4.1	10.2	24.4	35.2	26.1
4. 子どもの気持ちをわかってくれる …	8.6	21.4	33.9	24.7	11.4
5. 門限やきまりに厳しい ……	9.2	13.6	14.7	28.4	34.1
6. 子どものしていることに無関心 …	2.8	7.2	19.9	45.0	25.1

15 あなたの親は、もし子どもが次のようなことをしたとき、どうだと思いますか。

	とても 厳しく叱る	わりと 厳しく叱る	あまり 叱らない	何も言わない (叱らない)
1. 無断で外泊する ……	28.0	37.8	25.1	9.1
2. たばこを吸う ……	33.1	24.2	26.7	16.0
3. 友だち同士でお酒を飲む ……	13.3	20.9	37.6	28.2
4. パチンコをする ……	17.6	23.3	35.5	23.6
5. 援助交際をする ……	54.4	21.3	12.1	12.2
6. テレクラでアルバイトをする ……	56.4	22.7	9.8	11.1
7. つきあっている相手とセックスする ……	13.4	14.4	29.9	42.3

IV. もう少し、あなたのことをお聞きします。

16 あなたは、現在、特定の相手とつきあっていますか。

1. つきあっている	15.8
2. 以前つきあっていたが、今はつきあっていない	35.1
3. つきあったことがない	49.1

● 資料2 調査票見本および集計結果 (男子)

17 あなたには、現在「ベル友」がいますか。

13.5 86.5
1. いる 2. いない

↓

() 人くらい

1人 16.8
2人 25.6
3人 16.8
4人 4.0
5人 16.8
6～10人 9.0
11人以上 11.0

18 あなたは、1日にどのくらい友だちと電話で話しますか。

ほとんど 15分 30分 1時間 2時間 それ
しない 以内 くらい くらい くらい 以上
61.8 ——— 15.7 ——— 10.3 ——— 8.0 ——— 2.6 ——— 1.6

1) あなたは、主に誰に電話をかけますか。

よく ときどき あまり ぜんぜん つきあって
かける かける かけない かけない いる人がいない
1. つきあっている相手 8.5 ——— 6.9 ——— 3.9 ——— 3.9 76.8
2. 同じ学校の友だち 7.8 ——— 32.6 ——— 27.4 ——— 32.2
3. 違う学校の友だち 15.0 ——— 28.3 ——— 23.2 ——— 33.5

2) 伝言ダイヤルに、何か伝言を入れたことがありますか。

1. ない 88.6
2. 何回かある (あった) 8.7
3. よく入れる (入れた) 2.7

3) テレクラに電話をしたことがありますか。

1. ない 89.8
2. 1、2回電話をした 8.5
3. かなり利用したが、話をしただけ 0.9
4. テレクラを利用して、デートをした 0.8

19 あなたは、次のように思うことがありますか。

	とても そう	わりと そう	少し そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない
1. 自分の感情をうまくコント ロールするのが苦手だ ……………	12.2	21.6	24.4	27.3	14.5
2. 友だちにやさしくしてあげたい…	30.1	36.4	22.0	8.7	2.8
3. この先、何をしたいのか わからない……………	20.7	22.6	24.3	17.6	14.8
4. ときどき、めちゃめちゃな 行動をしたくなる……………	28.0	22.4	20.8	17.2	11.6
5. ときどき、むやみに寂しくなる…	20.9	17.5	22.5	25.0	14.1
6. 誰も自分をわかって くれる人がいない……………	9.2	13.2	25.7	34.0	17.9

20 あなたは、以下のような意見をどう思いますか。

テレビや雑誌が取り上げる「女子高生」とは、学校でも数人しか見かけないような派手な
人のことで、普通の高校生の姿をきちんと伝えていない。

まったく その通り	少し その通り	違う
33.5	53.4	13.1

21 あなたは、次のようなことをしたことがありますか。

	よく ある	ときどき ある	今までに 1、2回ある	まったく ない
1. 無断で外泊する……………	10.3	12.9	15.4	61.4
2. たばこを吸う……………	19.8	11.0	16.6	52.6
3. 友だち同士でお酒を飲む……………	22.4	29.2	18.8	29.6
4. パチンコをする……………	8.1	9.0	16.1	66.8
5. アダルトビデオを見る……………	24.4	32.0	18.5	25.1
6. テレクラでアルバイトをする……………	1.3	0.4	0.5	97.8
7. ナンパしたりされたりする……………	3.6	4.3	9.8	82.3
8. 援助交際をする……………	1.8	0.1	0.4	97.7

● 資料2 調査票見本および集計結果 (男子)

22 あなたは、次のようなことは、高校生としてどのくらい悪いことだと思いますか。

	とても悪い	少し悪い	悪くない
1. 無断で外泊する	15.5	55.0	29.5
2. たばこを吸う	38.3	37.7	24.0
3. 友だち同士でお酒を飲む	18.9	39.4	41.7
4. パチンコをする	20.4	39.0	40.6
5. アダルトビデオを見る	6.6	18.5	74.9
6. テレクラでアルバイトをする	44.4	34.6	21.0
7. ナンパしたりされたりする	11.3	27.2	61.5
8. 援助交際をする	54.6	28.4	17.0

23 あなたは、次のような高校生をどう思いますか。

	とても嫌だ	かなり嫌だ	少し嫌だ	あまり嫌でない	ぜんぜん嫌でない
1. 制服や体育着を売る高校生	42.3	21.6	18.0	10.1	8.0
2. たびたびテレクラに電話する高校生	40.3	24.0	18.7	9.5	7.5
3. 下着を売る高校生	49.4	21.6	13.8	6.7	8.5
4. デートクラブでアルバイトをする高校生	48.7	21.4	14.6	7.3	8.0
5. 伝言ダイヤルに援助交際の伝言を入れる高校生	47.9	21.7	14.8	7.5	8.1

24 あなたの高校に、もし次のようなきまりや校則があったら、どう思いますか。

	まあ当然	少し厳しい	厳しすぎる
1. 髪を茶色に染めてはいけない	19.4	41.5	39.1
2. 放課後に、生徒だけでファーストフード店やファミリーレストランに入ってはいけない	2.8	12.0	85.2
3. 伝言ダイヤルに「5万円で援助交際したい」と入れているのがわかったら、退学にする	36.3	40.8	22.9
4. ファッションホテルやラブホテルに入ったのが見つかったら、退学にする	18.0	39.8	42.2
5. 援助交際が見つかったら、退学にする	34.0	40.5	25.5
6. 女子高校生が妊娠したのがわかったら、退学にする	16.8	38.1	45.1

V. いま、話題になっている「援助交際」についてお聞きしますが、
仮定に立って答えていただく箇所がたくさんあります。もちろん
回答者の皆さんがそうであるということではありません。

- 25 昨年の東京都の調査では、高校生の援助交際は4%でした。この数字をどう思いますか。
(4%とは、クラスの中で女子が25人いるとしたら1人、援助交際をしている割合)

1. もっと多いと思う 40.4
2. この程度だと思う 49.8
3. もっと少ないと思う 9.8

- 26 援助交際をしている子の中で、「セックスなしに、食事などにつきあうだけ」のケースは、
援助交際全体の中でどのくらいだと思いますか。

1. ほとんどの子が、セックスまでしていると思う 22.1
2. 6、7割の子が、セックスまでしていると思う 23.3
3. 半分くらいの子が、セックスまでしていると思う 29.4
4. セックスしない子の方が多いと思う 25.2

- 27 「援助交際をしている人は、誰にも迷惑をかけていないし、本人も相手もいいのだから
非難すべきでない」という意見がありますが、どう思いますか。

とても わりと 少し あまり ぜんぜん
そう思う そう思う そう思う そう思わない そう思わない
12.2 — 15.6 — 30.4 — 24.4 — 17.4

- 28 あなたに現在つきあっている相手がいるとして、あなたに隠れて(セックスもする)
援助交際をしていたらどう思いますか。

1. 絶対嫌だ 79.6
2. 嫌だ 14.8
3. 別にかまわない 5.6

- 29 では、つきあっている相手が、映画や食事などのデートだけの援助交際をしていたら
どう思いますか。

1. 絶対嫌だ 60.1
2. 嫌だ 28.0
3. 別にかまわない 11.9

● 資料2 調査票見本および集計結果 (男子)

30 あなたは、女子高校生がはいている「ルーズソックス」は好きですか。

とても 好き	わりと 好き	嫌い
25.8	50.4	23.8

31 あなたのクラスには、次のような人がどのくらいいると思いますか。

1) テレクラによく電話している人はクラスに

- | | |
|-----------------------|------|
| 1. ぜんぜんいないと思う | 21.1 |
| 2. もしかしたら、いるかもしれない | 63.0 |
| 3. 実際にいると思う→ () 人くらい | 15.9 |

2) デートクラブでアルバイトしている人はクラスに

- | | |
|-----------------------|------|
| 1. ぜんぜんいないと思う | 40.7 |
| 2. もしかしたら、いるかもしれない | 51.3 |
| 3. 実際にいると思う→ () 人くらい | 8.0 |

3) 援助交際をしている人はクラスに

- | | |
|-----------------------|------|
| 1. ぜんぜんいないと思う | 33.3 |
| 2. もしかしたら、いるかもしれない | 56.5 |
| 3. 実際にいると思う→ () 人くらい | 10.2 |

以下も全く仮定の話です。

32 将来、あなたが結婚したいと思った女性が、高校生のときにある期間、(セックスもする) 援助交際をしていたことがわかったとします。あなたは、結婚をどうしますか。

- | | |
|-----------------------------------|------|
| 1. 過去のことだから、(今がしっかりしていれば) 別にかまわない | 79.9 |
| 2. 仮に結婚してもうまくいかなくなると思うから、結婚しない | 14.3 |
| 3. どんなに好きでも、結婚しない | 5.8 |

33 あなたの仲のいい友だちの彼女が、「(セックスもする) 援助交際をしている」ことがわかったとき、そのことを友だちに教えますか。

- | | |
|---|------|
| 1. 教えて、彼女とのつきあいをやめさせるか、彼女に援助交際をやめさせるように友だちを説得する | 19.7 |
| 2. 教えるだけ (でもつきあうかどうかは、友だちの自由) | 41.1 |
| 3. 教えない (どんな子とつきあっても、友だちの自由だから) | 39.2 |

34 もしあなたにお兄さんがいて、お兄さんの結婚相手が、高校生のときに（セックスもする）援助交際をしていたとします。あなたは、その結婚をどう思いますか。

- | | |
|----------------------------|------|
| 1. お兄さんがよければ、ぜんぜんかまわない | 88.5 |
| 2. お兄さんがよくても、できれば結婚をやめてほしい | 9.5 |
| 3. お兄さんがよくても、絶対反対する | 2.0 |

35 あなたは、将来、あなたの子どもが援助交際をしていることを知ったとしたら、どうすると思いますか。

- | | |
|--------------------------|------|
| 1. 厳しく叱って、（殴ってでも）やめさせる | 57.6 |
| 2. 注意するが、やめるかどうかは子どもに任せる | 38.3 |
| 3. わかっていても、何も言わない | 4.1 |

36 あなたは、高校生の援助交際がいけないと言われている理由は何だと思いますか。

- | | とても
そう | わりと
そう | あまり
そうでない | ぜんぜん
そうでない |
|---------------------------------|-----------|-----------|--------------|---------------|
| 1. 金銭感覚がマヒする | 32.9 | 38.6 | 19.0 | 9.5 |
| 2. 気持ちが悪さむ | 37.1 | 41.4 | 15.0 | 6.5 |
| 3. 道徳に反する | 32.5 | 37.3 | 22.3 | 7.9 |
| 4. 犯罪に巻き込まれる
可能性がある | 38.3 | 37.8 | 18.3 | 5.6 |
| 5. 異性とふつうの感覚で
つきあえなくなる | 35.8 | 37.7 | 19.4 | 7.1 |
| 6. 将来好きな人ができたとき、
後悔する | 44.0 | 34.2 | 15.1 | 6.7 |

37 あなたの親は、子どもが援助交際をしていたら、すぐわかるタイプだと思いますか。

- | | |
|----------------------------|------|
| 1. どんなに気をつけても、すぐわかってしまうだろう | 32.4 |
| 2. うまくやれば、気がつかないかもしれない | 51.4 |
| 3. 子どもが隠せば、気がつかないだろう | 16.2 |

38 あなたの親は、もし子どもが援助交際をしていることを知ったら、どうするタイプの親だと思いますか。

- | | |
|--------------------------|------|
| 1. 黙っている | 7.7 |
| 2. 注意はするが、それ以上きつくは出ないだろう | 40.4 |
| 3. 殴ってでも、やめさせるだろう | 51.9 |

39 あなたは、次のような意見をどう思いますか。

- | | とても
そう思う | わりと
そう思う | 少し
そう思う | あまり
そう思わない | ぜんぜん
そう思わない |
|---|-------------|-------------|------------|---------------|----------------|
| 1. 援助交際しても、セックス
までしなければかまわない …… | 6.0 | 11.7 | 19.5 | 34.9 | 27.9 |
| 2. 制服やストッキングくらい
なら、売ってもかまわない …… | 6.8 | 8.7 | 17.3 | 37.8 | 29.4 |
| 3. お金をもらってデートや
カラオケに行くのは、
アルバイトの1つにすぎない … | 5.9 | 9.2 | 16.8 | 34.6 | 33.5 |
| 4. 援助交際は、ごく一部の人が
しているだけなのにマスコミ
が騒ぎすぎる …………… | 23.7 | 21.0 | 25.7 | 15.7 | 13.9 |

40 あなたは、「高校生と援助交際をするおとなを厳しく処罰する方がいい」という意見をどう思いますか。

- | | |
|--|------|
| 1. おとなだけを厳しく処罰して、高校生は注意くらいでいい | 15.5 |
| 2. おとなを厳しく処罰し、高校生も学校や親に連絡するなど、厳しく罰した方がよい | 64.4 |
| 3. 他人に迷惑をかけていないのだから、両方とも、特に処罰しなくてよい | 20.1 |

～以上で終わります。長い間ありがとうございました。～